

令和 3 年度

# 植物防疫事業年報

京都府病虫害防除所

京都府亀岡市余部町和久成 9

TEL 0771-23-9512

# 目 次

## 病害虫防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
<b>業務の概要</b>	
I 農作物病害虫発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	2
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病害虫の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病害虫の発生予察と発生状況	10
1 発生予察調査の結果	10
1) 巡回調査の結果	10
(1) 水稻	
(2) 麦類	
(3) 黒大豆	
(4) 小豆	
(5) ナシ	
(6) ブドウ	
(7) カキ	
(8) カンキツ	
(9) 茶樹	
(10) キュウリ	
(11) トマト	
(12) ナス	
(13) キャベツ	
(14) ダイコン	
(15) カブ	
(16) ホウレンソウ	
(17) ネギ (小株)	
(18) ネギ (大株)	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	45
(1) 予察灯の調査結果 (2) 誘引剤トラップの調査結果 (3) 黄色水盤の調査結果	
2 病害虫発生予察情報の内容	59
3 対象病害虫の発生状況	71
II 重要病害虫侵入警戒調査の実施	76
III 調査・試験の結果	78
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	92
V 情報提供サービスの実施	
(I) 情報提供の概要	92
(II) 情報の内容と利用の状況	93
VI 病害虫調査協力員の活動状況	95
VII 会議・講演・研修等の実施	96
VIII 普及センター等との連携の推進	98
<b>参考資料</b>	
令和3年の半月別気象表・グラフ	99

# 病虫害防除所の概要

## I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日  
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日  
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。  
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日  
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日  
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日  
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。
- ◎ 平成21年4月1日  
農林水産業に係わる試験研究機関の統合・再編に伴い、農林水産技術センター農林センターの環境部植物防疫担当として再編、設置された。

## II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

## III 体制

### (I) 京都府における調査機関等

京都府病虫害防除所							協力機関名
職名	所長	専門幹	主任研究員	技師	会計年度任用職員	計	農林センター、丹後農業研究所、茶業研究所、農業大学校、農産課
人数	1人	1人	1人	2人	1人	6人	

### (II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同組合	農業共済組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	23人	—	—	—	23人	

# 業 務 の 概 要

## I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

### (I) 発生予察事業の実施概要

#### 1 調査地点及び施設

##### 1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	〃	京田辺市薪	
	麦 類	亀岡市余部町（農林センター）	
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所 防除所 防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	カ キ	京都市西京区大枝	
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研 防除所
	〃	京丹後市大宮町口大野	
野 菜	キ ュ ウ リ	京都市伏見区深草	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	
	ナ ス	京田辺市薪	
	〃	京都市西京区大原野	
	キ ャ ベ ツ	京都市南区吉祥院、亀岡市余部町（農林センター）	
	ダ イ コ ン	木津川市梅谷、京丹後市弥栄町黒部	
	ホ ウ レ ン ソ ウ	久御山町坊之池	
ネ ギ	京都市伏見区淀		

##### 2) 予察灯等の設置

###### (1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道 ポンプ場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹カ メムシ類、タバコガ、オオタバコ ガ、ニカメイガ、シロイチモジヨ トウ、吸実性カメムシ類	防除所 防除所

設置場所	種類	対象病虫害	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカクモンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ  黄色水盤	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、カブラヤガ、ニカ メイガ、シロイチモジヨトウ、 吸実性カメムシ類、ツマジロク サヨトウ アブラムシ類	防除所 防除所  農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ、ツマジロクサヨト ウ	農 大
京丹後市弥栄町 黒部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹 カメムシ類、タバコガ、オオタ バコガ、ニカメイガ、シロイチ モジヨトウ、吸実性カメムシ類 、ツマジロクサヨトウ	防除所 防除所
京丹後市大宮町 口大野	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカクモ ンハマキ	防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対 象 害 虫 名
60W  (白熱灯)	ウンカ・ ヨコバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメムシ 、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカメ ムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメ ムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカ メ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト  (蛍光灯)	コガネムシ類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、 ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

### 3) 巡回調査地点

#### (1) 水稻 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町佐古 精華町祝園	京都市右京区京北 下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野町 今西中 福知山市大江町河守 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町 芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

\* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

#### (2) 麦類 (8地区/16か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 南丹市美山町鶴ヶ岡 福知山市半田、戸田、河守 綾部市私市町 (二条) 亀岡市河原林町、馬路町 亀岡市本梅町平松	—

#### (3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 6地区/12か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	京丹波町富田、安栖里 福知山市夜久野町平野、日置	京丹後市久美浜町新庄
小豆	—	亀岡市河原林町、馬路町 南丹市園部町若森 福知山市半田 綾部市篠田町 舞鶴市久田美	—

\* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

#### (4) 果樹 (10地区/22か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市川口	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、三分、浦明、大井

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	6	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町 壱分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

\* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

**(5) 茶樹** (16地区／32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町禅定寺、宇治田原町南 和束町石寺、和束町湯船、和束町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留 網野町郷

**(6) 野菜** (32地区／51か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	8	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町東一口 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口	亀岡市篠町	—
ナス	7	京都市西京区大原野 八幡市野尻、内里 京田辺市薪、宮津 久御山町坊之池、相島	—	—
キャベツ	8	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	京丹後市弥栄町、 久美浜町
ダイコン	5	木津川市梅谷	—	京丹後市弥栄町、 久美浜町
カブ	6	—	京都市右京区 京北矢代中町 亀岡市篠町	京丹後市弥栄町、 久美浜町
ホウレンソウ	4	京都市西京区牛ヶ瀬 久御山町坊之池	—	—
ネギ	8	京都市西京区牛ヶ瀬、 南区吉祥院、伏見区淀 八幡市岩田	—	—

\* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

## 2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水 稲	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、稲こうじ病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ、フタオビコヤガ	苗立枯病、白葉枯病、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、イネドロオイムシ、スクミリンゴガイ、コバネイナゴ
	麦 類	赤かび病、うどんこ病	
	大 豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	べと病、葉焼病、モザイク病、ハダニ類、フタスジヒメハムシ、サヤムシガ類、食葉性鱗翅目幼虫
	小 豆	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	モザイク病、さび病、炭そ病、うどんこ病、アブラムシ類、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、食葉性鱗翅目幼虫
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類、アブラムシ類	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、カメムシ類、ハダニ類、シンクイムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類	赤星病、うどんこ病
	ブドウ	べと病	うどんこ病、さび病、ハダニ類
	カキ	炭そ病、カキノヘタムシガ、カメムシ類、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ、ハマキムシ類	うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、
茶樹	茶 樹	炭そ病、ハダニ類、ハマキムシ類、チャノホソガ	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ、チャトゲコナジラミ
野菜	キュウリ	べと病、うどんこ病、褐斑病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	斑点細菌病、炭そ病、モザイク病、ハダニ類、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類、コナジラミ類、ハスモンヨトウ	うどんこ病、黄化葉巻病、モザイク病、アザミウマ類、ハモグリバエ類
	ナス	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ	褐色腐敗病、すすかび病、褐色円星病、ハモグリバエ類、コナジラミ類、タバコガ類
	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ、ヨトウガ	べと病、モンシロチョウ、ウワバ類、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ

菜	ダイコン	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナガ	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ、ナモグリバエ、モンシロチョウ
	カブ	コナガ	軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、ハモグリバエ類
	ホウレンソウ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ヨトウガ	べと病、シロオビノメイガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	ネギハモグリバエ

## 参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物

### 1 指定有害動物（55種類）

- (1) いちご、かき、きく、キャベツ、きゅうり、たまねぎ、なす及びねぎのアザミウマ類
- (2) いちご、かんきつ、きく、キャベツ、きゅうり、すいか、だいこん、大豆、トマト、なし、なす、ねぎ、はくさい、ばれいしよ、ピーマン、ほうれんそう及びレタスのアブラムシ類
- (3) いねのイネミズゾウムシ
- (4) オオタバコガ
- (5) かきのカイガラムシ類
- (6) かきのカキノヘタムシガ
- (7) 果樹カメムシ類
- (8) さとうきびのカンシャコバネナガカメムシ
- (9) 大豆の吸実性カメムシ類
- (10) コナガ
- (11) きゅうり及びトマトのコナジラミ類
- (12) いねのコブノメイガ
- (13) シロイチモジヨトウ
- (14) なし、もも及びりんごのシンクイムシ類
- (15) いねのセジロウンカ
- (16) 茶のチャノホソガ
- (17) いねのツマグロヨコバイ
- (18) いねのトビイロウンカ
- (19) いねのニカメイガ
- (20) ハスモンヨトウ
- (21) いちご、おうとう、かんきつ、茶、なし、なす、もも及びりんごのハダニ類
- (22) かき、茶、なし及びりんごのハマキムシ類
- (23) 斑点米カメムシ類
- (24) いねのヒメトビウンカ
- (25) いねのフタオビコヤガ
- (26) さとうきびのメイチュウ類
- (27) ヨトウガ

### 2 指定有害植物（30種類）

- (1) むぎの赤かび病菌
- (2) いねの稲こうじ病菌
- (3) いねのいもち病菌
- (4) いちごのうどんこ病菌
- (5) きゅうりのうどんこ病菌
- (6) なすのうどんこ病菌
- (7) ピーマンのうどんこ病菌
- (8) むぎのうどんこ病菌
- (9) トマト及びばれいしよの疫病菌
- (10) ぶどうの晩腐病菌
- (11) かんきつのかいよう病菌
- (12) キウイフルーツのかいよう病菌
- (13) きゅうりの褐斑病菌
- (14) てん菜の褐斑病菌
- (15) キャベツ及びレタスの菌核病菌
- (16) キャベツの黒腐病菌
- (17) なしの黒星病菌
- (18) りんごの黒星病菌
- (19) かんきつの黒点病菌
- (20) なしの黒斑病菌
- (21) ねぎの黒斑病菌
- (22) ねぎのさび病菌
- (23) いねの縞葉枯病ウイルス
- (24) たまねぎの白色疫病菌
- (25) きくの白さび病菌
- (26) てん菜の西部萎縮病ウイルス
- (27) もものせん孔細菌病菌
- (28) かんきつのそうか病菌
- (29) いちごの炭疽病菌
- (30) かきの炭疽病菌
- (31) 茶の炭疽病菌
- (32) いちご、きゅうり、トマト、なす、ぶどう及びレタスの灰色かび病菌
- (33) おうとうの灰星病菌
- (34) いねのばか苗病菌
- (35) トマトの葉かび病菌
- (36) りんごの斑点細菌病菌
- (37) きゅうりのべと病菌
- (38) たまねぎ及びねぎのべと病菌
- (39) ぶどうのべと病菌
- (40) いねのもみ枯細菌病菌
- (41) いねの紋枯病菌

### 3 発生予察情報等の概要

種 類	発 表 時 期	発 表 内 容	主 な 提 供 方 法 ・ 提 供 先 （ 提 供 数 ）
予 報	4月～10月、 2月～3月の 各月1回	本誌のⅠの（Ⅱ）の2 に記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府行政支援ネット送信（約80） 地方振興局・普及センター、研究機関</li> <li>・J P P ネット送信（－） 国・他府県関係</li> <li>・F A X 送信（約30） 市町村・農業協同組合・その他</li> <li>・冊子送付（約100） 国出先機関、報道機関、定点農家</li> <li>・メール送信（約90）</li> <li>・ホームページに掲載</li> </ul>
注意報	4月15日 8月25日 8月25日	第 1号：ネギ、タマネギ ベと病 第 2号：水稻 穂いもち 第 3号：ネギ、豆類、野菜類 シロイチモジヨトウ	予報と同じ
特殊報	8月 6日	第 1号：トマト 黄化病	予報と同じ
技 術 情 報 (瞬 間 報)	3月 9日 4月 2日 4月 2日 7月28日 7月28日 9月29日	第 1号：ネギ、タマネギ ベと病情報 第 2号：ナシ（二十世紀） 黒斑病情報 第 3号：水稻 スクミリンゴガイ情報 第 4号：シロイチモジヨトウ情報 第 5号：水稻 いもち病（穂いもち）情報 第 6号：果樹 カメムシ類情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府行政支援ネット 送信（約 80）</li> <li>・F A X 送信（約30）</li> <li>・メール送信（約90）</li> <li>・ホームページに掲載</li> </ul>
月 報	4月～11月、 2月～3月の 各月1回	[病虫害発生予察巡回調査結果等に基づ く発生病害虫全般の発生状況]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府行政支援ネット 送信（約80） 普及センター等</li> <li>・一部、ホームページに 掲載</li> </ul>
年 報	3月末	防除所の病虫害発生予察事業等のまとめ	・ホームページに掲載

## (Ⅱ) 病害虫の発生予察と発生状況

### 1 発生予察調査の結果

#### 1) 巡回調査の結果

##### (1) 水稻

##### 生育概要

早植（品種：コシヒカリ 播種期：4月20日 移植期：5月10日）

普通植（品種：コシヒカリ、京の輝き 播種期：5月5日 移植期：5月25日）

##### ア. 生育

早植のコシヒカリでは分けつ期の日照不足等の影響により茎数が少なくなった。普通植でも分けつ期の日照不足等の影響によりコシヒカリ、京の輝きとも茎数は少なくなった。出穂期は早植コシヒカリで平年比2日、普通植コシヒカリで平年比5日早くなり、京の輝きで平年比2日早くなった。成熟期は早植コシヒカリ、普通植コシヒカリ、京の輝きいずれも平年比2日遅くなった。

##### イ. 収量及び品質

早植コシヒカリは、有効穂数が平年比80%と少なかったが、1穂粒数が平年比112%と多かったことから、 $m^2$ 当たり粒数は平年比91%とやや少なくなった。精玄米重は平年比81%の49.1kg/aと少なくなった。

普通植コシヒカリは、有効穂数が平年比77%と少なく、1穂粒数は平年比108%とほぼ平年並となったため、 $m^2$ 当たりの粒数は平年比78%と少なくなった。精玄米重は平年比84%の49.5kg/aと少なくなった。

普通植京の輝きは、有効穂数は平年比94%とやや少なかったが、1穂粒数は平年比108%と平年比やや多くなり、 $m^2$ 当たり粒数は平年並の100%となった。精玄米重は平年比98%の61.7kg/aのほぼ平年並となった。

玄米品質は、早植コシヒカリで平年を下回った。

(京都府農林水産技術センター農林センター作物部調べ)

### 病害虫発生状況

#### ア 苗いもち (指定)

発生を認めなかった。

#### イ 葉いもち (指定)

ブラスタムでは7月上旬に府内の広い地域で感染好適条件日を記録した。8月中旬の巡回調査では、発生量は府内全域で多かった。全体では平年比多い発生であった。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（5月第3～4半旬）

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
3年	山城	-	-	-	-
	南丹	5	27	0.0	0.0
	中丹	4	27	0.0	0.0
	丹後	9	29	0.0	0.0
2年	山城	-	-	-	-
	南丹	6	42	0.0	0.0
	中丹	3	22	0.0	0.0
	丹後	6	27	0.0	0.0

\* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3～4半旬）

年次	地域	調査 箇所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認率(%)	
			箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
3年	山城	6	6	24	1	1	16.7	4.2
	南丹	9	3	20	1	2	11.1	10.0
	中丹	6	3	8	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	2	6	0	0	0.0	0.0
2年	山城	6	6	22	1	4	16.7	18.2
	南丹	9	5	32	1	1	11.1	3.1
	中丹	6	1	13	0	0	0.0	0.0
	丹後	9	2	9	0	0	0.0	0.0

\* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	3年	6	0.0	0.0	0.0	—
		2年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.00	—
	7・3～4	3年	6	33.3	2.7	0.7	—
		2年	6	16.7	0.0	0.0	—
		平年	—	16.7	3.5	1.4	—
	*8・3～4	3年	6	83.3	21.3	—	1.01
		2年	6	83.3	10.7	—	0.00
		平年	—	30.0	3.6	—	0.05
南丹	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	0.0	—
		2年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.00	—
	7・3～4	3年	9	55.6	24.9	6.2	—
		2年	9	22.2	0.9	0.2	—
		平年	—	18.9	10.7	3.5	—
	*8・3～4	3年	9	66.7	17.3	—	1.35
		2年	9	44.4	7.6	—	0.00
		平年	—	25.5	5.0	—	0.09
中丹	6・3～4	3年	6	0.0	0.0	0.0	—
		2年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	3.3	0.3	0.07	—
	7・3～4	3年	6	16.7	7.3	1.8	—
		2年	6	16.7	2.0	0.5	—
		平年	—	18.3	4.9	1.3	—
	*8・3～4	3年	6	33.3	14.7	—	0.59
		2年	6	33.3	0.7	—	0.00
		平年	—	15.0	0.9	—	0.11
丹後	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	0.0	—
		2年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	1.1	0.2	0.04	—
	7・3～4	3年	9	11.1	3.6	0.9	—
		2年	9	22.2	4.4	1.1	—
		平年	—	6.7	1.1	0.3	—
	*8・3～4	3年	9	33.3	5.8	—	0.61
		2年	9	88.9	16.0	—	0.19
		平年	—	20.0	3.4	—	0.09

\* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	3.3	26.7	70.0

ウ 穂いもち (指定)

8月に南丹地域で平年比やや多く丹後地域で平年比多い発生となり、府全体では多い発生となった。9月には南丹地域で平年比多く丹後地域で平年比やや多く府内全域では平年比多い発生となった。全体的には平年比多い発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	27	0.0	0.0	0.0	14.8	85.2
9・3～4	12	0.0	16.7	0.0	41.7	41.7

表6 本田における穂いもちの発病状況調査 (25株見取り)

地域	調査時期(月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病穂率(%)	被害籾率(%)
山城	8・3～4	3年	3	0.0	0.0	0.00	—
		2年	6	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	12.5	0.5	0.03	—
	9・3～4	3年	6	33.3	2.7	—	0.20
		2年	6	16.7	0.7	—	0.002
		平年	—	31.7	3.9	—	—
南丹	8・3～4	3年	9	11.1	4.9	0.47	—
		2年	9	33.3	1.8	0.22	—
		平年	—	21.1	3.5	0.19	—
	9・3～4	3年	3	100.0	90.7	—	21.87
		2年	2	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	31.9	16.1	—	—
中丹	8・3～4	3年	6	0.0	0.0	0.00	—
		2年	6	16.7	0.7	0.03	—
		平年	—	10.0	1.3	0.07	—
	9・3～4	3年	2	50.0	4.0	—	0.20
		2年	3	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	30.6	8.5	—	—
丹後	8・3～4	3年	9	33.3	1.8	0.18	—
		2年	9	22.2	0.9	0.04	—
		平年	—	5.6	0.4	0.02	—
	9・3～4	3年	1	100.0	4.0	—	0.20
		2年	2	50.0	34.0	—	3.70
		平年	—	10.7	5.3	—	—

エ 紋枯病 (指定)

7月から府内全域で発生を認め、山城、南丹及び中丹地域では平年並、丹後地域では平年比やや多い発生となった。府内全体では平年並の発生となった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	23.3	76.7
9・3～4	12	0.0	8.3	8.3	50.0	33.3

表8 本田における紋枯病の発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度
山城	7・3～4	3年	6	33.3	1.3	0.3
		2年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.1	0.03
	8・3～4	3年	6	33.3	6.0	1.5
		2年	6	50.0	14.7	3.7
		平年	—	40.0	7.1	2.0
	9・3～4	3年	6	33.3	29.3	8.2
		2年	6	50.0	28.7	8.2
		平年	—	72.3	21.6	8.8
南丹	7・3～4	3年	9	11.1	0.4	0.1
		2年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.04	0.04
	8・3～4	3年	9	22.2	5.8	1.7
		2年	9	22.2	11.1	3.1
		平年	—	46.7	7.8	2.7
	9・3～4	3年	3	66.7	42.7	24.3
		2年	2	100.0	38.0	16.5
		平年	—	72.4	13.5	5.0
中丹	7・3～4	3年	6	0.0	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	5.0	0.4	0.1
	8・3～4	3年	6	16.7	1.3	0.3
		2年	6	33.3	3.3	0.8
		平年	—	30.0	4.7	1.2
	9・3～4	3年	2	100.0	30.0	9.0
		2年	3	0.0	0.0	0.0
		平年	3	50.0	17.1	6.8
丹後	7・3～4	3年	9	0.0	0.0	0.0
		2年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.0	0.0
	8・3～4	3年	9	22.2	3.6	0.9
		2年	9	33.3	3.1	1.0
		平年	—	18.9	2.2	0.7
	9・3～4	3年	1	100.0	24.0	6.0
		2年	2	0.0	0.0	0.0
		平年	—	40.5	7.0	2.8

オ 苗立枯病  
発生を認めなかった。

カ 白葉枯病  
発生を認めなかった。

キ 靱枯細菌病  
発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病  
発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病  
発生を認めなかった。

コ 縞葉枯病  
発生を認めなかった。

サ 稲こうじ病  
発生を認めなかった。

シ ヒメトビウンカ (指定)

6月から中丹及び丹後で発生を認め、8月には府内全域で発生を確認した。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査 (4月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	3年	6	0.0	0.0	-
	2年	3	0.0	0.0	-
南丹	3年	3	0.0	0.0	-
	2年	4	0.0	0.0	-
中丹	3年	3	0.0	0.0	-
	2年	1	0.0	0.0	-
丹後	3年	6	0.0	0.0	-
	2年	4	25.0	0.3	100.0

\* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	3年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.02	—	0.0	0.00
	7・3～4	3年	6	33.3	0.7	6	16.7	0.2
		2年	6	33.3	4.7	6	50.0	0.8
		平年	—	45.0	2.7	—	50.0	1.3
	8・3～4	3年	6	100.0	6.8	6	50.0	4.3
		2年	6	66.7	11.2	6	50.0	13.8
		平年	—	76.7	7.6	—	66.7	9.8
南丹	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	11.1	0.2	9	11.1	0.1
		平年	—	1.1	0.02	—	10.0	0.12
	7・3～4	3年	9	22.2	0.2	9	0.0	0.0
		2年	9	33.3	1.1	9	0.0	0.0
		平年	—	21.1	0.4	—	11.1	0.2
	8・3～4	3年	9	44.4	1.0	9	33.3	1.4
		2年	9	33.3	2.0	9	55.6	51.8
		平年	—	36.7	2.8	—	66.7	21.1
中丹	6・3～4	3年	6	33.3	0.3	6	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	1.7	0.02	—	5.0	0.05
	7・3～4	3年	6	16.7	1.0	6	16.7	1.0
		2年	6	0.0	0.0	6	16.7	1.2
		平年	—	33.3	1.8	—	18.3	0.4
	8・3～4	3年	6	100.0	6.5	6	83.3	4.0
		2年	6	83.3	3.8	6	83.3	36.8
		平年	—	58.3	2.5	—	78.3	39.6
丹後	6・3～4	3年	9	22.2	0.3	9	22.2	0.3
		2年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		平年	—	2.2	0.02	—	6.7	0.09
	7・3～4	3年	9	11.1	0.1	9	22.2	0.3
		2年	9	44.4	0.7	9	11.1	0.1
		平年	—	22.2	0.4	—	21.1	0.7
	8・3～4	3年	9	22.2	0.2	9	44.4	5.1
		2年	9	50.0	3.8	9	50.0	28.0
		平年	—	56.7	2.2	—	77.8	28.4

表11 本田におけるヒメトビウンカの発生程度別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7
8・3～4	30	0.0	0.0	10.0	40.0	50.0

ス ツマグロヨコバイ (指定)

越冬世代幼虫の発生時期は平年比早く、虫数は平年並であった。本田では、6月に中丹地域で発生を認め、7月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない発生で推移した。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査 (4月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	3年	6	33.3	0.3	100.0
	2年	3	33.3	0.3	100.0
南丹	3年	3	66.7	2.3	100.0
	2年	4	25.0	0.3	100.0
中丹	3年	3	33.3	0.3	100.0
	2年	1	33.3	0.7	100.0
丹後	3年	6	0.0	0.0	-
	2年	4	0.0	0.0	-

\* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	3年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		2年	6	16.7	23.0	5	20.0	3.0
		平年	—	3.3	2.30	—	10.2	0.4
	7・3～4	3年	6	66.7	2.3	6	16.7	0.7
		2年	6	50.0	3.2	6	50.0	1.2
		平年	—	46.7	5.0	—	38.3	3.4
	8・3～4	3年	6	50.0	1.5	6	33.3	0.3
		2年	6	66.7	9.7	6	66.7	34.7
		平年	—	75.0	20.0	—	73.3	47.0
南丹	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	4.4	0.2	—	1.1	1.3
	7・3～4	3年	9	11.1	0.1	9	11.1	0.1
		2年	9	44.4	1.4	9	0.0	0.0
		平年	—	22.2	1.9	—	8.9	0.2
	8・3～4	3年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		2年	9	11.1	0.4	9	11.1	13.3
		平年	—	24.4	1.8	—	26.7	16.7
中丹	6・3～4	3年	6	33.3	0.3	6	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	5.0	0.1
	7・3～4	3年	6	33.3	0.3	6	33.3	0.8
		2年	6	33.3	0.5	6	0.0	0.0
		平年	—	31.7	2.1	—	11.7	0.4
	8・3～4	3年	6	33.3	1.0	6	33.3	0.8
		2年	6	50.0	1.8	6	16.7	2.8
		平年	—	25.0	0.8	—	33.3	4.5
丹後	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	0.0	0.0	9	22.2	0.3
		平年	—	2.2	0.1	—	6.7	0.1
	7・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.3
		2年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.3
		平年	—	24.1	1.1	—	10.0	0.2
	8・3～4	3年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		2年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		平年	—	23.3	1.4	—	34.4	14.5

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期 (月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7

セ セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺（7月9日）で平年比やや遅く、亀岡（7月2日）で平年比早く、京丹後（7月8日）で平年比遅かった。

本田では7月から府内全域で発生を認め、全体的に平年比やや少ない発生で推移した。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
3年	7.9	7.2	7.8
2年	(8.2)	7.2	6.11
平年	7.5	7.7	6.30

\* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。  
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	3年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		2年	6	33.3	0.5	5	60.0	1.4
		平年	—	5.3	0.07	—	8.0	0.18
	7・3～4	3年	6	50.0	5.7	6	33.3	1.7
		2年	6	100.0	23.5	6	83.3	4.5
		平年	—	86.7	15.5	—	60.0	2.5
	8・3～4	3年	6	66.7	41.7	6	50.0	7.2
		2年	6	66.7	137.2	6	66.7	67.8
		平年	—	87.0	22.5	—	70.0	23.8
南丹	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	11.1	0.1	9	33.3	0.8
		平年	—	1.1	0.01	—	4.4	0.09
	7・3～4	3年	9	11.1	0.1	9	0.0	0.0
		2年	9	55.6	2.1	9	66.7	0.8
		平年	—	58.9	2.3	—	24.5	0.6
	8・3～4	3年	9	33.3	0.8	9	33.3	1.9
		2年	9	33.3	3.7	9	33.3	2.6
		平年	—	72.8	6.5	—	61.1	14.9
中丹	6・3～4	3年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.7	0.02
	7・3～4	3年	6	66.7	2.2	6	33.3	1.0
		2年	6	83.3	2.2	6	83.3	3.2
		平年	—	66.7	3.5	—	26.7	0.7
	8・3～4	3年	6	50.0	1.8	6	16.7	0.2
		2年	6	83.3	4.5	6	83.3	11.0
		平年	—	81.5	5.0	—	73.3	21.6
丹後	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	11.1	0.1	9	33.3	0.4
		平年	—	1.1	0.01	—	6.7	0.08
	7・3～4	3年	9	11.1	0.3	9	22.2	0.3
		2年	9	66.7	6.0	9	22.2	0.2
		平年	—	60.0	4.2	—	24.4	0.6
	8・3～4	3年	9	11.1	0.1	9	22.2	0.6
		2年	9	11.1	0.1	9	77.8	13.4
		平年	—	74.7	5.8	—	91.1	27.5

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	26.7	73.3

ソ トビイロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は京丹後で8月26日、京田辺及び亀岡での誘殺はなかった。  
本田での発生は未確認。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
3年	-	-	(8.26)
2年	(8.4)	(8.6)	(8.5)
平年	-	-	7.14

\* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。  
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	7・3～4	3年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	3年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		2年	6	33.3	0.3	6	0.0	0.0
	9・3～4	3年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		2年	6	100.0	27.0	6	16.7	0.5
南丹	7・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	3年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
		2年	2	50.0	1.5	2	50.0	1.5
中丹	7・3～4	3年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	3年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		2年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	3年	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
		2年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
丹後	7・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		2年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	3年	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
		2年	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	12	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回すくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	12	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

タ ニカメイガ（指定）

本田での発生は未確認。

チ コブノメイガ（指定）

8月に山城地域の一部で発生を認めた。

ツ イネミズゾウムシ (指定)

予察灯への初飛来は京田辺 (5月13日) で平年並、亀岡 (5月13日) で平年比遅く、京丹後 (5月13日) では平年比やや早かった。

予察灯への誘殺数 (4月第1半旬～5月第2半旬) は、この期間までいずれの地域でも誘殺を認めなかった (京田辺 平年並、亀岡 平年比少、京丹後 平年比やや少)。

本田での発生量は府内全体で平年並、発生面積は平年比やや少なかった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)
3年	5.13	40	5.13	259	5.13	57
2年	5.4	38	5.4	1160	5.2	69
平年	5.17	59.3	5.5	350.7	5.11	105.6

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査 (6月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率 (%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	3年	6	60.0	35.2	9.0	0.4
	2年	6	16.7	16.7	4.2	0.0
	平年	—	55.7	18.4	5.1	0.2
南丹	3年	9	77.8	64.0	15.0	1.8
	2年	9	77.8	46.7	11.8	0.3
	平年	—	86.7	65.5	20.2	1.5
中丹	3年	6	83.3	54.0	14.5	0.7
	2年	6	100.0	57.3	14.8	0.0
	平年	—	98.3	63.1	16.7	1.0
丹後	3年	9	77.8	41.3	10.7	0.2
	2年	9	55.6	27.1	7.0	0.3
	平年	—	84.4	46.1	12.2	0.7

\* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
5・3～4	16	0.0	0.0	18.8	50.0	31.3
6・3～4	29	0.0	0.0	31.0	44.8	24.1

テ 斑点米カメムシ類 (指定)

本田での発生は、地域により差が大きい但全体的には平年並の発生に推移した。

畦畔雑草での発生は、6月は平年比やや少ない発生となり、7月は平年並であったが、8月には平年比少ない発生となった。

予察灯 (60W) へのアカスジカスミカメの誘殺数はほぼ平年並、アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数もほぼ平年並であった。

優占種は、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ミナミアオカメムシ及びイネカメムシであった。近年はイネカメムシの発生が目立つ。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	3.4	96.6
7・3～4	30	0.0	0.0	6.7	20.0	73.3
8・3～4	30	0.0	0.0	20.0	36.7	43.3
9・3～4	12	0.0	0.0	8.3	33.3	58.3

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭 ≤ (%)	11～30頭 (%)	4～10頭 (%)	1～3頭 (%)	0頭 (%)
6・3～4	29	0.0	0.0	13.8	24.1	62.1
7・3～4	30	3.3	3.3	20.0	30.0	43.3
8・3～4	30	0.0	3.3	3.3	20.0	73.3

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	本田			畦畔		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	3年	5	0.0	0.0	5	60.0	2.0
		2年	5	20.0	0.4	6	33.3	3.5
		平年	—	7.3	0.1	—	55.0	11.4
	7・3～4	3年	6	50.0	1.8	6	83.3	33.8
		2年	6	0.0	0.0	6	100.0	16.5
		平年	—	23.3	0.6	—	80.0	33.0
	8・3～4	3年	6	33.3	1.3	6	66.7	4.7
		2年	6	0.0	0.0	6	50.0	21.0
		平年	—	30.0	0.8	—	75.0	19.2
	9・3～4	3年	6	50.0	2.2	—	—	—
		2年	6	33.3	2.3	—	—	—
	南丹	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	22.2
2年			9	11.1	0.2	9	66.7	5.7
平年			—	4.4	0.1	—	41.1	1.6
7・3～4		3年	9	33.3	0.6	9	55.6	1.6
		2年	9	33.3	1.0	9	33.3	2.0
		平年	—	13.3	0.3	—	47.8	2.6
8・3～4		3年	9	66.7	2.3	9	11.1	0.1
		2年	9	66.7	9.4	9	44.4	1.6
		平年	—	52.2	2.4	—	30.0	1.2
9・3～4		3年	3	66.7	1.0	—	—	—
		2年	2	0.0	0.0	—	—	—
中丹		6・3～4	3年	6	16.7	0.3	6	33.3
	2年		6	33.3	0.3	6	66.7	3.0
	平年		—	6.7	0.1	—	38.3	2.9
	7・3～4	3年	6	16.7	0.3	—	16.7	1.3
		2年	6	16.7	0.2	—	83.3	3.8
		平年	—	10.0	0.1	—	63.3	2.8
	8・3～4	3年	6	66.7	1.7	6	16.7	0.5
		2年	6	50.0	5.3	6	50.0	4.3
		平年	—	50.0	2.4	—	43.3	1.7
	9・3～4	3年	2	0.0	0.0	—	—	—
		2年	3	33.3	0.3	—	—	—
	丹後	6・3～4	3年	9	0.0	0.0	9	44.4
2年			9	22.2	0.6	9	55.6	3.6
平年			—	12.2	0.2	—	51.1	3.1
7・3～4		3年	9	11.1	0.1	9	66.7	1.6
		2年	9	22.2	0.6	9	33.3	5.1
		平年	—	11.1	0.3	—	42.2	5.8
8・3～4		3年	9	55.6	1.2	9	22.2	0.2
		2年	9	22.2	0.3	9	44.4	6.1
		平年	—	50.0	1.5	—	37.8	2.0
9・3～4		3年	1	0.0	0.0	—	—	—
		2年	2	100.0	4.0	—	—	—

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種構成割合(%)							
	シラホシカメムシ	トゲシラホシカメムシ	ホリハリカメムシ	クモヘリカメムシ	コバネヒョウタンナガカメムシ	アカヒゲホリミドリカスミカメ	アカシカスミカメ	その他
3年	4.1	23.0	6.8	6.8	0.0	2.7	50.0	6.8
2年	2.7	2.1	9.5	24.4	0.0	28.9	19.9	12.5
元年	18.2	3.6	23.4	24.0	0.0	8.9	20.3	1.6
30年	3.6	1.0	9.6	3.6	0.0	27.9	39.6	14.7
29年	1.8	4.2	9.6	4.2	0.0	10.2	46.7	23.4
28年	8.9	14.8	19.3	7.4	0.0	5.9	34.8	8.9
27年	2.5	9.9	12.3	39.5	0.0	7.4	22.2	6.2
26年	1.2	2.9	5.0	4.1	0.0	15.9	70.5	0.3
25年	1.3	3.8	18.3	9.4	1.3	8.7	53.7	3.6
24年	2.1	6.9	16.6	2.8	2.8	46.2	19.3	3.4

\* 種構成割合は本田と畦畔における20回振りすくい取りの平均値。

ト イネツトムシ（イチモンジセセリ）

6月には発生を認めず、7月には平年並の発生となった。

ナ フタオビコヤガ

6月～7月に府内の一部で発生を認めた。

ニ イネクロカメムシ

本田では発生を認めなかった。

ヌ スクミリンゴガイ

山城及び南丹地域の一部で発生を認めた。

## (2) 麦類

### 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病名	麦の種類	4月	5月
赤かび病	二条大麦	(-)	並(-)
	小麦	-	並(-)
うどんこ病	二条大麦	(-)	-
	小麦	(-)	(-)

-:調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

麦の種類	調査時期 (月・半旬)	年次	赤かび病			うどんこ病		
			発病穂率 (%)	発病度	確認ほ率 (%)	発斑面積率 (%)	発病茎率 (%)	確認ほ率 (%)
二条大麦	4・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		2年	0.0	0.0	0.0	0.8	48.0	66.7
		平年	-	-	-	-	-	-
	5・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	-	-	-
		2年	0.0	0.0	0.0	-	-	-
		平年	0.1	0.01	1.7	-	-	-
小麦	4・3~4	3年	-	-	-	0.0	0.0	0.0
		2年	-	-	-	0.0	0.0	0.0
		平年	-	-	-	-	-	-
	5・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	0.3	0.06	5.7	-	-	-

注)調査場所:(二条大麦)亀岡市、(小麦)綾部市、福知山市、南丹市

### (3) 黒大豆

#### 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	7月	8月	9月	10月(英)	全期間
モザイク病	やや少	—	—	—	やや少
べと病	—	多	やや多	—	やや多
葉焼病	並(-)	少(-)	やや少	—	やや少
ハダニ類	やや少(-)	少	並	—	やや少
アブラムシ類	並	並(-)	並	—	並
フタスジヒメハムシ	並(-)	並	やや多	少	並
吸実性カメムシ類	並(-)	やや少	やや多	—	並
ハスモンヨトウ	並(-)	並	多	—	やや多
サヤムシガ類	並	並	並	—	並
食葉性チョウ目幼虫	やや多	並	(+)	—	やや多
チョウ目害虫	—	—	—	—	並

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		べと病			葉焼病		
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)
7・3～4	3年	2.4	50.0	—	—	—	0.0	0.00	12.5
	2年	13.5	87.5	—	—	—	2.5	0.63	25.0
	平年	8.4	71.3	—	—	—	1.3	0.33	8.8
8・3～4	3年	—	—	35.5	8.9	75.0	0.0	0.0	0.0
	2年	—	—	12.0	3.0	50.0	14.5	3.6	50.0
	平年	—	—	10.1	2.5	27.5	11.6	3.0	48.8
9・3～4	3年	—	—	64.0	16.1	75.0	38.0	9.3	100.0
	2年	—	—	0.5	0.1	12.5	30.0	7.5	75.0
	平年	—	—	36.5	9.2	53.8	59.9	15.3	80.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			フタスジヒメハムシ		
		寄生株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	確認ほ率 (%)
7・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	平年	0.6	0.2	15.0	0.5	0.3	11.3	0.6	0.2	11.3
8・3～4	3年	3.0	7.8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5
	2年	1.5	1.8	37.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	25.0
	平年	21.7	91.5	63.8	0.1	0.04	2.5	1.2	0.4	22.5
9・3～4	3年	19.5	95.0	75.0	5.0	5.0	75.0	20.5	8.3	75.0
	2年	43.5	255.8	87.5	0.0	0.0	0.0	24.5	12.5	50.0
	平年	18.2	75.2	56.3	6.3	12.1	45.0	12.9	5.0	60.0

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類					ハスモンヨトウ				食葉性チョウ目幼虫	
		寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	200莢当 虫数(頭)	寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	寄生株 確認ほ率 (%)	白変葉 箇所数 /10a	寄生株率 (%)	確認ほ率 (%)
7・3～4	3年	2.0	6.0	37.5	75.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5
	2年	3.0	18.5	37.5	100.0	—	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	12.5
	平年	3.6	10.9	42.5	76.3	—	0.1	0.01	1.3	0.01	0.4	8.8
8・3～4	3年	4.5	1.3	25.0	75.0	—	1.0	2.6	25.0	25.0	2.0	25.0
	2年	1.5	0.5	37.5	50.0	—	5.0	2.3	62.5	100.0	9.5	37.5
	平年	3.0	0.8	37.5	76.3	—	1.7	1.0	30.0	50.0	2.8	36.3
9・3～4	3年	0.0	1.0	0.0	12.5	0.0	5.0	1.6	62.5	100.0	7.0	75.0
	2年	0.0	1.5	0.0	37.5	0.0	1.0	0.3	12.5	87.5	0.5	12.5
	平年	0.4	—	10.0	—	0.3	4.1	2.3	31.3	77.5	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	吸実性カメムシ類		
		寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	確認ほ率 (%)
7・3～4	3年	0.0	0.00	0.0
	2年	0.0	0.00	0.0
	平年	0.1	0.01	1.3
8・3～4	3年	0.5	0.1	25.0
	2年	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	0.5	23.8
9・3～4	3年	3.0	3.0	37.5
	2年	3.5	1.5	37.5
	平年	2.2	1.1	33.8

調査時期 (月・半旬)	年次	フタスジヒメハムシ		チョウ目害虫	
		食害英率 (%)	確認ほ率 (%)	食害英率 (%)	確認ほ率 (%)
10・3～4	3年	1.1	87.5	1.4	75.0
	2年	0.8	75.0	2.6	62.5
	平年	7.6	90.0	1.9	68.8

#### (4) 小豆

##### 病害虫の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	並	—	—	並
うどんこ病	—	並(-)	—	並(-)
炭疽病	並(-)	多	—	やや多
さび病	並(-)	並	—	並
ハダニ類	並(-)	並	—	並
アブラムシ類	並	多	—	やや多
ハスモンヨトウ	やや少	並	—	やや少
サヤムシガ類	やや少	並	—	やや少
アズキノメイガ	—	並	—	並
マメノメイガ	—	少(-)	—	少(-)
オオタバコガ	—	並	—	並
食葉性チャウ目幼虫	(+)	(+)	—	(+)
チョウ目害虫	—	—	少	—

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		うどんこ病		炭疽病		さび病	
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)
8・3~4	3年	0.6	33.3	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	2.0	41.7	—	—	0.0	8.3	0.0	0.0
	平年	1.1	41.2	—	—	0.2	3.9	0.3	3.2
9・3~4	3年	—	—	0.0	0.0	16.0	58.3	14.3	41.7
	2年	—	—	0.0	0.0	3.6	20.0	8.0	10.0
	平年	—	—	0.0	0.0	5.4	22.8	17.5	31.7

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	白変葉 箇所数 /10a	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	8.0	0.0	0.0	0.4	0.0
	2年	0.7	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
	平年	0.5	0.5	8.9	0.7	0.3	8.1	0.3	0.1	1.1	8.1
9・3~4	3年	3.3	3.3	16.7	1.7	0.4	25.0	0.7	0.2	0.8	16.7
	2年	7.2	27.6	60.0	0.8	0.2	30.0	1.6	0.9	9.3	30.0
	平年	4.8	10.6	46.2	0.5	0.1	13.8	3.2	1.1	1.4	47.8

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類				アズキノメイガ			マメノメイガ		
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	寄生株確 認ほ率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	200花・莢 当虫数 (頭)	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3~4	3年	0.3	0.0	8.3	0.0	—	—	—	—	—	—
	2年	0.0	0.7	0.0	8.3	—	—	—	—	—	—
	平年	0.4	0.7	6.5	11.5	—	—	—	—	—	—
9・3~4	3年	0.7	3.3	16.7	41.7	1.7	3.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	2年	1.2	2.0	20.0	30.0	0.0	0.4	10.0	0.4	0.1	10.0
	平年	0.9	2.6	14.8	30.9	2.1	2.9	39.3	10.3	4.4	57.5

調査時期 (月・半旬)	年次	オオタバコガ		食葉性チャウ目幼虫		吸蜜性カメムシ類		
		寄生 株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
8・3~4	3年	—	—	1.7	8.0	—	—	—
	2年	—	—	0.3	8.3	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—
9・3~4	3年	2.0	25.0	1.3	25.0	0.0	0.0	0.0
	2年	1.2	30.0	1.2	30.0	0.0	0.0	8.3
	平年	4.5	47.8	—	—	—	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)
10・3~4	3年	6.9	100.0
	2年	15.8	100.0
	平年	14.1	100.0

## (5) ナシ

### 病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	やや多	やや多	やや多	並	多	やや少	やや多
黒星病	並	並	多	多	多	多	やや多
赤星病	やや多	並	並	やや少	並	並(-)	並
うどんこ病	—	並(-)	やや少(-)	やや少	少	やや少	やや少
ハダニ類	並(-)	やや少(-)	やや少	少(-)	少(-)	やや多	やや少
アブラムシ類	(+)	(-)	(-)	(-)	—	—	—
ハマキムシ類	(-)	(-)	(-)	(-)	—	—	—
カメムシ類	多	並(-)	並(-)	—	—	—	やや多
シンクイムシ類	—	並(-)	並(-)	並(-)	—	—	並(-)

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果(ナシ、5～10月) (%)

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病		うどんこ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	3年	1.4	80.0	0.2	20.0	0.3	27.3	—	—
	2年	2.6	100.0	1.0	40.0	2.7	18.2	—	—
	平年	1.0	29.3	0.4	12.0	0.6	10.3	—	—
6・3～4	3年	4.4	100.0	3.2	40.0	0.7	45.5	0.0	0.0
	2年	3.0	60.0	9.8	100.0	0.2	18.2	0.0	0.0
	平年	2.8	59.7	3.1	37.0	0.8	28.4	0.0	1.7
7・3～4	3年	5.4	100.0	7.0	60.0	0.7	18.2	0.0	0.0
	2年	8.6	60.0	4.2	80.0	0.6	18.2	0.7	27.3
	平年	4.3	64.3	2.3	37.3	0.7	22.3	1.0	11.4
8・3～4	3年	5.8	100.0	5.4	80.0	0.1	9.1	0.1	9.1
	2年	10.4	100.0	4.4	40.0	0.2	18.2	0.6	45.5
	平年	6.0	84.3	1.8	28.5	0.4	21.1	2.8	25.2
9・3～4	3年	28.2	100.0	11.6	100.0	0.1	9.1	0.5	18.2
	2年	11.0	100.0	5.0	20.0	0.1	18.2	1.3	45.5
	平年	11.6	88.0	2.5	30.5	0.2	14.8	7.7	42.7
10・3～4	3年	10.2	80.0	5.4	40.0	0.0	0.0	17.2	90.9
	2年	13.4	100.0	4.8	80.0	0.0	0.0	2.0	54.5
	平年	15.1	88.3	1.8	33.2	0.1	8.4	26.8	77.9

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		アブラムシ類		ハマキムシ類		カメムシ類		シンクイムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率
5・3～4	3年	0.0	0.0	2.7	63.6	0.0	0.0	0.7	33.3	—	—
	2年	0.0	0.0	1.5	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.3	8.0	—	—	—	—	0.1	2.2	—	—
6・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	0.0	0.0
	平年	2.1	30.3	—	—	—	—	0.3	9.0	0.0	0.0
7・3～4	3年	0.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	5.8	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	12.8	45.6	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	2年	0.4	27.2	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	11.9	64.4	—	—	—	—	—	—	0.1	3.6
9・3～4	3年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	2年	1.6	45.5	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	6.6	51.5	—	—	—	—	—	—	—	—
10・3～4	3年	1.8	63.6	—	—	—	—	—	—	—	—
	2年	2.1	54.5	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	3.3	36.6	—	—	—	—	—	—	—	—

## (6) ブドウ

### 病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	多	やや少	やや少	並	並	並
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	(-)	(-)	—	—	—	—
さび病	—	並(-)	並(-)	並	やや多	並
褐斑病	—	並(-)	並(-)	やや多	やや多	やや多
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並
チャノキイロアザミウマ	—	(-)	—	—	—	—

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(ブドウ)

(%)

調査時期 (月・半月)	年次	べと病		うどんこ病		灰色かび病		さび病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病花 (果)穂率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率
5・3～4	3年	0.2	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
6・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.9	24.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
7・3～4	3年	0.2	16.7	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	2年	0.8	16.7	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	平年	5.5	49.3	0.02	2.0	—	—	0.0	0.0
8・3～4	3年	5.7	83.3	0.0	0.0	—	—	0.2	16.7
	2年	1.2	33.3	0.0	0.0	—	—	1.7	33.3
	平年	7.7	61.7	0.2	5.0	—	—	1.5	16.7
9・3～4	3年	10.3	100.0	0.0	0.0	—	—	11.7	66.7
	2年	2.0	33.3	0.0	0.0	—	—	9.3	33.3
	平年	11.1	70.7	0.3	7.0	—	—	7.8	49.7

調査時期 (月・半月)	年次	褐斑病		ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	3年	—	—	0.0	0.0	—	—
	2年	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	0.02	1.7	—	—
6・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.1	5.3	—	—
7・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	2年	0.3	16.7	0.0	0.0	—	—
	平年	0.03	1.7	0.1	3.3	—	—
8・3～4	3年	3.0	33.3	0.0	0.0	—	—
	2年	9.2	83.3	5.8	16.6	—	—
	平年	1.4	11.7	0.6	1.7	—	—
9・3～4	3年	3.8	50.0	0.3	33.3	—	—
	2年	7.7	50.0	0.3	16.7	—	—
	平年	2.4	15.0	0.1	5.3	—	—

# (7) カキ

## 病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	多	やや多	やや多	並	多	多	多
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
炭疽病	(-)	並(-)※	並(-)	並(-)	並(-)	多	やや多
カキクダアザミウマ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多
チャノイロアザミウマ	—	—	多	並	やや少	少	並
カイガラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)	やや少
ハダニ類	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並※	多※	やや多※
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カメムシ類	—	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	やや多
ハマキムシ類	—	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※	並(-)※

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず  
※印を付した箇所は例年比示す。

表2 巡回調査結果(カキ、5～10月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭疽病		
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病新梢率	被害果率	ほ場率
5・3～4	3年	4.0	33.3	—	—	0.0	—	0.0
	2年	0.7	33.3	—	—	0.0	—	0.0
	平年	0.9	40.0	—	—	—	—	—
6・3～4	3年	28.7	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	2年	42.7	100.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	19.0	100.0	—	—	—	—	—
7・3～4	3年	41.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	25.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	27.6	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
8・3～4	3年	27.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	50.7	100.0	0.0	0.0	0.7	0.0	33.3
	平年	27.3	100.0	0.3	16.7	—	0.1	10.0
9・3～4	3年	39.3	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	2年	39.3	100.0	1.7	66.7	—	0.3	66.7
	平年	28.1	100.0	0.4	16.7	—	0.3	23.3
10・3～4	3年	58.0	100.0	0.0	0.0	—	2.7	66.7
	2年	39.0	100.0	0.0	33.3	—	1.3	66.7
	平年	38.7	96.7	2.4	26.7	—	0.5	30.0

調査時期 (月・半旬)	年次	カキクダアザミウマ			チャノイロアザミウマ		カイガラムシ類		
		被害葉率	被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	3年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	2年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	0.03	—	3.3	—	—	0.06	—	6.7
6・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	平年	0.00	0.0	0.0	—	—	—	0.1	3.3
7・3～4	3年	—	0.0	0.0	2.3	100.0	—	0.0	0.0
	2年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.7	13.3	0.3	16.7	—	0.5	20.0
8・3～4	3年	—	0.0	0.0	0.7	33.3	—	0.0	0.0
	2年	—	0.0	0.0	4.7	100.0	—	0.7	33.3
	平年	—	0.1	3.3	3.3	53.3	—	0.8	26.7
9・3～4	3年	—	0.0	0.0	1.0	33.3	—	0.0	0.0
	2年	—	0.0	0.0	1.3	33.3	—	2.0	33.3
	平年	—	0.3	13.3	7.1	70.0	—	1.5	36.7
10・3～4	3年	—	0.7	33.3	0.3	33.3	—	0.0	0.0
	2年	—	0.0	0.0	12.0	100.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.1	6.7	8.2	76.7	—	1.6	33.3

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		カキノヘタムシガ		カメムシ類		ハマキムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	3年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	2年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—	—
6・3～4	3年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	33.3	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	0.0	0.0	—	—
7・3～4	3年	0.0	0.0	—	—	0.7	33.3	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	—	—	0.1	3.3	—	—
8・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.0	0.0	0.3	6.7	—	—
9・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.03	3.3	0.1	6.7	—	—
10・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	2.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	—	—	0.3	3.3	0.7	20.0	—	—

## (8)カンキツ

### 病害虫発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	多	多	多	並(-)	並(-)	並(-)	やや多
かいよう病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒点病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	並	並	少(-)	並	少(-)	並	やや少
ヤノネカイガラムシ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ミカンハモグリガ	やや少(-)	並(-)	やや多	並	並	やや少	並
アブラムシ類	—	(+)	(+)	(+)	(-)	(+)	

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(カンキツ、4～9月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	そうか病			かいよう病			黒点病	
		発病度 (葉)	発病度 (果実)	ほ場率	発病度 (葉)	発病度 (果実)	ほ場率	発病度 (果実)	ほ場率
4・3～4	3年	0.1	—	33.3	0.0	—	0.0	—	—
	2年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
5・3～4	3年	0.1	—	33.3	0.0	—	0.0	—	—
	2年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
6・3～4	3年	0.1	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.4	1.2	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.1	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ		アブラムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率	寄生新梢率	ほ場率
4・3～4	3年	2.7	33.3	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—
	2年	1.3	33.3	0.3	—	66.7	0.0	0.0	—	—
	平年	1.9	33.3	1.3	—	31.7	1.7	43.3	—	—
5・3～4	3年	2.3	66.7	0.0	—	0.0	0.0	0.0	2.0	66.7
	2年	1.7	66.7	0.3	—	33.3	1.7	33.3	0.0	0.0
	平年	4.9	56.7	0.4	—	16.7	0.7	23.3	—	—
6・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	33.3	1.3	66.7
	2年	0.3	33.3	0.3	0.0	33.3	2.3	100.0	2.7	66.7
	平年	11.2	73.3	0.1	0.0	10.0	0.5	26.7	—	—
7・3～4	3年	6.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	0.7	33.3
	2年	36.0	100.0	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	2.7	33.3
	平年	16.2	63.3	0.0	0.2	3.3	1.0	36.7	—	—
8・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	100.0	0.0	0.0
	2年	36.0	100.0	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	2.7	33.3
	平年	16.2	63.3	0.0	0.2	3.3	1.0	36.7	—	—
9・3～4	3年	8.3	100.0	0.0	0.0	0.0	1.0	33.3	1.7	33.3
	2年	0.7	66.7	0.0	0.0	0.0	2.0	100.0	0.0	33.3
	平年	14.0	70.0	0.3	0.0	20.0	3.0	70.0	—	—

## (9) 茶 樹

### 生育状況

3月の気温が平年と比べ高く推移し、本年の自然仕立て園の一番茶萌芽期は、平年より3日早い4月2日となった。弧状仕立て園は平年より3日早い、4月5日に萌芽期に達した。

4月25日時点の生育は、自然仕立て園では新芽長9.5cm、新葉数3.5枚、弧状仕立て園では新芽長6.4cm、新葉数2.8枚になった。

(宇治茶部発表の「令和3年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

### 病害虫発生状況

#### ア 炭疽病（指定）

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	少	やや少	やや多	並	並	少
丹波	少	並	少	少	少	並	並
丹後	少	並	多	並	並	並	並

表2 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	2.3	59.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	2.5	54.5	4.5	33.3	1.8	25.0
	平年	4.6	46.3	5.5	41.7	5.1	57.5
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.3	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	33.7	0.1	3.3	0.9	19.4
6. 3 ~ 6. 4	R3	1.4	35.3	0.0	0.0	4.5	75.0
	R2	4.1	55.0	4.2	83.3	1.5	75.0
	平年	4.3	57.6	7.6	73.3	1.2	34.2
7. 3 ~ 7. 4	R3	2.6	58.3	1.0	20.0	0.8	25.0
	R2	2.4	57.1	9.8	100.0	0.5	25.0
	平年	1.0	25.9	7.9	68.2	1.2	33.3
8. 3 ~ 8. 4	R3	0.6	13.6	0.7	33.3	1.3	25.0
	R2	2.1	54.5	1.2	33.3	6.5	75.0
	平年	1.3	18.9	13.7	64.7	5.3	57.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.4	9.1	1.3	50.0	1.0	25.0
	R2	1.2	31.8	0.2	16.7	0.3	25.0
	平年	2.1	23.3	4.6	51.7	1.5	35.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	0.4	22.7	1.3	16.7	0.0	0.0
	R2	4.4	68.2	2.7	33.3	0.0	0.0
	平年	3.3	30.5	2.5	46.7	12.1	45.0

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	並	多	やや多	多	やや多	多
丹波	並	並	並	並	並	やや多	並
丹後	並	(並)	並	並	多	並	やや多

表4 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.05	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.05	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	1.12	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.10	10.0	1.5	16.7	0.8	50.0
	平年	0.04	2.6	0.2	6.7	0.1	5.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.17	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.00	0.0	0.5	16.7	0.0	0.0
	平年	0.28	3.5	0.3	10.8	0.1	7.5
8. 3 ~ 8. 4	R3	1.6	13.6	0.3	33.3	1.0	25.0
	R2	0.1	4.5	1.7	33.3	0.0	0.0
	平年	0.2	2.8	0.5	20.3	0.2	10.0
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.41	18.2	3.2	50.0	0.0	0.0
	R2	2.50	40.9	3.8	66.7	0.8	25.0
	平年	0.32	6.8	1.0	21.7	1.1	20.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	1.82	36.4	0.7	66.7	0.3	25.0
	R2	0.32	9.1	1.0	33.3	0.0	0.0
	平年	0.26	3.7	1.5	35.0	0.1	2.5

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	(並)	並	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	5.5	0.04	3.3	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.03	2.5
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	多	多	並	並	多	やや少	やや多
丹波	並	並	並	並	並	並	多
丹後	並	(並)	並	並	並	並	並

表8 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.2	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	R3	0.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.3	33.3	0.0	0.0
	平年	0.0	3.2	0.1	11.7	0.1	2.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.0	4.5	0.7	33.3	0.0	0.0
	R2	0.2	9.1	1.7	16.7	0.0	0.0
	平年	1.1	11.8	0.8	26.7	0.1	5.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	0.5	22.7	5.7	66.7	0.5	50.0
	R2	0.4	9.1	0.3	33.3	0.0	0.0
	平年	0.3	9.4	0.6	21.7	0.9	20.0

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	多	並	並	やや多	やや多
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	(並)	並	並	並	並	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	4.7	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	2.5	0.0	3.3	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.8	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	R3	1.6	9.1	0.0	16.7	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	25.0
	平年	0.4	1.8	0.0	0.0	0.03	2.5
10. 3 ~ 10. 4	R3	1.8	18.2	0.0	16.7	0.0	0.0
	R2	1.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.7	2.7	1.7	10.0	0.0	0.0

カ ネット病

表11 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	(並)	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m <sup>2</sup> )	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の平年比較

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	少	やや少	多	並	少	並	やや多	少	やや多
丹波	並	並	並	並	少	少	やや多	並	並
丹後	(多)	並	多	(やや多)	やや少	やや少	少	やや多	やや多

表14 越冬状況 令和5年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)
2. 5	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	75.0
	R2	0.3	0.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	50.0
	平年	0.3	0.1	14.3	0.2	0.02	11.7	0.3	0.0	15.6
3. 4	R3	0.2	0.1	9.1	0.3	0.0	16.7	0.5	0.5	25.0
	R2	0.1	0.1	4.8	1.0	0.0	33.3	1.5	0.0	75.0
	平年	1.1	0.5	23.6	0.8	0.1	16.7	1.1	0.2	15.0

表15 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	1.8	4.3	27.3	0.0	0.0	0.0	2.5	14.5	25.0
	R2	0.2	0.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	5.3	15.5	0.6	2.7	10.0	0.5	3.3	10.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.8	1.4	15.8	0.0	0.0	0.0	1.0	5.5	50.0
	R2	0.1	0.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.2	4.5	21.0	0.3	0.4	5.3	0.8	4.3	13.9
6. 3 ~ 6. 4	R3	2.9	5.8	54.5	0.3	0.3	16.7	1.5	4.5	25.0
	R2	5.7	38.4	47.6	2.3	5.5	50.0	0.5	2.5	25.0
	平年	10.3	60.7	64.0	5.6	35.4	45.0	6.6	32.0	57.5
7. 3 ~ 7. 4	R3	1.6	2.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.5	3.5	25.0
	R2	3.0	8.1	72.7	2.3	5.7	66.7	5.0	5.0	25.0
	平年	2.6	5.2	36.8	3.9	15.0	41.7	2.7	11.1	46.7
8. 3 ~ 8. 4	R3	5.8	15.5	36.4	10.3	98.7	50.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.6	2.1	22.7	4.7	12.0	66.7	8.0	9.0	100.0
	平年	3.5	9.9	34.7	7.5	53.0	56.7	7.1	38.8	62.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	33.3	2.0	6.5	50.0
	R2	2.7	40.8	68.2	8.0	55.3	50.0	1.5	6.0	25.0
	平年	1.6	7.0	23.7	2.0	9.0	25.0	1.7	6.2	32.5
10. 3 ~ 10. 4	R3	1.4	6.5	18.2	0.7	2.7	33.3	1.0	1.5	25.0
	R2	1.3	3.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	1.8	15.0	0.5	1.4	18.3	0.7	2.6	20.0

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	少	少	やや少
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	(並)	やや多	並	並	並	並

表17 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		幼虫・蛹数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/㎡)	綴葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	R2	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	平年	0.09	0.55	11.0	0.04	0.21	11.7	0.00	0.00	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	R2	0.24	0.12	11.8	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	平年	0.07	0.07	3.9	0.02	0.16	7.3	0.11	0.22	3.7
6. 3 ~ 6. 4	R3	0.06	0.24	5.9	3.25	3.25	75.0	0.75	0.75	50.0
	R2	0.00	0.10	10.0	2.83	3.00	33.3	0.25	0.50	50.0
	平年	0.15	0.55	11.9	1.42	9.02	45.0	0.15	0.66	10.8
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.00	0.17	16.7	0.20	2.20	8.3	0.00	0.00	0.0
	R2	0.00	0.10	9.5	4.83	1.17	14.3	0.25	0.25	25.0
	平年	0.20	0.37	9.5	2.19	4.10	42.9	0.34	0.68	8.3
8. 3 ~ 8. 4	R3	0.00	0.00	0.0	0.67	0.67	16.7	0.00	0.00	0.0
	R2	0.00	0.59	22.7	3.83	19.00	50.0	0.00	0.25	25.0
	平年	0.49	1.03	12.8	0.62	2.41	16.7	0.00	2.34	10.0
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.00	0.14	13.6	0.17	1.17	50.0	0.00	0.00	0.0
	R2	0.00	0.68	18.2	0.67	5.67	83.3	3.00	17.75	75.0
	平年	0.08	4.48	24.2	0.09	2.32	30.0	0.33	2.01	17.5
10. 3 ~ 10. 4	R3	0.00	0.09	9.1	0.00	0.00	33.3	0.00	0.00	0.0
	R2	0.00	1.00	31.8	0.00	3.75	16.7	0.00	3.75	50.0
	平年	0.02	0.71	15.7	0.45	0.38	26.7	0.00	0.38	5.0

ケ チャノホソガ (指定)

表18 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(並)	並	やや多	やや少	並	並	並
丹波	(並)	並	(並)	並	やや多	多	やや多
丹後	(並)	(並)	(やや少)	並	やや少	やや多	(やや多)

表19 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.5	0.05	4.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.8	0.0	4.5	0.0	0.17	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	0.1	6.9	0.0	0.02	1.7	2.5	0.0	2.5
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.2	0.0	5.3	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	R2	0.8	0.1	17.6	0.0	0.2	16.7	0.0	2.0	66.7
	平年	1.3	0.2	14.6	0.1	0.5	17.7	1.2	0.6	31.5
6. 3 ~ 6. 4	R3	4.0	0.2	41.2	2.7	0.5	75.0	13.3	0.0	75.0
	R2	2.5	0.3	30.0	26.7	1.8	33.3	—	0.0	0.0
	平年	2.9	0.0	18.5	31.5	0.4	30.0	19.5	0.4	35.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.0	0.0	0.0	3.2	1.4	25.0	4.0	0.8	100.0
	R2	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	18.8	2.5	1.5	50.0
	平年	4.6	0.8	33.5	2.6	0.1	23.5	16.8	1.9	53.3
8. 3 ~ 8. 4	R3	1.1	0.1	18.2	4.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	R2	1.3	0.1	40.9	14.5	2.2	50.0	1.0	1.0	25.0
	平年	1.1	0.4	19.4	1.6	0.2	10.0	12.1	3.6	57.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	2.8	0.3	45.5	15.3	0.2	100.0	6.5	0.8	100.0
	R2	2.5	0.5	40.9	0.0	0.5	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	4.9	1.5	33.1	0.7	0.4	35.0	1.8	1.0	47.5
10. 3 ~ 10. 4	R3	4.7	1.2	59.1	25.5	0.3	66.7	5.3	0.8	75.0
	R2	4.7	1.6	33.3	5.3	0.0	100.0	—	0.0	0.0
	平年	6.6	6.2	38.0	9.2	2.0	63.3	5.9	2.2	47.5

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(やや少)	やや多	並	やや少	並	少	少
丹波	(並)	並	(やや少)	やや少	やや少	少	多
丹後	-	(並)	(やや少)	少	やや少	並	(並)

表21 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.5	0.2	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.3	0.2	16.7	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	1.8	1.1	29.2	0.2	0.0	8.0	13.3	0.0	66.7
5. 3 ~ 5. 4	R3	7.8	15.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	25.0
	R2	2.6	7.1	29.4	0.0	0.3	16.7	7.3	0.0	66.7
	平年	2.4	3.1	37.9	0.6	0.4	20.8	1.9	0.6	36.1
6. 3 ~ 6. 4	R3	7.7	5.5	76.9	8.0	2.0	100.0	9.3	0.7	100.0
	R2	11.5	9.1	100.0	2.7	4.0	66.7	-	-	-
	平年	12.7	4.5	75.5	14.2	7.2	85.4	28.2	11.8	75.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	13.2	5.5	100.0	2.0	1.4	40.0	0.0	0.0	0.0
	R2	9.5	42.1	68.8	0.5	1.5	25.0	10.0	1.0	75.0
	平年	33.2	73.6	94.4	8.5	3.6	69.8	14.8	5.3	77.5
8. 3 ~ 8. 4	R3	19.6	7.6	86.4	4.0	0.7	83.3	2.7	0.0	66.7
	R2	4.4	1.9	59.1	9.0	49.5	50.0	0.5	1.5	25.0
	平年	24.5	8.5	81.0	12.7	11.8	82.3	39.8	112.1	82.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	5.9	3.5	77.3	2.7	1.7	50.0	11.0	2.5	100.0
	R2	9.9	5.1	81.8	15.0	13.0	75.0	26.0	18.7	100.0
	平年	22.1	26.8	85.3	9.8	6.7	82.2	20.9	11.1	92.5
10. 3 ~ 10. 4	R3	10.2	0.0	52.9	31.5	14.5	100.0	11.3	0.7	100.0
	R2	12.4	54.4	77.8	4.7	4.0	66.7	-	-	-
	平年	24.6	56.1	90.4	9.4	7.8	71.5	15.0	1.3	91.7

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(多)	少	並	少	多	少	並
丹波	(並)	やや多	(やや多)	並	やや多	並	並
丹後	-	(並)	(やや多)	並	並	やや多	(並)

表23 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.2	0.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-
	平年	0.02	0.02	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	R2	1.2	1.3	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	0.3	11.3	0.2	0.2	8.7	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	0.5	16.9	61.5	12.7	65.3	100.0	1.3	3.3	66.7
	R2	1.8	10.7	72.7	26.7	12.0	100.0	-	-	-
	平年	2.4	4.1	33.7	5.9	19.4	87.5	0.8	15.3	37.5
7. 3 ~ 7. 4	R3	1.3	1.5	41.7	3.2	3.6	60.0	6.0	8.0	100.0
	R2	2.8	14.6	37.5	0.0	9.5	0.0	2.5	14.5	50.0
	平年	7.1	9.0	56.6	6.4	12.9	47.7	4.6	6.8	28.3
8. 3 ~ 8. 4	R3	10.2	20.2	59.1	21.0	36.7	100.0	2.0	1.3	66.7
	R2	7.4	1.4	86.4	0.0	7.0	0.0	6.5	1.5	100.0
	平年	5.3	2.8	42.0	6.1	9.7	48.8	2.2	1.5	45.0
9. 3 ~ 9. 4	R3	1.2	0.9	36.4	12.0	15.7	100.0	22.5	24.5	100.0
	R2	2.2	1.2	40.9	3.0	4.0	50.0	5.3	8.7	100.0
	平年	6.4	6.9	55.6	13.5	23.4	76.3	10.5	14.3	58.3
10. 3 ~ 10. 4	R3	10.0	19.1	64.7	16.0	26.0	100.0	5.3	4.0	66.7
	R2	2.3	1.6	38.9	13.3	30.7	100.0	-	-	-
	平年	8.0	9.8	47.4	12.9	15.7	72.7	4.6	3.6	57.4

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(多)	並	並	並	多	やや少	やや多
丹波	(並)	並	(多)	並	やや多	やや多	並
丹後	—	(並)	(多)	並	並	並	(並)

表25 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.8	10.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.2	5.0	8.3	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	(0.4)	(2.5)	(10.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	—	—	—
5. 3 ~ 5. 4	R3	1.1	8.2	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	4.7	34.5	29.4	0.3	0.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	7.1	17.0	0.2	0.6	7.8	0.3	0.3	13.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	0.5	1.5	15.4	1.3	1.3	66.7	12.7	26.7	100.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—
	平年	0.9	5.5	14.4	0.4	2.0	15.0	1.5	21.7	45.8
7. 3 ~ 7. 4	R3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.5	1.9	25.0	1.0	9.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	0.6	8.1	0.4	2.5	11.5	0.9	6.7	22.5
8. 3 ~ 8. 4	R3	2.2	19.1	36.4	1.7	6.0	50.0	2.0	17.3	66.7
	R2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	3.8	11.1	0.3	1.0	9.2	1.8	16.3	35.0
9. 3 ~ 9. 4	R3	0.8	7.5	36.4	7.0	27.0	100.0	1.5	18.0	50.0
	R2	0.9	0.3	9.1	4.0	15.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	12.5	23.8	3.1	128.1	50.8	1.6	8.3	45.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	1.8	10.7	11.8	5.0	10.0	75.0	3.3	7.3	100.0
	R2	2.0	14.2	33.3	8.0	27.3	100.0	—	—	—
	平年	1.1	9.6	27.5	3.8	18.4	67.7	(4.6)	(50.7)	(45.4)

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(やや多)	やや多	やや多	やや多	やや少	やや多	並
丹波	(やや少)	並	(やや少)	やや少	並	並	やや少
丹後	(並)	(並)	(並)	少	並	並	(やや少)

表27 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	0.2	0.7	40.9	0.0	0.0	0.0	6.0	1.3	0.0
	R2	3.0	0.4	31.8	1.3	0.7	50.0	—	0.0	0.0
	平年	(1.6)	0.4	12.5	3.8	2.0	44.4	—	0.5	11.1
5. 3 ~ 5. 4	R3	2.9	1.4	36.8	2.0	4.0	66.7	9.0	7.3	100.0
	R2	2.2	6.4	35.3	3.0	0.8	83.3	16.7	26.0	100.0
	平年	1.5	2.0	26.2	2.5	5.8	55.7	14.2	15.5	88.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	2.0	1.9	58.8	2.0	0.0	50.0	8.7	3.8	100.0
	R2	1.3	3.8	57.9	5.3	5.2	100.0	—	3.0	100.0
	平年	1.3	1.3	26.8	(2.9)	2.3	51.7	16.7	49.7	85.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	4.8	9.3	50.0	2.4	8.6	40.0	0.0	0.0	0.0
	R2	2.4	7.1	31.3	2.5	4.8	50.0	6.0	18.5	100.0
	平年	1.9	2.9	34.4	6.9	8.9	59.5	23.7	25.5	85.0
8. 3 ~ 8. 4	R3	0.7	3.3	45.5	12.0	1.5	50.0	14.7	9.0	100.0
	R2	15.4	54.6	95.5	0.5	9.3	25.0	1.0	7.8	50.0
	平年	4.8	7.3	64.0	16.1	16.3	82.5	15.6	20.3	72.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	3.5	4.7	72.7	2.3	4.3	66.7	3.5	2.5	100.0
	R2	9.5	36.2	90.9	17.5	2.8	83.3	5.3	2.7	100.0
	平年	1.7	5.2	35.8	3.7	4.5	60.0	5.0	8.8	77.5
10. 3 ~ 10. 4	R3	0.6	0.5	27.3	1.0	1.2	50.0	0.7	0.3	25.0
	R2	8.9	4.4	83.3	1.3	4.0	66.7	—	0.0	0.0
	平年	2.0	1.1	33.6	4.1	5.7	70.0	5.5	5.5	52.5

セ クワシロカイガラムシ

表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	並	やや少	やや少	少	やや少
丹波	多	やや多	多	少	並	少	やや多
丹後	並	(並)	並	並	並	やや少	やや少

表29 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	6.8	54.5	37.5	83.3	13.8	75.0
	R2	1.8	31.8	3.3	50.0	5.0	50.0
	平年	16.3	51.1	7.2	50.0	22.9	65.0
5. 3 ~ 5. 4	R3	22.6	52.6	13.3	66.7	6.3	75.0
	R2	3.0	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	13.0	51.7	8.5	37.3	16.5	63.9
6. 3 ~ 6. 4	R3	16.6	63.6	67.5	100.0	22.5	100.0
	R2	11.9	66.7	54.2	83.3	13.8	75.0
	平年	18.9	63.7	28.9	71.7	27.8	60.0
7. 3 ~ 7. 4	R3	2.5	25.0	0.8	16.7	26.3	75.0
	R2	1.4	13.6	24.2	100.0	2.5	50.0
	平年	11.2	44.5	19.3	65.0	21.0	52.5
8. 3 ~ 8. 4	R3	7.0	68.2	24.2	66.7	18.8	75.0
	R2	3.4	22.7	50.0	83.3	18.5	100.0
	平年	14.8	46.8	22.7	64.7	35.0	82.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	2.0	27.3	2.5	33.3	1.3	25.0
	R2	4.5	27.3	32.5	83.3	17.5	100.0
	平年	14.7	52.1	10.4	66.7	20.4	65.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	6.4	45.5	47.5	83.3	11.3	50.0
	R2	2.5	27.3	61.7	83.3	40.0	100.0
	平年	16.6	51.3	27.5	76.7	26.3	90.0

ソ チャトゲコナジラミ

表30 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R3	11.5	6.4	68.2	2.3	1.2	50.0	13.0	6.5	100.0
	R2	26.1	14.9	86.4	24.0	12.8	83.3	60.0	38.0	100.0
	平年	16.0	8.8	76.7	13.9	7.6	65.0	39.4	23.3	97.5
5. 3 ~ 5. 4	R3	12.4	6.4	72.7	0.7	0.3	33.3	26.0	15.8	100.0
	R2	31.3	16.9	94.7	8.7	4.3	66.7	59.3	40.0	100.0
	平年	36.4	19.8	76.1	16.1	7.3	63.7	62.7	46.4	100.0
6. 3 ~ 6. 4	R3	18.4	10.5	86.4	3.3	1.7	66.7	17.5	11.3	75.0
	R2	31.0	19.3	85.7	13.7	7.7	83.3	58.7	33.0	100.0
	平年	22.9	14.2	78.8	9.7	5.4	75.0	30.9	21.0	70.8
7. 3 ~ 7. 4	R3	15.6	9.6	70.0	7.3	3.7	66.7	11.0	6.5	100.0
	R2	42.6	27.5	100.0	21.3	11.7	100.0	48.5	30.0	100.0
	平年	45.5	24.6	80.3	32.3	19.6	83.3	58.5	41.3	97.5
8. 3 ~ 8. 4	R3	22.0	16.4	68.2	0.3	0.2	16.7	6.5	3.3	100.0
	R2	26.9	18.2	95.5	1.7	0.8	50.0	42.5	24.0	100.0
	平年	28.0	13.0	76.8	14.6	9.0	64.7	58.6	40.5	97.5
9. 3 ~ 9. 4	R3	5.3	3.1	68.2	1.3	0.8	50.0	16.0	9.0	100.0
	R2	28.8	18.2	95.5	2.0	1.0	50.0	45.0	28.5	100.0
	平年	25.9	12.8	77.6	25.9	10.9	58.3	65.9	46.7	95.0
10. 3 ~ 10. 4	R3	16.9	9.8	63.6	1.3	0.7	33.3	1.0	0.5	25.0
	R2	31.1	21.9	100.0	3.7	1.8	100.0	24.5	13.5	100.0
	平年	18.4	9.3	63.5	11.2	4.9	62.5	55.8	37.9	97.5

# (10) キュウリ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

作型 病害虫名\調査月	露地栽培					施設栽培				
	5月	6月	7月	8月	全期間	9月	10月	11月	全期間	
べと病	並(-)	やや多	やや少	並(-)	並	多	並(-)	並	やや多	
炭疽病	-	-	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多	
うどんこ病	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)	やや少(-)	やや少	やや多	やや少	やや少	
斑点細菌病	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
褐斑病	並(-)	並(-)	多	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多	やや多	
モザイク病	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多	
灰色かび病	並(-)	並(-)	(-)	(-)	並(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
アブラムシ類	やや少	やや少	多	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
ハダニ類	並(-)	並	やや少	多	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	少(-)	やや少(-)	やや少(-)	やや少(-)	やや少	やや少	やや少	
アザミウマ類	多	やや少	やや少	並(-)	並	並(-)	並(-)	並	並	
コナジラミ類	並(-)	並(-)	多	多	やや多	やや多	多	やや多	やや多	
ハスモンヨトウ	並(-)	-	-	(-)	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
ワタヘリクロノメイガ	並(-)	(-)	(-)	(+)	(+)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株、2葉、4果調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病			炭疽病			うどんこ病			斑点細菌病			褐斑病			モザイク病		灰色かび病		
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)	
5・3~4 (露地栽培)	3年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	平年	0.6	1.2	10.8	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.5	0.9	7.5	0.2	3.6	15.5	0.0	0.0	0.0	-	0.0
6・3~4 (露地栽培)	3年	3.3	6.7	66.7	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	8.7	26.7	33.3	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	4.0	13.6	35.8	-	-	-	0.4	1.5	15.0	5.2	6.2	10.0	0.9	3.6	14.3	0.6	7.5	0.0	0.0	0.0
7・3~4 (露地栽培)	3年	8.0	13.6	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.6	49.6	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	10.8	21.6	60.0	0.0	0.0	0.0	5.2	8.8	40.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	20.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	21.7	32.6	66.0	2.7	6.3	24.3	5.4	10.1	30.0	7.0	8.6	11.0	0.9	1.5	7.0	9.2	36.0	-	-	-
8・3~4 (露地栽培)	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	4.0	22.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.5	9.6	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	23.8	45.0	0.4	5.0	-	-	-
9・3~4 (施設栽培)	3年	10.0	36.0	66.7	1.3	2.7	33.3	0.7	8.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.4	3.3	13.3	0.0	1.2	10.0	6.0	40.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	5.0	0.0	0.0	-	-	-
10・3~4 (施設栽培)	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.3	77.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	2.0	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0	18.0	49.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.4	5.3	26.7	0.2	0.6	15.0	24.5	61.3	93.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	6.7	0.0	0.0	-	-	-
11・3~4 (施設栽培)	3年	22.0	36.0	66.7	0.0	0.0	0.0	28.0	65.3	100.0	0.0	0.0	0.0	1.3	8.0	33.3	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	2年	50.7	85.3	100.0	24.0	30.7	33.3	62.7	98.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	21.5	34.8	76.7	2.4	3.6	10.0	50.2	78.9	93.3	0.1	0.3	6.7	2.7	3.9	13.3	0.3	6.7	-	-	-
調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハスモンヨトウ		ワタヘリクロノメイガ		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4 (露地栽培)	3年	0.01	0.7	33.3	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.580	58.0	100.0	0.000	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.09	6.0	100.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.640	47.3	100.0	0.013	1.3	33.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.10	7.7	63.3	0.006	0.5	10.8	0.0	0.0	0.0	0.564	27.1	100.0	0.005	0.5	19.2	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
6・3~4 (露地栽培)	3年	0.00	0.0	0.0	0.060	2.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.500	31.3	100.0	0.000	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.500	32.0	100.0	0.000	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0
	平年	0.02	1.2	27.5	0.074	2.2	33.3	2.1	10.0	44.2	4.006	50.9	90.0	0.000	0.0	0.0	-	-	-	-	-
7・3~4 (露地栽培)	3年	15.28	20.4	40.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.076	6.4	60.0	0.008	1.6	40.0	-	-	-	0.0	0.0
	2年	0.05	1.6	40.0	0.104	2.4	40.0	0.0	1.6	20.0	0.004	0.8	20.0	0.000	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0
	平年	0.78	2.5	25.0	0.308	6.6	42.0	4.7	12.7	65.0	0.768	18.2	60.3	0.0003	0.03	1.7	-	-	-	-	-
8・3~4 (露地栽培)	3年	0.00	0.0	0.0	0.200	1.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.020	2.0	50.0	-	-	-	2.0	50.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.100	2.0	50.0	0.0	14.0	100.0	0.000	0.0	0.0	0.010	1.0	50.0	-	-	-	0.0	0.0
	平年	0.00	0.0	0.0	0.010	0.2	5.0	2.2	12.8	65.0	0.001	0.1	5.0	0.003	0.4	15.0	-	-	-	-	-
9・3~4 (施設栽培)	3年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	1.200	40.7	50.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.127	2.7	66.7	4.920	65.3	100.0	0.00	0.0	0.0	1.3	33.3
	平年	0.14	0.9	18.3	0.002	0.2	10.0	2.7	36.5	80.0	0.025	1.4	33.3	0.699	18.7	76.7	0.00	0.0	0.0	-	-
10・3~4 (施設栽培)	3年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	1.3	2.7	33.3	0.000	0.0	0.0	1.413	30.7	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	0.080	5.3	100.0	2.087	48.7	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.14	1.4	11.7	0.008	0.2	3.3	8.1	32.1	71.7	0.019	1.1	16.7	0.382	16.9	71.7	0.00	0.1	3.3	-	-
11・3~4 (施設栽培)	3年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	2.7	33.3	0.013	1.3	33.3	0.187	42.7	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.773	21.3	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	0.12	0.5	6.7	0.093	2.3	10.0	5.3	19.7	66.7	0.346	4.4	16.7	0.228	10.3	60.0	0.00	0.0	0.0	-	-

# (11) トマト

## 病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	3月	4月	5月	6月	全期間
疫病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
葉かび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多
アブラムシ類	並(-)	多	並(-)	並(-)	やや多
アザミウマ類	(-)	並(-)	やや多	やや多	やや多
コナジラミ類	並(-)	多	並(-)	多	やや多
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	並(-)	やや少(-)	並
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)

(+) : 発生を認めた、(-) : 発生を認めず、- : 調査せず

表2 巡回調査結果

(25株・2複葉・2花・4果調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	疫病		灰色かび病		モザイク病		葉かび病		うどんこ病	
		発病程度	発生ほ場率(%)	発病程度	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病程度	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)
3・3~4	3年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3~4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	5.0	0.2	2.5
5・3~4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.5	6.0	0.0	0.0	2.0	4.0	0.0	0.0
6・3~4	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	40.0	0.0	20.0
	平年	0.0	0.0	1.0	8.0	0.1	4.0	4.5	18.0	3.2	26.0

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類		アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ		
		寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生花率(%)	白ぶくれ果率(%)	発生ほ場率(%)	寄生虫数(頭/株)	寄生葉率(%)	発生ほ場率(%)	寄生葉率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
3・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	-	-	-	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3~4	3年	3.0	50.0	0.0	0.00	0.0	0.010	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	5.0	0.0	0.03	2.9	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3~4	3年	0.0	0.0	2.4	1.9	40.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.6	12.0	0.7	1.1	14.3	0.000	0.0	0.0	0.2	1.3	6.0	0.0	0.0	0.0
6・3~4	3年	0.0	0.0	11.7	5.6	40.0	0.008	0.4	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	6.5	3.0	100.0	0.000	0.0	0.0	0.4	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.2	8.0	8.6	2.8	62.9	0.0004	0.04	2.0	3.2	9.5	22.0	0.0	0.0	0.0

## (12) ナス

### 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	並(-)	並(-)	並	やや多	並	やや多	やや多
褐色円星病	並(-)	多	多	やや多	やや多	やや多	多
すすかび病	並(-)	並(-)	多	並(-)	並(-)	やや多	やや多
灰色かび病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
褐色腐敗病	-	並(-)	多	並(-)	並(-)	並(-)	やや多
アブラムシ類	やや少	少	並(-)	並(-)	並	並	やや少
ハダニ類	並(-)	並	やや少(-)	多	やや多	やや多	やや多
ハモグリバエ類	並	並	並	少(-)	少	やや少	やや少
アザミウマ類	やや少	やや少	やや少	並	少	並	やや少
コナジラミ類	並(-)	多	多	やや多	並	やや多	やや多

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(5葉、5果、3花/株、20株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病			褐色円星病			すすかび病			灰色かび病			褐色腐敗病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	2年	0.0	0.0	0.0	0.3	1.7	16.7	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	3.3	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
6・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	1.0	8.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.02	0.1	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3~4	3年	0.4	1.4	14.3	9.3	23.6	85.7	2.0	5.6	42.9	0.0	0.0	0.0	0.3	14.3
	2年	7.4	16.4	28.6	2.4	10.0	42.9	0.1	0.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.2	4.8	14.3	0.9	5.2	32.6	0.01	0.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3~4	3年	22.3	42.9	57.1	3.9	21.4	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	1.0	5.7	28.6	12.4	57.9	71.4	0.4	11.4	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	8.4	23.5	50.2	3.3	17.3	48.4	0.04	1.2	5.7	0.01	0.1	19.0	0.0	0.0
9・3~4	3年	12.7	29.3	71.4	25.0	37.9	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	4.9	19.3	28.6	16.9	40.7	71.4	5.0	10.7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	17.6	44.7	69.1	10.5	32.2	63.2	0.7	1.6	8.6	0.0	0.0	0.0	0.8	4.3
10・3~4	3年	34.1	55.7	85.7	25.1	42.1	71.4	0.3	1.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	14.7	47.9	85.7	18.3	47.1	85.7	0.1	2.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	24.9	56.9	87.3	15.9	42.6	71.6	0.1	0.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.1	6.8

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	3年	0.026	2.3	71.4	0.000	0.0	0.0	0.6	1.4	14.3	0.017	1.0	28.6	0.000	0.0	0.0
	2年	0.193	14.8	57.1	0.018	1.2	50.0	0.2	0.8	16.7	0.047	2.7	66.7	0.000	0.0	0.0
	平年	0.348	15.5	85.7	0.036	0.7	20.3	1.4	6.1	33.2	0.126	4.7	60.0	0.002	0.04	2.8
6・3~4	3年	0.014	1.0	42.9	0.004	0.4	14.3	0.6	2.1	42.9	0.006	0.4	42.9	0.006	0.6	42.9
	2年	0.193	14.8	57.1	0.018	1.2	50.0	0.2	0.8	16.7	0.047	2.7	66.7	0.000	0.0	0.0
	平年	0.348	15.5	85.7	0.036	0.7	20.3	1.4	6.1	33.2	0.126	4.7	60.0	0.002	0.04	2.8
7・3~4	3年	0.000	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	1.4	28.6	0.009	0.7	42.9	0.014	1.3	57.1
	2年	0.000	0.0	0.0	0.15	2.0	57.1	1.4	12.1	14.3	0.009	1.7	42.9	0.009	0.9	42.9
	平年	0.044	0.7	12.4	0.74	4.6	36.0	1.6	6.4	23.8	0.046	3.0	50.0	0.003	0.3	16.3
8・3~4	3年	0.000	0.0	0.0	1.60	11.0	71.4	0.0	0.0	0.0	0.011	2.0	28.6	0.031	3.0	71.4
	2年	0.003	0.3	28.6	0.56	5.6	42.9	13.3	15.7	42.9	0.001	0.1	14.3	0.451	21.3	57.1
	平年	0.010	0.4	12.2	0.68	3.8	40.5	3.6	12.8	43.0	0.026	1.3	39.5	0.056	2.9	22.1
9・3~4	3年	0.017	1.1	42.9	0.67	6.0	42.9	0.1	2.1	42.9	0.000	0.0	0.0	0.047	4.0	71.4
	2年	0.010	0.4	28.6	0.29	6.0	42.9	10.3	20.7	42.9	0.024	2.1	14.3	0.347	17.0	57.1
	平年	0.061	1.7	33.2	0.48	5.8	34.7	6.3	25.1	58.7	0.065	2.8	36.1	0.094	5.7	55.6
10・3~4	3年	0.009	1.4	14.3	0.50	2.9	28.6	1.0	12.1	57.1	0.010	0.4	14.3	0.470	12.1	71.4
	2年	0.173	3.6	42.9	0.29	6.0	57.1	7.1	25.7	71.4	0.026	1.9	57.1	0.260	11.1	100.0
	平年	0.122	2.5	28.4	2.27	5.3	26.4	9.4	27.0	66.0	0.013	0.8	30.2	0.081	5.1	67.4

# (13) キャベツ

## 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

作型 病害虫名\調査月	春キャベツ				秋冬キャベツ			
	3月	4月	5月	全期間	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	やや多	やや多	やや多
菌核病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	やや多
アブラムシ類	やや少	少	並	やや少	やや少	やや少	並	やや少
モンシロチョウ	並(-)	並(-)	やや少	やや少	並(-)	やや少	やや少(-)	やや少
コナガ	多	やや多	やや少(-)	やや多	並	やや少(-)	並(-)	やや少
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ヨトウガ	(-)	(+)	並	並	やや多	並(-)	並(-)	やや多
ウワバ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並(-)	並(-)	並
アザミウマ類	並	並	やや少	やや少	やや少	やや少	並(-)	やや少

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類			モンシロチョウ			コナガ		
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生虫数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	幼虫数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	幼虫・蛹数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)
3・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.10	1.0	25.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.4	40.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.7	0.6	2.6	38.2	0.0	0.0	0.0	0.01	0.1	1.7
4・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	25.0	0.00	0.0	0.0	0.10	1.0	25.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	7.2	100.0	0.00	0.0	0.0	0.08	0.8	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	3.7	6.3	18.3	87.5	0.02	0.1	5.7	0.62	4.6	25.7
5・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	13.3	66.7	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	3.0	15.2	100.0	0.16	1.6	40.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.2	2.0	1.5	15.8	1.0	11.3	10.4	23.0	70.8	0.80	6.4	30.8	1.52	11.0	61.8
9・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.2	2.0	28.6	0.00	0.0	0.0	0.07	0.7	16.7
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	5.3	66.7	0.00	0.0	0.0	0.13	1.3	16.7
	平年	0.0	0.0	0.5	2.2	0.0	0.0	3.0	5.6	52.0	0.11	1.1	14.8	0.16	1.4	9.6
10・3~4	3年	0.0	0.0	10.7	50.0	0.0	16.7	3.3	2.7	33.3	0.07	0.7	16.7	0.00	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	6.0	50.0	0.0	16.7	0.3	1.3	16.7	0.67	5.3	66.7	0.07	0.7	16.7
	平年	0.0	0.0	3.5	16.2	0.0	1.7	4.5	5.9	53.8	0.33	2.7	37.7	0.11	1.2	14.8
11・3~4	3年	0.0	0.0	12.0	60.0	0.00	0.0	0.6	6.4	60.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	15.4	28.6	0.00	0.0	0.3	2.9	57.1	0.06	0.6	14.3	0.00	0.0	0.0
	平年	0.1	1.7	8.1	25.4	0.01	4.2	10.0	5.5	50.7	0.74	6.1	25.6	0.09	0.9	10.8

調査時期 (月・半旬)	年次	ハスモンヨトウ			ヨトウガ			ウワバ類			アザミウマ類		
		卵塊・幼虫数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	卵塊・幼虫数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	幼虫数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
3・3~4	3年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	1.0	0.0	25.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	-	-	-	-	-	-	0.00	0.0	0.0	1.9	3.5	20.8
4・3~4	3年	0.00	0.0	0.0	0.40	4.0	50.0	0.00	0.0	0.0	26.0	33.0	75.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.20	0.8	20.0	0.00	0.0	0.0	4.8	12.0	80.0
	平年	-	-	-	-	-	-	0.02	0.1	3.3	25.0	31.0	85.6
5・3~4	3年	0.00	0.0	0.0	0.13	1.3	33.3	0.00	0.0	0.0	12.0	38.7	100.0
	2年	0.00	0.0	0.0	4.24	3.2	20.0	0.16	0.8	20.0	17.6	17.6	60.0
	平年	-	-	0.0	1.15	2.0	16.8	0.13	1.0	20.3	55.3	-	92.9
9・3~4	3年	0.00	0.0	0.0	0.07	0.7	16.7	0.07	0.7	16.7	0.0	2.7	28.6
	2年	0.07	0.7	16.7	0.00	0.0	0.0	0.07	0.7	16.7	0.4	4.0	16.7
	平年	0.03	0.3	8.3	0.02	0.2	2.1	0.26	1.7	16.7	27.4	20.9	64.7
10・3~4	3年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.7	0.7	33.3
	2年	0.00	0.0	0.0	2.67	5.3	50.0	0.33	3.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	0.3	4.5	0.85	1.1	9.5	0.13	1.3	17.0	31.3	27.7	67.5
11・3~4	3年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.00	0.0	0.0	0.17	1.7	14.3	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.1	2.5	0.02	0.2	3.1	0.26	1.4	10.8	24.3	1.2	56.3

## (14) ダイコン

### 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
黒斑細菌病	並(-)	やや多	多	やや多
白さび病	並(-)	並(-)	並	並
モザイク病	—	多	—	多
アブラムシ類	やや少	やや少(-)	少(-)	やや少
コナガ	並(-)	多	やや少(-)	やや多
ハスモンヨトウ	並(-)	やや多	並(-)	やや多
ハイマダラノメイガ	並(-)	並	並(-)	並

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	1.5	1.0	25.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.1	0.8	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.7	3.0	34.2
10・3~4	3年	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	16.7	0.7	6.0	33.3
	平年	2.1	4.0	0.2	3.7	0.0	1.7	3.1	3.3	28.1
11・3~4	3年	53.0	75.0	5.0	25.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	2年	2.7	33.3	0.0	0.0	—	—	47.9	19.3	66.7
	平年	2.3	10.7	4.8	18.3	—	—	8.9	9.7	51.3

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ			ハイマダラノメイガ		
		幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	卵塊・ 幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
9・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.02	0.2	4.5	0.3	2.5	28.7
10・3~4	3年	1.0	6.0	50.0	10.00	1.0	25.0	0.2	2.0	50.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.07	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.4	3.4	0.09	1.0	17.1	1.1	7.3	33.4
11・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	1.3	3.3	16.7	0.13	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	4.4	36.0	0.08	0.4	9.0	0.3	3.4	24.7

(15) カブ

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	少(-)	少(-)	少(-)
軟腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒斑病	並(-)	多	多	やや多
白斑病	並(-)	並(-)	並	並
白さび病	並(-)	多	やや多	やや多
アブラムシ類	やや多	やや少	やや少	やや少
コナガ	並(-)	並(-)	並	並
ハモグリバエ類	並(-)	並	少	やや少

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)	発病株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	33.3	0.0	0.0	44.7	66.7
	2年	6.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	16.7	0.0	0.0
	平年	30.0	39.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	7.7	0.6	3.7
11・3～4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0	50.0	1.0	25.0	3.0	50.0
	2年	46.0	50.0	0.0	0.0	3.0	25.0	40.0	50.0	0.0	0.0
	平年	42.7	54.3	0.0	0.0	1.1	10.3	20.2	39.7	3.3	7.8

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生虫数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/10株)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	被害株率 (%)	発生ほ場率 (%)
9・3～4	3年	1.5	3.0	50.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.27	2.7	33.3	0.0	0.0
	平年	0.4	3.1	39.2	0.05	0.5	8.3	0.4	6.7
10・3～4	3年	2.1	2.0	33.3	0.0	0.0	0.0	2.0	33.3
	2年	0.5	4.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	平年	1.9	4.7	44.4	0.1	1.0	6.0	3.0	26.0
11・3～4	3年	0.1	1.0	25.0	0.2	1.0	25.0	1.0	25.0
	2年	26.7	34.0	100.0	0.0	0.0	0.0	3.0	50.0
	平年	6.3	9.2	52.3	0.8	5.5	22.0	12.7	68.8

## (16) ホウレンソウ

### 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	秋どり		
	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	並	並	並
ヨトウガ	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	—	—	—
シロオビノメイガ	やや多	並(-)	やや多

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		ハダニ類		シロオビノメイガ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
10・3～4	3年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	40.0
	2年	0.0	0.0	4.0	33.3	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.3	18.3	0.0	0.0	—	—	1.4	12.5
11・3～4	3年	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	3.0	50.0	0.0	0.0	0.5	25.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.2	20.0	0.0	0.0	—	—	0.2	5.0

(17) ネギ(小株…葉長が40cm未満の株)

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	多	やや多	多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	並(-)	並(-)	並(-)	やや多
えそ条斑病	並(-)	やや少(-)	やや少	やや少	多	並(-)	並(-)	並(-)	やや少
アブラムシ類	やや少(-)	やや少(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	多	並
シロイチモジヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並	並	やや多	並(-)	やや多
ネギハモグリバエ	やや少(-)	少(-)	やや少	やや少(-)	少(-)	少	少	少	少
ネギアザミウマ	並	やや少	やや少	並	並	やや少	やや多	少	やや少

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		えそ条斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	57.1
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	24.7	66.7
	平年	0.4	2.0	0.0	0.0	0.5	9.0	2.2	30.2	0.0	0.0	4.8	32.3	38.5	82.9
5・3~4	3年	24.8	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.0	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	4.0	20.0	0.0	0.0	6.4	60.0	99.2	100.0
	平年	2.3	10.0	0.0	0.0	7.1	35.0	3.1	31.4	0.0	0.0	34.1	66.6	79.8	88.8
6・3~4	3年	1.5	25.0	0.0	0.0	7.0	75.0	1.0	12.5	0.0	0.0	1.0	25.0	82.5	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	55.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	平年	0.4	4.5	0.1	1.3	39.5	84.0	0.4	8.8	0.0	0.0	30.5	70.0	93.9	100.0
7・3~4	3年	0.7	16.7	0.0	0.0	4.0	50.0	0.0	0.0	1.3	16.7	0.0	0.0	62.7	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	16.7	79.3	100.0
	平年	0.0	0.0	3.6	8.8	12.6	54.4	0.0	0.0	0.8	8.2	31.5	59.2	68.4	94.4
8・3~4	3年	0.0	0.0	0.7	16.7	8.7	33.3	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0	33.3	83.3
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	37.5	9.5	50.0	49.0	100.0
	平年	0.0	0.0	0.1	1.4	2.9	38.3	0.0	0.0	1.5	17.3	31.6	70.0	40.0	82.8
9・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	14.3	1.1	14.3	0.6	14.3	8.0	71.4
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	4.7	50.0	6.7	66.7	24.0	83.3
	平年	0.0	0.0	0.2	2.5	0.9	12.2	0.4	5.8	2.2	17.8	50.3	85.8	23.1	64.7
10・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	14.3	14.9	28.6	62.9	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	20.0	6.4	40.0	18.4	80.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	8.0	0.4	7.3	1.4	6.0	47.4	86.0	33.3	79.0
11・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.8	20.0	7.2	40.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	33.3	2.7	16.7	11.3	66.7
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	2.9	0.1	3.3	22.5	55.6	43.8	84.0

# (18) ネギ(大株…葉長が40cm以上の株)

## 病害虫の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	やや多	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	やや多
黒斑病	並(-)	多	並(-)	並(-)	並(-)	並	並(-)	並(-)	やや多
べと病	やや多	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多
えそ条斑病	並(-)	並	やや少	やや少	やや少	並(-)	やや少(-)	並(-)	やや少
シロイチモジヨトウ	(-)	(-)	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)	(+)
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ネギハモグリバエ	並	少	少	少(-)	少(-)	少(-)	少	少(-)	少
ネギアザミウマ	やや少	やや少	少	やや少	やや少	やや少	並	少	やや少

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		べと病		えそ条斑病	
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	25.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	3.1	8.6	0.1	3.6	3.1	8.6	1.3	12.0
5・3~4	3年	13.3	33.3	1.3	16.7	0.0	0.0	2.0	33.3
	2年	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	20.0	0.8	20.0
	例年	5.3	17.0	0.1	2.9	2.9	24.6	5.6	49.4
6・3~4	3年	6.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	87.5
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7	100.0
	例年	14.3	35.5	7.4	14.3	2.9	2.9	41.4	81.6
7・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	28.6	8.0	83.3
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	83.3
	例年	1.7	14.3	13.3	40.1	2.9	4.1	30.4	75.8
8・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	37.5
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	例年	0.0	0.0	4.7	14.3	0.3	3.6	13.0	61.7
9・3~4	3年	0.0	0.0	1.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	1.8	18.7	0.0	0.0	1.5	22.9
10・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	0.6	10.7	5.0	10.7	2.7	34.7
11・3~4	3年	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	例年	0.0	0.0	1.6	11.9	0.0	0.0	0.7	8.3

調査時期 (月・半旬)	年次	シロイチモジヨトウ		ハスモンヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
4・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5	39.5	62.5
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	66.7
	例年	-	-	0.0	0.0	0.5	8.0	60.3	89.3
5・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	16.7	75.3	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	60.0	92.8	100.0
	例年	-	-	0.0	0.0	9.6	57.6	93.8	100.0
6・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	100.0	100.0
	例年	-	-	0.0	0.0	8.5	29.9	99.8	100.0
7・3~4	3年	2.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	54.3	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3	77.3	100.0
	例年	-	-	0.0	0.0	12.4	52.7	87.4	100.0
8・3~4	3年	8.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	51.5	100.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	50.0	53.6	100.0
	例年	-	-	0.0	0.0	24.7	62.5	70.2	96.7
9・3~4	3年	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.7	83.3
	2年	4.7	50.0	0.0	0.0	6.0	66.7	19.3	66.7
	例年	-	-	0.0	0.0	31.9	87.5	49.0	91.7
10・3~4	3年	2.9	42.9	0.0	0.0	11.4	14.3	54.9	85.7
	2年	9.1	85.7	0.0	0.0	8.6	71.4	17.7	71.4
	例年	-	-	1.5	3.6	41.9	89.1	45.3	86.3
11・3~4	3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	50.0
	2年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	20.0	5.6	60.0
	例年	-	-	0.0	0.0	18.9	58.9	45.6	83.6

## 2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

### (1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年値等	R3	平年値等	R3	平年値等
ヒメトビウンカ (60W)	3	3.0	0	1.6	9	31.4
セジロウンカ (60W)	25	15.2	10	9.3	39	86.0
トビイロウンカ (60W)	0	19.5	0	7.8	1	19.8
ツマグロヨコバイ (60W)	25	77.7	19	10.6	11	30.4
イネミズゾウムシ (60W)	40	59.3	259	350.7	57	105.6
アオクサカメムシ (60W)	0	0.8	3	1.7	0	0.3
チャバネアオカメムシ (60W)	29	45.0	21	11.9	38	29.6
チャバネアオカメムシ (BL)	56	201.6	58	75.8	706	267.5
クサキカメムシ (60W)	3	8.8	4	3.8	26	14.8
クサキカメムシ (BL)	8	19.0	3	14.0	85	85.3
イチモンジカメムシ (60W)	1	1.5	8	3.8	0	1.2
イネクロカメムシ (60W)	83	80.6	5	0.2	0	0.5
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.5	7	3.6	4	3.7
シラホシカメムシ (60W)	0	0.4	1	1.0	0	0.3
アカヒゲホソトリカスミカメ (60W)	16	38.7	36	24.8	30	97.1
アカスジカスミカメ (60W)	11	11.5	146	80.5	67	177.8
ツマグロアオカスミカメ (60W)	39	39.7	50	16.1	12	14.1
フタオビコヤガ (60W)	1	17.6	23	22.1	14	84.2
ニカメイガ (60W)	3	2.9	0	1.1	0	2.9
コナガ (60W)	14	19.4	32	47.1	27	26.3
シロオビノメイガ (60W)	1	1.4	3	3.1	6	10.1
ドウガネブイブイ (BL)	371	420.6	236	140.4	438	353.3
クロコガネ (BL)	36	63.0	6	20.5	26	53.2
ヒメコガネ (BL)	3,664	3854.6	60	58.1	1,378	1043.1
アカビロウドコガネ(BL)	108	95.2	37	23.6	37	59.0

注: 数字は調査期間内(4~10月)の総誘殺数(頭)

ヒメトビウナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	—	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	6.7
6	0	0.0	0	0.0	0	11.9
7・1	0	0.0	0	0.3	0	1.6
2	0	0.0	0	0.0	1	0.2
3	0	0.0	0	0.0	1	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.0	0	0.0	0	0.1
6	1	0.1	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.3	0	0.0	0	1.9
2	0	0.3	0	0.0	0	0.3
3	0	0.2	0	0.1	3	2.3
4	0	0.9	0	0.1	2	1.4
5	0	0.4	0	0.3	0	0.9
6	1	0.1	0	0.1	1	1.0
9・1	0	0.1	0	0.0	1	0.6
2	0	0.3	0	0.1	0	0.4
3	0	0.0	0	0.1	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.1	0	0.1	0	0.3
6	0	0.0	0	0.1	0	0.1
10・1	0	0.2	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3	3.0	0	1.6	9	31.4

セジロウナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	—	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.1	0	0.3	0	0.1
5	0	0.1	0	0.2	0	0.1
6	0	0.2	0	0.5	0	0.4
7・1	0	0.0	1	0.7	0	1.6
2	3	0.2	1	0.4	9	1.2
3	1	0.3	0	0.2	3	2.5
4	0	0.0	0	0.5	0	0.2
5	0	0.1	0	0.1	0	0.4
6	0	0.4	0	0.1	0	1.2
8・1	1	1.5	0	0.1	0	2.3
2	0	0.5	2	0.5	0	3.2
3	0	0.2	0	0.4	5	5.3
4	0	1.0	1	0.1	1	7.0
5	1	2.8	1	0.8	1	3.4
6	4	3.1	1	0.3	5	9.8
9・1	10	1.4	3	0.1	10	3.6
2	2	0.7	0	0.1	5	20.1
3	1	0.3	0	0.0	0	4.1
4	2	0.7	0	0.8	0	11.3
5	0	0.8	0	1.7	0	5.0
6	0	0.2	0	0.5	0	1.1
10・1	0	0.2	0	0.4	0	0.2
2	0	0.1	0	0.3	0	0.4
3	0	0.1	0	0.1	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.4
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.2	0	0.1	0	0.5
計	25	15.2	10	9.3	39	86.0

トビウナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.2	0	0.0	0	0.1
2	0	0.1	0	0.1	0	0.2
3	0	0.2	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.1	0	0.0
5	0	0.3	0	0.4	0	0.5
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	2.9	0	0.2	0	2.4
2	0	2.7	0	0.0	0	2.2
3	0	1.8	0	1.2	0	2.4
4	0	1.5	0	0.8	0	6.0
5	0	1.0	0	0.4	0	1.4
6	0	0.5	0	0.0	0	0.7
10・1	0	2.3	0	1.3	0	1.1
2	0	0.7	0	2.5	0	0.4
3	0	1.2	0	0.3	0	0.3
4	0	0.9	0	0.0	0	0.6
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.0	0	0.0
計	0	19.5	0	7.8	1	19.8

ツマゴロヨコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	1.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.8	0	0.1	0	0.4
4	0	0.2	0	0.3	0	1.5
5	0	0.1	0	0.2	0	0.6
6	0	0.1	0	1.0	0	0.9
7・1	0	0.2	0	0.9	0	0.3
2	0	0.0	2	0.6	1	0.5
3	1	2.0	0	0.3	0	0.2
4	0	2.8	0	1.0	0	3.0
5	7	3.4	5	1.3	6	3.5
6	3	2.0	6	0.9	3	5.9
8・1	5	2.6	1	0.2	0	2.7
2	2	2.0	1	0.2	0	1.0
3	0	2.9	0	0.5	0	1.5
4	1	5.2	0	0.3	0	0.2
5	2	5.7	0	0.2	0	0.0
6	0	5.6	2	0.4	0	0.3
9・1	2	8.2	1	0.3	0	1.2
2	1	14.8	0	0.2	0	1.6
3	1	9.6	0	0.7	1	0.8
4	0	5.3	0	0.5	0	0.0
5	0	2.5	1	0.2	0	0.2
6	0	0.4	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	25	77.7	19	10.6	11	30.4

イネミズゾウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	1.9	0	1.2
5・1	0	0.7	0	24.9	0	4.3
2	0	0.0	0	58.6	0	12.6
3	0	0.1	10	34.7	4	6.6
4	0	0.3	16	19.9	3	5.2
5	0	1.6	7	16.5	2	4.8
6	1	0.7	3	6.0	0	11.8
6・1	0	0.7	1	5.1	0	4.6
2	5	0.8	10	1.7	0	3.0
3	1	0.7	4	2.1	1	2.4
4	0	0.5	0	0.8	0	1.2
5	0	0.9	1	0.4	0	1.8
6	1	0.3	1	0.4	0	0.9
7・1	0	0.1	1	0.2	0	2.1
2	0	0.3	4	1.6	0	3.2
3	2	0.7	3	6.4	11	0.8
4	0	1.7	10	22.2	14	5.1
5	8	7.8	76	31.6	15	5.6
6	3	10.3	43	42.9	0	9.2
8・1	7	9.8	46	28.5	1	6.9
2	3	6.9	11	22.1	2	7.7
3	3	4.7	7	12.4	1	2.0
4	4	6.2	3	5.6	0	1.5
5	2	2.4	1	2.0	2	0.7
6	0	0.8	1	1.2	1	0.2
9・1	0	0.2	0	0.5	0	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.3	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	40	59.3	259	350.7	57	105.6

アオクサカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	1	0.3	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.4	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.3	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	1	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.8	3	1.7	0	0.3

チャパネアオカメシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.2	0	0.2	0	0.0	0	0.3	0	0.2	0	1.1
2	0	0.1	0	0.2	0	0.9	0	0.9	0	0.1	1	0.7
3	1	0.2	0	1.4	0	0.0	0.7	6	0.6	3	2.2	3
4	1	0.3	1	2.2	1	0.5	3	3	0.9	14	3.2	4
5	0	0.2	0	2.6	1	0.1	0	3.6	0	2.5	3	3.4
6	0	0.3	0	4.0	0	0.0	1	0.9	0	0.4	3	2.7
6・1	0	0.2	0	2.0	0	0.0	0	1.0	1	0.4	7	2.9
2	2	0.1	0	1.3	0	0.2	1	0.1	0	0.0	2	1.2
3	0	0.1	0	1.7	0	0.0	0	0.5	0	0.5	3	2.4
4	0	0.5	0	0.9	0	0.0	0	0.5	0	0.4	1	1.0
5	1	1.3	0	10.5	1	0.2	0	0.6	0	0.4	3	3.8
6	1	4.2	1	13.1	1	0.9	0	1.6	1	2.9	0	12.4
7・1	9	5.4	12	19.3	0	0.2	0	1.4	2	2.8	12	6.8
2	1	4.7	1	21.2	0	1.6	0	1.9	0	2.6	7	14.6
3	1	3.5	0	28.0	0	0.0	0	0.7	0	3.6	4	7.1
4	0	4.4	0	24.7	1	0.3	1	0.9	0	1.7	8	11.0
5	0	2.7	0	13.9	0	0.1	0	1.4	0	1.3	0	7.6
6	2	3.0	0	16.0	0	0.1	0	2.7	0	0.3	4	10.0
8・1	0	2.7	0	13.1	0	0.9	0	3.8	0	0.3	1	11.0
2	0	2.3	0	6.7	0	0.7	0	8.3	0	0.4	10	12.8
3	0	2.7	0	5.2	0	1.5	2	10.1	0	1.1	20	12.2
4	1	1.4	5	3.2	3	0.7	5	6.3	4	0.9	57	17.6
5	2	0.4	8	0.8	4	1.0	14	3.6	4	1.3	115	29.4
6	2	0.4	5	1.0	1	0.7	19	4.9	8	0.5	149	16.5
9・1	1	0.6	2	1.4	0	0.2	1	3.6	1	0.8	30	24.2
2	0	2.0	2	4.2	0	0.1	1	3.5	1	0.7	47	12.0
3	0	0.2	1	0.7	0	0.1	1	0.7	0	0.6	9	9.0
4	0	0.4	2	0.9	0	0.0	0	0.4	0	0.4	60	4.1
5	0	0.3	4	0.0	2	0.0	5	1.4	0	0.1	38	6.4
6	2	0.0	7	0.5	4	0.6	0	2.5	6	0.3	67	4.5
10・1	0	0.1	2	0.5	1	0.4	1	0.9	0	0.3	7	9.0
2	2	0.0	1	0.1	1	0.4	3	3.0	1	0.2	18	3.8
3	0	0.0	1	0.1	0	0.1	0	1.8	0	0.1	5	0.4
4	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
計	29	45.0	56	201.6	21	11.9	58	75.8	38	29.6	706	267.5

クサギカメシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市(60W)		京田辺市(BL)		亀岡市(60W)		亀岡市(BL)		京丹後市(60W)		京丹後市(BL)	
	R3	平年	R3	例年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.1	0	0.1	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.4	0	0.6	0	0.4	0	0.4	0	0.3	0	0.2
7・1	1	0.8	2	1.1	0	0.6	0	0.2	0	0.2	0	0.7
2	0	0.9	0	0.5	0	0.5	0	0.4	0	0.2	0	4.8
3	0	1.6	0	2.7	0	0.0	0	0.6	0	0.3	0	1.5
4	0	0.5	0	3.2	0	0.0	0	0.5	0	0.9	0	2.8
5	0	0.8	0	1.3	0	0.2	0	1.1	1	1.2	0	4.6
6	0	1.2	0	1.9	0	0.0	0	1.2	1	1.4	0	6.4
8・1	1	0.1	2	1.1	0	0.1	1	1.3	1	1.0	0	8.9
2	1	0.5	1	0.2	0	0.7	0	1.3	0	1.4	5	7.6
3	0	0.8	2	1.3	0	0.1	0	1.5	0	1.8	8	8.5
4	0	0.2	0	1.6	3	0.3	0	2.2	5	2.7	7	11.7
5	0	0.0	0	1.6	0	0.4	1	2.2	3	2.0	22	14.4
6	0	0.3	0	0.4	0	0.1	1	0.5	11	1.1	25	4.8
9・1	0	0.0	0	0.2	1	0.0	0	0.4	3	0.5	7	3.1
2	0	0.1	0	0.5	0	0.1	0	0.1	0	0.0	3	0.7
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
4	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.0	1	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.2
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.5
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.4
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.2
計	3	8.8	8	19.0	4	3.8	3	14.0	26	14.8	85	85.3

イチモンジカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.1	0	0.1	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	1	0.1	0	0.6	0	0.0
7・1	0	0.0	1	0.2	0	0.1
2	0	0.1	1	0.1	0	0.1
3	0	0.0	1	0.1	0	0.1
4	0	0.1	1	0.3	0	0.1
5	0	0.1	0	0.5	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.1	0	0.3	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.2
3	0	0.2	0	0.1	0	0.0
4	0	0.2	2	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.3	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.1	1	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.1	1	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
計	1	1.5	8	3.8	0	1.2

イネクロカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.4	0	0.0	0	0.0
5	0	1.6	0	0.0	0	0.0
6	0	2.8	0	0.0	0	0.0
6・1	2	6.5	0	0.0	0	0.0
2	4	7.0	1	0.0	0	0.2
3	3	10.9	0	0.0	0	0.2
4	0	6.5	2	0.1	0	0.0
5	1	5.5	0	0.0	0	0.0
6	2	2.6	1	0.1	0	0.0
7・1	10	3.3	0	0.0	0	0.1
2	1	1.4	0	0.0	0	0.0
3	2	0.6	0	0.0	0	0.0
4	1	1.1	0	0.0	0	0.0
5	3	2.4	0	0.0	0	0.0
6	12	1.0	0	0.0	0	0.0
8・1	6	1.5	0	0.0	0	0.0
2	3	1.4	0	0.0	0	0.0
3	7	1.8	0	0.0	0	0.0
4	2	0.8	0	0.0	0	0.0
5	2	0.4	0	0.0	0	0.0
6	4	1.5	0	0.0	0	0.0
9・1	5	1.0	0	0.0	0	0.0
2	1	4.6	0	0.0	0	0.0
3	0	4.7	0	0.0	0	0.0
4	12	4.3	1	0.0	0	0.0
5	0	2.5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.6	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	1.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	83	80.6	5	0.2	0	0.5

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.2
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	1	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.1
4	0	0.0	6	0.1	0	0.1
5	0	0.2	0	0.2	0	0.1
6	0	0.1	0	0.3	1	0.0
8・1	0	0.1	0	0.2	0	0.6
2	0	0.0	0	0.1	1	0.3
3	0	0.0	0	0.6	1	0.2
4	0	0.0	0	0.5	0	0.5
5	0	0.0	0	0.4	1	0.2
6	0	0.1	0	0.1	0	0.4
9・1	0	0.0	0	0.2	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.5	7	3.6	4	3.7

シラホンカムスン(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	1	0.1	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.4	1	1.0	0	0.3

アカヒゲホノミドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.6
3	0	0.2	1	0.0	0	0.1
4	0	0.1	2	0.2	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.4	0	0.1	0	0.2
6・1	0	0.6	0	0.1	0	0.5
2	0	3.2	5	1.6	0	3.3
3	0	1.8	3	4.3	5	10.2
4	2	3.0	2	2.8	4	10.1
5	0	2.4	1	2.5	0	10.7
6	2	2.0	6	2.8	0	8.6
7・1	0	3.7	3	1.5	4	8.5
2	6	5.0	4	1.6	9	5.9
3	0	5.8	1	2.0	2	6.9
4	0	2.5	2	2.2	0	6.7
5	1	1.2	1	0.7	1	7.0
6	2	1.5	1	0.1	0	3.5
8・1	0	2.0	2	0.2	0	1.2
2	0	0.3	0	0.0	0	2.5
3	0	0.2	0	0.1	0	1.9
4	0	0.4	0	0.3	0	1.5
5	0	0.2	0	0.2	1	0.4
6	0	0.5	1	0.4	0	1.4
9・1	0	0.0	0	0.0	2	0.8
2	1	0.4	0	0.1	0	1.1
3	0	0.1	1	0.1	0	0.7
4	0	0.2	0	0.0	2	0.8
5	2	0.1	0	0.2	0	0.6
6	0	0.1	0	0.0	0	0.3
10・1	0	0.3	0	0.0	0	0.1
2	0	0.1	0	0.1	0	0.2
3	0	0.2	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.1	0	0.1
6	0	0.1	0	0.1	0	0.0
計	16	38.7	36	24.8	30	97.1

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半年)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	1.1	0	0.1
5	0	0.4	0	1.0	0	0.7
6	0	0.0	1	2.2	1	2.6
6・1	0	0.1	1	1.6	2	4.4
2	0	0.0	1	2.2	1	6.1
3	0	0.2	0	2.7	0	3.8
4	0	0.3	1	3.3	1	6.5
5	0	0.5	3	5.7	1	10.0
6	0	0.8	26	13.8	3	23.9
7・1	0	0.7	26	6.3	15	22.6
2	0	0.5	11	5.7	8	21.2
3	0	0.9	2	4.1	0	8.1
4	3	0.6	11	2.2	0	4.8
5	0	0.7	6	1.3	4	8.9
6	1	1.6	4	1.0	3	8.8
8・1	1	1.7	6	2.5	1	8.1
2	0	0.6	5	2.7	4	5.8
3	0	0.5	0	3.0	1	2.6
4	0	0.1	3	3.1	0	3.3
5	0	0.0	16	2.0	5	2.7
6	0	0.2	8	1.5	4	3.7
9・1	0	0.0	4	0.7	0	2.5
2	0	0.1	2	1.4	1	1.6
3	1	0.1	2	2.4	4	5.1
4	2	0.2	0	0.6	5	3.1
5	0	0.2	0	1.3	2	2.1
6	1	0.3	1	1.6	1	1.9
10・1	1	0.0	3	1.5	0	0.6
2	0	0.1	3	1.6	0	0.9
3	0	0.0	0	0.0	0	0.5
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	1	0.0	0	0.3	0	0.2
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	11	11.5	146	80.5	67	177.8

ツマグロアオカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	1	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5	1	0.1	0	0.2	0	0.3
6	1	0.2	0	0.4	0	0.6
6・1	0	0.1	0	0.2	0	0.6
2	0	0.1	1	0.3	0	1.5
3	0	0.0	2	0.4	1	0.5
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.1	1	0.1	0	0.2
6	3	0.3	0	0.5	0	0.9
7・1	0	0.2	5	0.2	4	0.4
2	0	0.5	2	0.1	0	0.8
3	0	0.7	0	0.3	0	0.2
4	1	0.1	2	0.0	1	0.5
5	2	0.2	1	0.1	0	0.5
6	0	0.0	1	0.0	0	1.4
8・1	0	0.3	3	0.1	0	0.8
2	0	0.1	0	0.3	0	0.2
3	2	0.2	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.5	0	0.0
5	1	1.0	0	0.0	1	0.0
6	0	1.0	1	0.4	0	0.3
9・1	1	2.5	8	0.4	0	0.7
2	2	5.7	4	0.5	1	0.4
3	0	1.5	4	1.0	0	0.2
4	3	2.4	2	0.5	1	0.4
5	5	2.8	2	1.4	0	0.3
6	0	0.7	1	2.2	0	0.2
10・1	2	1.8	1	1.1	0	0.3
2	4	1.3	4	0.7	1	0.3
3	3	5.3	3	1.0	1	0.3
4	6	4.1	0	0.4	0	0.1
5	2	3.4	1	1.2	1	0.5
6	0	2.5	0	1.3	0	0.2
計	39	39.7	50	16.1	12	14.1

フタオビコヤガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.1
3	0	0.1	0	0.4	0	0.2
4	0	0.1	0	0.2	0	0.0
5	0	0.2	0	0.2	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.6	0	0.0	0	0.2
4	0	0.3	0	0.0	0	0.2
5	0	0.6	0	0.1	0	0.9
6	0	0.5	0	0.0	0	0.6
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.4	0	0.3	0	0.2
3	0	0.0	0	0.5	0	1.5
4	0	0.2	3	0.9	1	4.7
5	0	0.7	0	1.3	1	4.5
6	0	1.0	2	1.2	1	5.3
8・1	0	0.8	1	1.5	0	1.9
2	0	0.9	5	2.5	1	3.9
3	0	1.0	0	3.8	2	9.6
4	0	1.9	0	4.7	0	13.6
5	0	3.9	1	2.1	1	14.0
6	1	2.4	8	1.4	3	15.3
9・1	0	0.7	1	0.4	2	5.2
2	0	0.2	1	0.1	1	1.2
3	0	0.4	1	0.0	0	0.3
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	1	0.2
6	0	0.2	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	17.6	23	22.1	14	84.2

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.7	0	0.1	0	0.0
4	0	0.2	0	0.1	0	1.3
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6・1	0	0.0	0	0.1	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.1
4	0	0.2	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.4	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	2	0.1	0	0.1	0	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.4	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	1	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3	2.9	0	1.1	0	2.9

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.5	0	0.3	0	0.2
2	0	0.2	0	0.2	0	0.0
3	0	0.3	0	0.1	1	0.1
4	0	0.5	0	0.6	0	0.5
5	0	0.1	0	0.2	0	0.5
6	0	0.4	0	0.1	0	0.5
5・1	2	0.1	0	1.2	0	0.2
2	2	0.9	2	0.5	0	0.2
3	1	0.8	3	1.2	0	1.1
4	1	0.9	2	1.5	1	0.3
5	1	0.8	0	0.5	3	1.4
6	1	1.8	0	0.7	0	0.9
6・1	1	1.1	0	0.4	1	1.2
2	2	0.8	0	1.3	1	1.0
3	0	1.6	0	1.7	1	1.8
4	0	1.0	2	2.8	1	1.6
5	2	0.8	4	4.1	1	2.0
6	0	0.8	5	5.8	2	2.1
7・1	0	0.9	2	5.2	4	1.5
2	0	0.3	0	6.0	0	1.0
3	0	0.3	0	3.4	3	0.6
4	0	0.1	3	1.9	1	0.7
5	0	0.1	2	1.5	0	0.4
6	0	0.3	3	0.9	0	0.5
8・1	0	0.0	0	1.0	1	0.2
2	0	0.7	1	0.6	0	0.3
3	0	0.3	0	0.2	0	0.4
4	0	1.4	0	0.4	1	0.1
5	0	0.9	1	0.1	0	0.0
6	0	0.2	0	0.2	0	0.1
9・1	0	0.2	0	0.2	0	0.4
2	1	0.0	1	0.1	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	0	0.5
4	0	0.0	0	0.4	1	0.1
5	0	0.0	0	0.2	0	0.8
6	0	0.1	0	0.1	1	0.6
10・1	0	0.0	1	0.3	0	1.5
2	0	0.0	0	0.2	1	0.1
3	0	0.0	0	0.2	0	0.2
4	0	0.0	0	0.1	0	0.3
5	0	0.0	0	0.3	1	0.4
6	0	0.1	0	0.2	1	0.0
計	14	19.4	32	47.1	27	26.3

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0	1	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.1	1	0.3
4	0	0.1	0	0.2	0	0.1
5	0	0.3	0	0.2	0	0.1
6	0	0.2	0	0.3	0	0.3
9・1	0	0.1	0	0.1	0	0.1
2	0	0.2	1	0.2	0	0.5
3	0	0.0	0	0.1	0	0.5
4	0	0.3	0	0.6	0	1.3
5	0	0.1	0	0.4	1	2.0
6	0	0.1	0	0.1	0	1.3
10・1	0	0.0	1	0.2	1	1.2
2	0	0.0	0	0.2	0	1.6
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	1	0.2	2	0.2
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	1	0.0	0	0.0	0	0.2
計	1	1.4	3	3.1	6	10.1

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.8	0	0.0	0	0.0
6	1	3.2	0	0.0	0	0.7
6・1	4	5.1	1	0.3	0	1.3
2	20	8.6	1	0.9	1	2.7
3	16	12.3	2	1.7	7	3.9
4	11	10.0	3	2.5	4	4.2
5	15	19.9	2	5.5	7	9.0
6	16	23.2	8	6.5	20	19.0
7・1	37	27.1	22	6.5	20	26.7
2	34	38.7	14	9.3	13	39.4
3	34	38.3	14	9.4	69	37.2
4	33	44.7	30	12.8	49	38.0
5	16	30.1	19	10.2	68	26.4
6	40	36.8	26	17.3	59	34.6
8・1	19	29.8	13	10.5	23	25.6
2	15	24.1	5	9.6	20	21.8
3	9	16.1	4	7.7	17	22.4
4	5	20.3	0	10.5	18	14.9
5	19	11.0	35	5.8	16	9.3
6	14	9.3	25	6.1	22	9.1
9・1	1	4.7	4	3.0	1	3.2
2	1	4.4	6	2.4	1	2.1
3	4	1.1	2	1.1	2	0.8
4	5	0.4	0	0.5	0	0.6
5	0	0.2	0	0.1	0	0.2
6	1	0.1	0	0.1	1	0.0
10・1	0	0.2	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	371	420.6	236	140.4	438	353.3

## クログナ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.3	0	0.0	0	0.2
2	0	0.5	0	0.0	1	0.4
3	0	0.3	0	0.2	5	2.4
4	1	0.2	0	2.1	3	4.5
5	0	0.5	0	1.1	2	3.5
6	1	1.2	0	1.9	1	2.2
6・1	1	0.5	0	0.7	2	2.5
2	4	1.3	0	0.8	7	1.4
3	4	1.3	0	0.7	0	3.1
4	2	2.5	0	0.4	1	1.2
5	4	2.5	0	1.0	0	2.1
6	1	4.4	0	0.7	1	4.0
7・1	8	3.8	2	0.9	1	4.6
2	3	6.2	2	0.8	1	4.6
3	1	5.5	0	2.1	0	2.1
4	3	6.1	0	1.8	1	2.6
5	0	1.4	0	1.5	0	2.5
6	0	2.2	0	1.5	0	4.8
8・1	0	5.5	0	0.5	0	2.7
2	2	3.6	1	0.6	0	0.8
3	0	4.6	0	0.2	0	0.0
4	0	4.1	0	0.1	0	0.6
5	0	1.1	1	0.0	0	0.3
6	0	1.5	0	0.5	0	0.0
9・1	1	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	0.6	0	0.1	0	0.1
3	0	0.2	0	0.3	0	0.0
4	0	0.4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	36	63.0	6	20.5	26	53.2

## ヒモガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6・1	0	1.0	0	0.4	0	0.5
2	0	3.8	0	0.1	0	1.9
3	1	5.0	0	0.1	0	0.8
4	6	12.1	0	0.6	5	3.0
5	19	30.2	1	1.8	7	7.7
6	27	42.1	2	2.1	31	16.8
7・1	103	69.9	5	2.4	48	41.0
2	105	126.3	10	2.7	103	67.2
3	175	166.1	11	6.2	183	98.3
4	204	232.8	11	6.6	252	142.2
5	296	269.5	9	5.9	253	158.0
6	548	432.4	5	10.1	293	210.3
8・1	573	473.3	5	5.9	86	123.6
2	528	447.4	0	4.9	32	72.4
3	221	435.3	2	2.8	61	53.1
4	279	385.1	3	2.4	16	29.7
5	266	280.3	4	1.4	7	11.4
6	200	212.9	1	0.7	1	3.5
9・1	52	102.6	0	0.3	0	1.1
2	20	56.7	1	0.4	0	0.2
3	19	47.8	0	0.2	0	0.1
4	13	13.0	0	0.0	0	0.0
5	9	5.8	0	0.0	0	0.0
6	0	1.5	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.8	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	3,664	3,854.6	60	58.1	1,378	1,043.1

## アカピロウトコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	1	0.0
4	0	0.1	0	0.1	1	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.2
3	0	0.1	0	0.6	1	0.3
4	0	0.0	0	0.1	0	1.0
5	0	0.3	1	0.4	0	0.6
6	0	0.0	0	0.4	0	1.1
6・1	0	0.3	1	0.9	0	1.0
2	0	1.6	1	0.9	0	1.0
3	1	1.7	0	0.3	1	1.3
4	1	2.0	0	0.2	2	4.5
5	4	3.4	4	1.4	2	3.7
6	12	6.6	4	2.2	5	8.1
7・1	12	6.4	9	2.6	0	6.6
2	14	12.4	3	2.2	8	8.9
3	15	9.8	5	2.7	4	6.7
4	13	10.1	6	1.2	6	3.7
5	6	7.9	1	2.1	2	3.1
6	2	7.2	0	0.6	2	2.7
8・1	3	3.8	1	0.1	0	0.8
2	2	1.5	0	0.3	1	0.4
3	8	1.0	0	0.2	0	0.2
4	3	2.3	0	0.4	0	0.6
5	6	2.0	0	0.8	1	0.6
6	0	3.6	1	0.7	0	0.5
9・1	0	1.4	0	0.6	0	0.2
2	1	1.0	0	0.3	0	0.2
3	1	2.7	0	0.6	0	0.4
4	2	0.9	0	0.0	0	0.0
5	0	2.5	0	0.4	0	0.1
6	1	0.9	0	0.2	0	0.0
10・1	0	0.5	0	0.0	0	0.0
2	1	0.5	0	0.0	0	0.1
3	0	0.2	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	108	95.2	37	23.6	37	59.0

(2) 誘引剤トラップの調査結果

	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R 3	平年	R 3	平年	R 3	平年
チャバネアオカメムシ	8.0	70.2	164.6	171.3	27.9	30.9
イチモンジカメムシ	—	—	14.0	—	—	—
ホソヘリカメムシ	136.4	—	12.0	110.8	268.6	—
コナガ	1.1	6.5	55.6	213.0	39.1	56.4
ハスモンヨトウ	1125.7	1274.5	1889.4	2143.0	648.3	1107.4
シロイチモジヨトウ	305.3	—	259.2	—	702.0	—
カブラヤガ	—	—	878.6	593.9	—	—
タバコガ	34.0	34.0	65.0	62.2	0.0	17.8
オオタバコガ	76.7	42.5	512.6	354.1	12.9	12.3

\* 4～10月の総誘殺数（カブラヤガは1～12月、チャバネアオカメムシは5～10月、シロイチモジヨトウ、ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシは4～11月）。

	宇治市		綾部市		京丹後市	
	R 3	平年	R 3	平年	R 3	平年
チャノコカクモンハマキ	4239.2	3113.4	2304.6	2677.6	175.8	89.4
チャノホソガ	6755.9	8432.0	4771.3	7665.2	2589.7	3961.4

\* 4月～10月の総誘殺数

チャパネアオカメムシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		龜岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
5・1	0.0	0.1	0.0	3.6	0.0	0.5
2	0.0	0.3	0.7	4.0	0.0	0.6
3	0.0	0.2	2.1	5.3	0.6	0.8
4	0.0	0.2	1.6	6.5	0.4	1.0
5	0.0	0.4	0.9	8.2	0.0	1.1
6	0.0	0.9	1.7	5.9	0.0	0.5
6・1	0.7	1.0	5.0	4.4	0.0	0.8
2	0.3	0.4	2.0	3.1	0.9	0.2
3	0.0	0.3	0.0	1.4	1.1	0.3
4	0.0	0.9	0.0	1.6	0.0	0.4
5	0.0	1.0	2.3	3.4	1.1	1.0
6	1.1	4.7	2.6	5.7	1.4	2.1
7・1	2.9	6.4	2.1	6.4	1.4	1.6
2	0.0	4.5	1.4	6.4	0.7	3.3
3	0.0	6.3	0.6	7.3	0.3	3.1
4	0.0	7.5	2.0	5.7	0.0	3.1
5	0.0	5.2	0.7	6.7	0.0	2.5
6	0.6	6.9	0.3	14.2	0.0	1.4
8・1	0.4	6.6	0.3	5.9	0.0	0.7
2	0.0	4.5	0.7	8.6	0.0	0.6
3	0.0	4.2	0.0	12.1	0.0	0.5
4	0.5	3.3	7.5	14.8	0.0	0.3
5	0.5	2.5	14.5	13.0	0.0	0.6
6	0.3	1.2	16.3	4.7	0.0	0.5
9・1	0.7	0.5	5.7	2.7	0.0	0.5
2	0.0	0.1	7.1	2.3	1.0	0.5
3	0.0	0.2	5.7	1.7	0.0	0.3
4	0.0	0.1	4.3	1.1	2.4	0.1
5	0.0	0.0	10.5	1.2	1.7	0.1
6	0.0	0.0	21.6	1.1	4.3	0.2
10・1	0.0	0.0	35.7	0.3	8.6	0.6
2	0.0	0.0	4.3	0.5	0.7	0.7
3	0.0	0.1	1.7	0.5	0.3	0.3
4	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.1
5	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
6	0.0	0.0	2.6	0.2	0.9	0.2
5~10月計	8.0	70.2	164.6	171.3	27.9	30.9

イチモンジカメムシ  
(フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	龜岡市	
	R3	平年
4・1	0.0	0.0
2	0.0	0.0
3	0.6	0.3
4	0.4	0.4
5	0.0	0.6
6	0.0	0.3
5・1	0.0	0.0
2	2.1	0.2
3	0.9	0.3
4	0.0	0.4
5	0.0	0.2
6	0.0	0.0
6・1	0.0	0.0
2	0.0	0.3
3	0.0	0.5
4	0.0	0.6
5	0.0	1.5
6	0.0	1.9
7・1	0.0	0.7
2	2.9	2.6
3	6.4	4.3
4	4.6	7.4
5	1.0	6.0
6	1.1	4.6
8・1	2.3	3.3
2	3.6	4.1
3	1.4	5.5
4	0.6	4.5
5	2.0	5.2
6	5.4	10.1
9・1	3.6	9.2
2	3.1	6.9
3	15.7	6.8
4	11.1	3.3
5	19.1	2.4
6	17.1	4.1
10・1	10.7	1.3
2	5.7	1.2
3	4.8	0.2
4	3.9	0.4
5	3.6	0.4
6	1.7	0.5
11・1	0.3	0.1
2	0.0	0.5
3	0.0	0.3
4	0.0	0.1
5	1.0	0.0
6	0.4	0.1
4~11月計	136.4	110.8
4~11月計	136.4	268.6

ホソヘリカメムシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		龜岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R6	平年
4・1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.3
5	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	0.7
6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
5・1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
3	0.0	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0
4	0.0	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
6・1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0
3	0.0	0.5	0.0	0.1	0.1	0.1
4	0.0	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
5	1.1	1.5	1.5	1.5	0.7	0.7
6	2.0	1.9	0.4	1.9	0.4	0.4
7・1	2.9	0.7	2.6	0.0	0.0	0.0
2	6.4	4.3	3.6	3.6	3.6	3.6
3	4.6	7.4	4.4	4.4	4.4	4.4
4	1.0	6.6	7.7	6.0	6.0	6.0
5	3.6	5.2	3.6	3.6	3.6	3.6
6	1.1	4.6	2.0	2.0	2.0	2.0
8・1	2.3	3.3	3.3	0.7	0.7	0.7
2	3.6	4.1	4.1	0.7	0.7	0.7
3	1.4	5.5	1.4	1.4	1.4	1.4
4	0.6	4.5	0.6	0.6	0.6	0.6
5	2.0	5.2	1.0	5.2	1.0	1.0
6	5.4	10.1	4.3	4.3	4.3	4.3
9・1	3.6	9.2	5.7	5.7	5.7	5.7
2	3.1	6.9	28.1	28.1	28.1	28.1
3	15.7	6.8	30.7	30.7	30.7	30.7
4	11.1	3.3	30.9	30.9	30.9	30.9
5	19.1	2.4	33.6	33.6	33.6	33.6
6	17.1	4.1	31.4	31.4	31.4	31.4
10・1	10.7	1.3	27.1	27.1	27.1	27.1
2	5.7	1.2	15.0	15.0	15.0	15.0
3	4.8	0.2	11.5	11.5	11.5	11.5
4	3.9	0.4	6.1	6.1	6.1	6.1
5	3.6	0.4	1.4	1.4	1.4	1.4
6	1.7	0.5	10.3	10.3	10.3	10.3
11・1	0.3	0.1	1.7	1.7	1.7	1.7
2	0.0	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8
3	0.0	0.3	1.9	1.9	1.9	1.9
4	0.0	0.1	0.4	0.4	0.4	0.4
5	1.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
6	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
4~10月計	136.4	110.8	213.0	213.0	39.1	56.4

コナガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		龜岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	1.1	0.5	0.3	1.6	3.0	2.1
2	0.0	0.7	1.4	2.1	0.7	2.9
3	0.0	0.5	1.4	2.4	1.9	2.4
4	0.0	0.6	3.1	2.7	1.6	2.1
5	0.0	0.2	5.7	1.7	0.7	3.3
6	0.0	0.1	3.3	2.4	1.0	2.6
5・1	0.0	0.2	1.7	1.7	0.0	1.6
2	0.0	0.1	0.0	2.9	1.4	2.6
3	0.0	0.3	1.2	2.2	2.4	3.1
4	0.0	0.3	0.8	3.2	2.1	4.9
5	0.0	0.1	0.0	4.2	1.3	3.2
6	0.0	0.0	6.6	6.6	0.9	2.8
6・1	0.0	0.1	2.9	8.3	0.0	1.1
2	0.0	0.0	2.4	10.1	0.9	1.1
3	0.0	0.0	2.1	17.4	1.3	2.0
4	0.0	0.4	2.1	18.6	0.7	3.1
5	0.0	0.1	2.7	17.1	0.1	2.1
6	0.0	0.0	4.3	18.0	0.0	2.4
7・1	0.0	0.0	6.4	21.6	0.0	2.0
2	0.0	0.2	2.9	18.2	0.0	0.6
3	0.0	0.0	2.1	13.6	0.0	0.4
4	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.4
5	0.0	0.2	0.0	3.3	0.0	0.2
6	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
8・1	0.0	0.0	0.0	1.7	0.3	0.1
2	0.0	0.1	0.0	1.6	0.7	0.2
3	0.0	0.1	0.0	1.9	0.0	0.1
4	0.0	0.3	0.0	0.9	0.0	0.1
5	0.0	0.1	0.0	1.2	0.0	0.2
6	0.0	0.0	0.3	1.0	0.3	0.3
9・1	0.0	0.1	0.7	0.6	0.7	0.2
2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3	0.1
3	0.0	0.1	0.0	0.5	1.4	0.3
4	0.0	0.1	0.8	1.0	1.1	0.7
5	0.0	0.0	0.2	0.5	0.2	0.3
6	0.0	0.2	0.0	0.9	0.3	0.4
10・1	0.0	0.1	0.0	1.4	0.7	0.5
2	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7	0.6
3	0.0	0.0	0.0	1.5	2.3	0.6
4	0.0	0.0	1.1	1.9	3.1	0.6
5	0.0	0.1	2.9	1.7	2.9	1.1
6	0.0	0.4	2.6	1.7	4.3	1.0
4~10月計	1.1	6.5	55.6	213.0	39.1	56.4

ハスモンヨトウ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	1.1	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0
2	0.0	0.2	1.4	0.1	0.0	0.0
3	1.1	0.1	3.7	0.3	0.0	0.0
4	1.1	0.4	3.1	1.2	0.0	0.0
5	0.7	0.9	1.4	2.1	0.0	0.8
6	1.3	0.7	7.2	2.6	0.0	1.1
5・1	1.7	2.3	0.8	2.3	0.0	2.4
2	3.6	3.0	3.6	3.1	0.0	3.4
3	3.8	3.8	11.0	3.7	1.2	4.2
4	29.5	3.4	43.3	3.6	22.7	7.4
5	50.1	3.2	63.9	3.6	35.7	6.2
6	78.0	4.2	88.3	5.5	39.4	7.7
6・1	11.4	4.9	15.7	6.8	8.6	4.9
2	8.0	9.6	8.9	11.2	6.0	11.4
3	5.7	15.3	4.4	19.4	4.3	15.6
4	5.7	19.2	3.0	21.5	4.3	15.0
5	8.6	17.6	13.9	17.4	4.9	20.3
6	8.1	17.1	11.3	20.8	4.4	29.9
7・1	6.4	28.8	7.9	31.1	3.6	36.2
2	17.1	27.7	36.4	35.1	26.4	35.1
3	23.9	19.4	35.6	33.4	34.6	33.2
4	22.0	18.6	57.0	34.9	26.0	29.7
5	7.1	19.1	25.0	34.7	7.9	20.7
6	9.1	29.3	22.6	50.7	5.4	25.2
8・1	15.0	22.0	28.9	48.9	10.0	25.8
2	25.7	32.8	48.6	70.0	20.7	39.3
3	53.6	23.1	79.3	58.8	24.3	27.3
4	30.9	23.7	45.2	45.9	23.2	25.4
5	10.2	31.3	21.2	54.9	14.5	29.1
6	9.3	43.4	37.6	83.8	9.1	38.3
9・1	20.0	56.5	55.7	105.5	17.9	42.9
2	49.9	48.3	144.7	130.1	32.4	46.3
3	14.3	49.8	83.6	114.6	27.1	56.3
4	20.5	52.1	156.7	116.5	44.6	58.0
5	37.0	50.6	147.6	114.0	29.8	44.9
6	34.4	55.2	108.7	104.2	22.7	55.3
10・1	25.0	68.0	60.7	108.4	19.3	76.7
2	21.4	78.7	22.9	135.4	14.3	71.1
3	48.1	114.6	45.6	155.9	18.7	61.4
4	79.8	92.0	77.4	135.8	21.9	35.4
5	100.7	80.7	102.1	96.5	22.1	28.4
6	224.6	103.1	153.4	118.3	40.3	34.0
4～10月計	1125.7	1274.5	1889.4	2143.0	648.3	1107.4

シロイチモジヨトウ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	1.0	0.2	1.2	0.2	0.0	0.0
5・1	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
3	0.6	0.6	0.6	2.1	0.0	0.1
4	9.4	5.5	36.8	0.0	0.0	0.0
5	12.0	7.1	50.6	0.0	0.0	0.0
6	0.0	1.7	18.9	0.0	0.0	0.0
6・1	1.4	13.6	5.0	0.0	0.0	0.0
2	8.4	8.4	4.6	0.0	0.0	0.0
3	2.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0
4	4.3	1.7	4.3	0.0	0.0	0.0
5	6.6	4.0	1.4	0.0	0.0	0.0
6	7.4	6.1	4.4	0.0	0.0	0.0
7・1	7.9	7.9	10.0	0.0	0.0	0.0
2	7.1	5.0	7.1	0.0	0.0	0.0
3	3.9	3.0	4.9	0.0	0.0	0.0
4	7.0	4.0	5.0	0.0	0.0	0.0
5	12.1	20.0	10.7	0.0	0.0	0.0
6	14.0	18.0	10.6	0.0	0.0	0.0
8・1	17.4	13.0	7.9	0.0	0.0	0.0
2	26.4	10.0	7.9	0.0	0.0	0.0
3	20.0	3.6	6.4	0.0	0.0	0.0
4	8.0	2.9	20.6	0.0	0.0	0.0
5	5.3	3.5	38.0	0.0	0.0	0.0
6	15.2	5.7	54.0	0.0	0.0	0.0
9・1	11.4	4.3	35.0	0.0	0.0	0.0
2	7.0	2.7	21.0	0.0	0.0	0.0
3	5.0	3.6	45.0	0.0	0.0	0.0
4	9.0	12.7	46.6	0.0	0.0	0.0
5	6.6	26.4	41.4	0.0	0.0	0.0
6	4.9	23.0	30.9	0.0	0.0	0.0
10・1	3.6	13.6	17.1	0.0	0.0	0.0
2	6.4	5.0	43.6	0.0	0.0	0.0
3	10.6	4.5	27.9	0.0	0.0	0.0
4	9.4	3.6	15.4	0.0	0.0	0.0
5	3.6	2.9	12.1	0.0	0.0	0.0
6	1.7	0.9	27.4	0.0	0.0	0.0
11・1	6.3	0.1	10.6	0.0	0.0	0.0
2	7.5	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0
3	6.3	0.8	1.3	0.0	0.0	0.0
4	5.2	1.8	3.2	0.0	0.0	0.0
5	4.0	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0
6	2.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
4～11月計	305.3	259.2	702.0	0.0	0.0	0.0

カブラヤガ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	亀岡市		亀岡市	
	R3	平年	R3	平年
1・1	0.0	0.0	25.7	17.0
2	0.0	0.0	27.9	17.7
3	0.0	0.0	27.1	10.6
4	0.0	0.0	21.0	12.3
5	0.0	0.2	23.6	9.7
6	0.0	0.2	19.7	9.8
8・1	0.2	0.2	17.1	6.9
2	0.2	0.2	23.6	6.6
3	0.2	0.2	5.0	9.4
4	0.2	0.2	7.5	9.2
5	0.1	0.2	7.8	11.2
6	0.0	2.7	7.8	11.7
9・1	3.6	1.9	7.9	10.3
2	2.6	1.8	16.3	15.0
3	1.9	1.3	26.4	13.1
4	3.3	3.4	4	36.5
5	7.0	4.9	5	42.7
6	9.4	7.8	6	35.6
10・1	8.0	11.9	1	23.6
2	3.6	14.2	2	20.7
3	0.7	16.0	3	21.3
4	0.0	14.2	4	24.1
5	0.0	17.2	5	27.9
6	5.2	20.3	6	15.4
5・1	25.8	23.7	1	11.2
2	47.9	28.3	2	7.3
3	32.9	27.7	3	5.0
4	19.5	25.4	4	4.2
5	18.7	16.6	5	1.8
6	30.0	17.1	6	6.2
6・1	9.3	9.7	1	6.2
2	7.6	7.4	2	5.6
3	6.3	5.7	3	4.7
4	5.7	4.9	4	4.7
5	26.9	10.6	5	3.0
6	29.6	14.7	6	0.5
1～12月計	878.6	593.9		

※1～3月及び12月は例年、他の月は平年

タバコガ（フェロモントラップ）

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R3	平年	R3	平年	R3	平年
4・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0
4	0.0	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0
5・1	0.0	0.0	0.8	0.1	0.0	0.1
2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0
5	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0	0.0
6	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.1
6・1	0.0	0.1	0.0	0.6	0.0	0.1
2	0.0	0.1	0.4	1.0	0.0	0.1
3	0.0	0.3	0.6	0.8	0.0	0.0
4	0.0	0.6	0.0	0.8	0.0	0.1
5	1.7	0.2	1.7	1.0	0.0	0.1
6	1.9	0.3	3.0	1.2	0.0	0.1
7・1	1.4	0.1	4.3	0.6	0.0	0.3
2	1.4	0.3	2.9	0.8	0.0	0.4
3	1.6	0.7	3.1	0.9	0.0	0.1
4	1.0	0.8	0.0	1.8	0.0	0.1
5	0.7	0.7	0.0	1.6	0.0	0.1
6	0.3	1.1	0.0	2.3	0.0	0.6
8・1	0.6	0.9	2.6	2.6	0.0	0.4
2	1.4	0.8	6.4	2.5	0.0	0.4
3	0.7	1.0	3.6	3.2	0.0	0.3
4	0.3	2.0	2.4	3.6	0.0	0.3
5	0.0	3.2	2.3	4.4	0.0	0.9
6	0.9	4.5	3.0	3.7	0.0	5.6
9・1	2.1	3.5	0.7	3.9	0.0	2.8
2	0.6	2.2	1.0	4.9	0.0	1.4
3	2.9	1.6	0.0	3.5	0.0	1.2
4	3.0	1.3	1.6	2.9	0.0	0.7
5	4.0	2.0	5.0	3.2	0.0	0.2
6	3.4	1.7	6.0	3.1	0.0	0.3
10・1	2.1	1.5	6.4	2.2	0.0	0.3
2	0.7	0.8	3.6	1.5	0.0	0.2
3	0.8	0.5	1.4	0.8	0.0	0.2
4	0.5	0.2	0.3	0.6	0.0	0.1
5	0.0	0.2	0.7	0.4	0.0	0.1
6	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2
4～10月計	34.0	34.0	65.0	62.2	0.0	17.8

オオタバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R.3	平年	R.3	平年	R.3	平年
4・1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
4	0.3	0.0	0.9	0.4	0.0	0.0
5	0.7	0.1	2.1	0.3	0.0	0.0
6	0.2	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0
5・1	0.8	0.3	0.0	1.3	0.0	0.1
2	0.7	0.5	4.3	3.3	0.0	0.2
3	0.3	0.6	1.7	3.5	0.0	0.2
4	0.0	0.9	4.3	4.5	0.0	0.2
5	0.0	0.1	6.3	3.0	0.0	0.1
6	0.0	0.2	3.4	2.9	0.0	0.0
6・1	10.0	0.3	2.9	1.9	0.0	0.2
2	4.4	0.3	2.4	1.3	0.0	0.1
3	0.7	0.0	2.0	1.0	0.0	0.1
4	0.7	0.7	0.7	1.1	0.0	0.0
5	0.1	0.3	12.6	1.8	0.0	0.0
6	0.0	0.1	13.7	4.6	0.0	0.0
7・1	0.0	0.2	10.7	6.1	0.0	0.0
2	0.0	0.2	8.6	4.7	0.0	0.0
3	0.0	0.2	3.4	3.1	0.0	0.0
4	0.0	0.3	2.0	2.0	0.0	0.0
5	0.0	0.1	2.5	1.2	0.0	0.0
6	0.0	0.1	23.9	2.4	0.0	0.0
8・1	0.0	0.0	34.4	3.9	0.0	0.0
2	0.0	0.0	42.1	5.3	0.0	0.1
3	0.0	0.1	21.4	3.0	0.0	0.0
4	0.0	0.1	11.6	3.5	0.0	0.0
5	0.0	0.1	3.0	11.0	0.0	0.0
6	0.3	0.3	6.0	15.6	0.0	0.4
9・1	0.7	0.6	15.0	13.1	0.0	1.3
2	0.0	0.4	3.7	12.4	1.0	0.6
3	0.0	0.3	3.6	15.5	0.0	0.2
4	1.6	0.5	19.9	16.8	0.0	0.3
5	0.4	0.7	19.7	15.5	0.0	0.4
6	0.0	1.5	22.3	20.8	0.0	0.5
10・1	0.0	3.3	27.9	22.0	0.0	0.6
2	0.0	4.2	31.3	31.3	0.0	0.6
3	14.0	6.2	20.9	34.2	1.0	2.5
4	21.1	4.3	34.9	35.6	3.6	1.1
5	17.9	4.9	57.1	23.2	6.4	0.6
6	1.7	9.5	38.6	20.2	0.9	1.7
4~10月計	76.7	42.5	512.6	354.1	12.9	12.3

チャノコカクモクハンマキ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	R.3	平年	R.3	平年	R.3	例年
4・1	69.0	2.1	8.8	0.1	0.0	0.0
2	93.5	6.7	6.6	2.1	2.1	0.2
3	300.5	15.5	26.2	13.8	2.6	0.3
4	328.0	54.5	52.0	32.0	3.6	1.6
5	604.0	121.2	135.0	64.1	6.4	1.9
6	418.4	206.8	112.7	94.7	9.3	1.7
5・1	357.3	382.1	106.0	126.5	2.5	4.3
2	492.4	465.5	104.3	167.9	5.1	3.3
3	472.0	466.4	62.9	177.3	4.6	2.4
4	57.3	267.3	32.4	106.2	2.1	0.8
5	11.7	111.8	10.6	38.6	0.7	0.6
6	1.5	32.4	5.1	9.3	0.0	0.4
6・1	8.5	4.5	0.7	4.7	0.0	0.2
2	43.3	2.0	40.1	14.3	1.1	0.1
3	127.7	22.5	61.6	69.7	2.9	2.8
4	126.0	48.8	42.1	57.8	5.7	4.8
5	59.0	62.4	43.9	104.7	12.1	6.0
6	36.3	70.3	38.3	156.1	13.6	5.7
7・1	38.7	108.2	29.3	113.9	2.1	4.3
2	31.8	63.3	45.7	61.7	2.1	2.4
3	9.0	30.9	46.6	22.7	1.3	0.6
4	15.2	8.9	43.9	8.1	1.6	0.4
5	40.0	8.2	30.7	16.9	9.0	0.6
6	93.8	29.6	30.4	43.9	7.7	2.1
8・1	65.9	46.6	50.9	41.1	1.9	2.2
2	25.7	35.3	57.0	30.3	0.7	2.0
3	7.2	25.5	10.7	24.7	1.9	1.1
4	3.8	8.5	10.7	18.5	1.6	1.0
5	4.7	4.3	14.4	16.7	1.5	0.1
6	16.0	3.7	28.1	46.2	4.3	0.2
9・1	15.8	10.1	40.7	54.5	0.7	1.2
2	18.8	13.6	172.7	80.3	1.1	3.2
3	14.9	31.3	146.9	109.2	5.0	5.6
4	75.7	56.2	58.6	139.7	8.0	6.1
5	51.5	60.5	235.0	131.8	11.3	3.9
6	40.6	54.9	136.9	111.0	11.0	3.4
10・1	23.7	53.7	68.9	130.3	6.4	3.8
2	14.0	46.5	58.6	99.4	10.4	4.0
3	12.0	32.4	43.7	75.5	8.5	2.7
4	9.3	12.8	25.7	33.1	3.3	0.4
5	2.2	11.7	4.3	13.9	0.0	0.4
6	2.5	13.9	24.9	14.3	1.3	0.6
4~10月計	4239.2	3113.4	2304.6	2677.6	175.8	89.4

チャノホソガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		綾部市		京丹後市	
	R.3	平年	R.3	平年	R.3	例年
4・1	165.8	126.6	16.3	18.5	18.6	78.7
2	59.8	109.9	11.3	212.5	1.4	58.8
3	73.8	118.7	9.5	430.7	7.0	109.6
4	41.8	187.3	8.2	489.5	8.7	69.7
5	11.2	151.5	3.6	248.1	0.7	53.8
6	11.1	60.0	6.4	118.7	8.1	36.4
5・1	10.5	47.6	5.1	50.4	2.5	13.9
2	9.9	30.0	2.1	41.3	0.5	7.4
3	10.4	11.7	10.7	43.6	0.8	0.9
4	57.5	3.5	5.6	12.7	1.2	0.9
5	207.5	38.2	5.0	62.0	0.0	3.6
6	308.3	232.7	19.7	273.7	3.4	115.5
6・1	330.3	769.7	226.4	301.4	11.4	192.7
2	345.5	920.6	261.6	467.7	47.0	369.9
3	154.3	898.0	290.9	502.9	97.1	437.4
4	95.3	426.2	314.3	552.6	19.3	288.9
5	92.5	144.4	110.3	498.2	21.0	188.2
6	207.7	73.7	66.1	287.2	21.4	92.9
7・1	635.3	132.7	76.4	210.9	18.6	47.8
2	592.6	258.2	307.9	355.7	90.0	76.2
3	496.0	546.3	370.9	332.2	182.7	188.2
4	314.5	742.3	402.7	356.6	359.8	291.5
5	260.7	313.8	362.1	252.2	231.2	215.9
6	321.4	176.7	143.1	164.2	171.9	145.9
8・1	289.4	136.4	269.6	75.3	74.7	65.7
2	177.3	133.0	327.6	61.7	7.9	97.0
3	85.5	169.5	29.3	52.5	24.4	96.0
4	38.8	136.0	72.1	81.8	42.1	100.5
5	8.7	157.3	66.6	85.7	56.5	107.0
6	60.0	109.3	51.4	90.5	45.5	53.6
9・1	120.0	57.1	46.4	81.2	65.0	23.6
2	290.0	75.1	44.7	51.8	138.0	21.0
3	59.5	140.5	63.4	67.1	178.6	30.3
4	372.3	179.0	92.1	133.6	200.4	41.1
5	132.5	192.8	169.0	169.0	181.6	76.0
6	99.0	179.5	151.7	139.7	144.4	73.6
10・1	98.7	87.2	115.7	93.6	85.0	46.4
2	60.5	60.9	61.2	61.2	17.0	30.5
3	27.5	43.9	44.3	52.9	0.0	23.7
4	17.0	20.0	30.4	38.2	0.7	11.2
5	6.0	22.5	21.4	24.0	3.6	6.7
6	19.5	11.7	42.0	21.9	—	3.8
4~10月計	6755.9	8432.0	4771.3	7665.2	2589.7	3961.4

### (3) 黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数(黄色水盤)  
調査場所: 亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月. 半旬	R 3	平年	R 2	H31/R元	H 3 0	H 2 9	H 2 8	H 2 7	H 2 6	H 2 5	H 2 4	H 2 3
4 ・ 1	3.0	2.1	1.0	1.0	2.0	1.0	8.0	1.0	2.0	4.0	0.0	1.0
2	6.3	2.2	0.0	4.2	0.0	1.0	10.0	4.0	1.0	1.0	0.0	1.2
3	12.7	3.3	1.0	7.8	1.3	0.0	5.0	4.0	0.0	6.0	2.5	5.1
4	8.0	5.0	1.0	14.2	1.7	0.6	9.0	3.0	2.0	14.5	2.5	1.7
5	4.0	6.9	2.0	25.2	1.3	3.0	13.0	7.3	3.0	10.5	2.0	2.0
6	2.5	8.8	2.0	15.2	7.4	2.9	15.3	5.7	2.0	24.0	9.0	5.0
5 ・ 1	2.5	7.2	3.3	9.1	8.7	10.3	5.0	6.8	1.0	14.0	0.0	14.0
2	2.0	18.8	10.7	31.3	4.6	31.3	7.8	7.3	15.0	64.0	0.0	16.0
3	6.7	26.0	5.0	17.5	11.5	46.0	11.0	9.0	19.0	124.0	5.0	12.0
4	12.3	22.6	2.0	9.9	15.2	27.0	0.0	2.0	28.0	119.0	9.0	14.0
5	4.0	16.0	12.0	12.7	8.3	28.0	11.0	25.0	8.0	46.0	0.0	9.0
6	2.0	24.4	5.0	6.6	28.0	27.2	5.0	4.0	16.5	138.0	10.0	4.0
6 ・ 1	12.7	16.0	4.0	8.6	17.3	14.1	1.0	1.0	23.5	70.8	10.0	10.0
2	3.3	13.0	4.0	12.7	19.4	8.8	5.0	7.0	4.0	61.2	6.0	2.3
3	1.0	7.4	5.0	5.0	11.3	10.3	0.0	4.0	6.0	12.7	18.0	1.7
4	0.0	5.5	3.5	3.7	4.0	14.6	2.0	3.3	1.0	9.3	12.0	2.0
5	3.3	2.6	2.5	3.3	5.0	14.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
6	4.7	5.1	0.0	5.5	14.3	17.8	0.8	3.0	0.0	9.0	0.0	1.0
7 ・ 1	3.0	4.1	6.0	4.5	1.7	13.5	2.3	2.0	0.0	10.0	0.0	1.0
2	2.8	3.5	2.0	3.3	0.0	7.5	2.0	2.0	1.0	4.0	13.0	0.0
3	0.3	1.2	3.0	2.7	0.0	1.0	1.7	0.0	0.7	2.0	1.0	0.0
4	3.0	1.5	1.0	4.2	0.0	0.0	3.3	0.0	1.3	4.7	0.0	0.0
5	0.0	5.9	14.2	23.9	0.3	3.2	13.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
6	6.7	10.8	36.8	30.7	1.2	19.6	10.0	0.0	0.0	6.0	3.0	1.0
8 ・ 1	8.3	22.2	125.0	9.2	2.8	20.2	3.0	23.0	3.0	11.7	8.0	16.0
2	29.0	25.6	42.0	9.5	19.7	13.0	0.0	67.0	0.0	14.3	10.0	80.0
3	10.0	23.3	34.3	2.5	56.0	4.0	0.0	15.7	0.6	9.0	35.0	76.0
4	11.0	10.1	4.7	5.0	25.0	12.0	1.0	6.3	0.4	0.0	28.0	19.0
5	40.0	4.8	0.0	6.6	5.0	9.0	4.0	1.5	3.3	0.0	15.7	3.0
6	49.0	6.1	3.4	12.8	4.0	6.7	0.0	0.5	16.7	0.3	6.3	10.0
9 ・ 1	99.0	6.4	2.6	9.8	3.5	23.3	0.0	0.3	24.0	0.7	0.0	0.0
2	76.5	6.3	6.0	5.1	2.5	7.3	1.0	4.7	6.0	7.0	3.0	20.0
3	94.5	6.0	3.0	4.2	21.3	7.7	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0	20.0
4	26.0	3.5	8.0	6.2	8.1	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	1.0
5	25.7	5.2	9.0	9.8	19.7	3.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	10.0
6	6.3	3.6	5.0	3.8	10.7	0.3	1.0	1.0	7.0	2.0	0.0	5.0
10 ・ 1	9.0	3.7	6.0	3.4	11.3	2.8	0.0	0.0	1.0	12.0	0.0	0.0
2	7.0	2.3	2.7	4.3	1.0	2.0	0.0	1.2	0.0	8.0	0.0	4.0
3	2.7	2.8	3.3	1.0	5.0	1.0	2.0	0.8	1.0	4.0	10.0	0.0
4	5.8	2.9	3.0	1.3	2.7	2.0	1.0	4.0	0.0	2.0	7.7	5.0
5	1.5	4.0	2.0	1.1	6.6	1.3	0.0	5.0	1.0	0.0	19.3	4.0
6	8.0	5.0	2.5	0.6	22.3	3.7	2.0	5.0	1.0	10.0	0.0	3.4
11 ・ 1	7.0	1.4	1.5	2.0	4.5	0.8	1.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.6
2	7.0	6.0	0.0	1.6	16.8	4.3	0.0	0.0	2.0	10.0	15.7	10.0
3	22.0	3.2	4.0	2.4	7.7	1.5	0.0	1.0	0.0	2.0	11.3	2.0
4	66.7	5.1	6.0	1.7	7.7	0.5	0.0	2.0	1.0	21.7	10.0	0.0
5	65.3	2.9	4.0	1.3	3.4	1.2	0.0	0.0	0.0	11.3	6.0	1.3
6	12.0	2.6	1.0	1.0	5.4	1.8	1.0	0.0	1.0	5.0	3.0	6.7
4~11月計	796.1	385.1	406.0	369.0	437.0	436.0	159.0	243.0	205.0	903.0	292.0	401.0

## 2 病害虫発生予察情報の内容

### (1) 水稲

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 年比(前年比)	根拠	備考
葉いもち	5月26日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生を認めていない(平年並)。 (2)前年の穂いもちの発生量は平年並。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ないと予想されている(+)	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(多)	(1)6月中旬現在、本田での発生を認めていない(平年並)。 (2)山城及び南丹地域の一部で、補植用苗に発生を確認している(+) (3)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-) (4)向こう1か月の気温は平年並か低く(+)、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
穂いもち	7月28日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は山城及び丹後では平年比やや多く、南丹では平年比多く、中丹では平年並、全体では平年比やや多い(+) (2)いもち病発生予察システム(プラスタム)では、7月1日から9日にかけて広い範囲で感染(準)好適条件が記録されている(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側では平年並か多く(-)、太平洋側ではほぼ平年並と予想されている。	
	(中晩生水稲) 8月25日(7号)	発生量 多(多)	(1)8月中旬現在、巡回調査での葉いもちの発生は平年比多い(+) (2)8月中旬現在、巡回調査での穂いもちの発生は平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並又は少ないと予想されている。	
紋枯病	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない。 (2)昨年8月の発生量は平年比やや多かった(+) (3)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量 多(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は山城及び南丹で平年比多く(+)、中丹及び丹後では発生を認めず(平年並)、全体では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側では平年並か多く(-)、太平洋側ではほぼ平年並と予想されている。	
	(中晩生水稲) 8月25日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、巡回調査での発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並又は少ないと予想されている。	
ヒトビウンカ と縞葉枯病	4月21日(3号)	[ヒトビウンカ] 発生量 やや少(やや少) [縞葉枯病] 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒトビウンカの発生を認めていない(平年比やや少ない(-))	
	5月26日(4号)	[ヒトビウンカ] 発生量 やや少 [縞葉枯病] 発生量 並	(1)ヒトビウンカの越冬虫は確認していない(平年比やや少ない(-)) (2)前年は、イネ縞葉枯病の発生を認めていない。	
セジロウンカ	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月第2半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)6月中旬現在、本田での発生を認めていない(平年並)。	
	7月28日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、本田見取り調査での発生量は平年比少なく(-)、本田すくい取り調査での発生量は平年並。	
トビロウンカ	7月28日(6号)	発生量 並(少)	(1)7月20日現在、予察灯への誘殺を認めていない。 (2)7月中旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年並)。	
	(中晩生水稲) 8月25日(7号)	発生量 並(少)	(1)8月中旬の巡回調査で発生を認めていない(平年並)。 (2)予察灯調査では、8月17日まで誘殺を認めていない。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並と予想されている。	
	(晩生水稲) 9月29日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+))と予想されている。	
ツマグロヨコバイ	5月26日(4号)	発生量 並(やや少)	(1)ツマグロヨコバイの越冬虫数、確認ほ場率ともに平年並。	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+)	
	7月28日(6号)	発生量 やや少(やや多)	(1)7月中旬現在の発生量は、本田見取り調査では平年比少なく(-)、本田すくい取り調査では平年比やや少ない(-)	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月26日(4号)	発生量 多(多)	(1)前年8月に第2世代幼虫の発生量は平年比多く、越冬量は平年比多い(+))と予想される。	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月28日(6号)	発生量 並(少)	(1)7月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない(平年並)。	
	8月25日(7号)	発生量 並(少)	(1)8月中旬現在の発生量は平年並。	
イネミス ゾウムシ	4月21日(3号)	発生量 やや多(並)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、亀岡市では平年比やや多く(+)、京田辺市及び京丹後市では平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は平年比多いと予想されている。	
	5月26日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、亀岡で平年比やや多く(+)、京田辺及び京丹後で平年比やや少ない(-) (2)5月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多い(+) (3)5月第3半旬現在、越冬世代成虫の予察灯への誘殺数は、京田辺で平年比やや多く(+)、亀岡で平年比やや少なく(-)、京丹後で平年並。	

斑点米カメムシ類   (中晩生水稲)	6月23日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、本田での発生量は平年並、畦畔雑草での発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺及び京丹後では誘殺を認めず(京田辺:平年並、京丹後:平年比やや少ない(-)、亀岡では平年比多い(+))。 (3)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺では誘殺を認めず(平年並)、亀岡及び京丹後で平年比少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温は平年並か低いと予想されている。
	7月28日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、本田での発生は平年比やや多く(+)、畦畔雑草では平年並。 (2)アカスジカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比やや少なく(-)、亀岡市で平年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高い(+))と予想されている。
	8月25日(7号)	発生量 並	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城で平年比やや多く(+)、南丹で平年並。 (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は山城で平年比やや少なく、南丹で平年比少ない(-)。
その他 (注意事項)			

## (2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
その他 (注意事項)				

## (3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月23日(5号)	発生量 やや少(並)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
吸実性カメムシ類	7月28日(6号)	カメムシ類 やや多(多)	(1)7月中旬現在、巡回調査で発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第4半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメムシでは京田辺市および京丹後市で平年並、亀岡市で平年比多い(+)。イチモンジカメムシでは、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で平年並。 (3)7月第4半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は京田辺市および京丹後市で平年並、亀岡市で平年比やや少ない(-)。 (4)7月第4半旬現在、ホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は亀岡市で例年比少ない(-)。 (5)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)8月第3半旬現在、予察灯(60W)へのアオクサカメムシの誘殺数は、京田辺市、亀岡市および京丹後市で平年並。イチモンジカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市および京丹後市で平年並。 (3)8月第3半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年並。 (4)8月第3半旬現在、亀岡市におけるホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年比やや少ない(-)。 (5)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)9月第4半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメムシは京田辺市及び亀岡市、京丹後市で平年並、イチモンジカメムシは京田辺市及び亀岡市、京丹後市で平年並。 (3)9月第4半旬現在、イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市で平年比多く、亀岡市で平年比やや多い(+)。京丹後市では平年並。 (4)9月第3半旬現在、亀岡市のホソヘリカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は例年比少ない(-)。 (5)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)	
サヤムシガ類	7月28日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、寄生株率及び25株当たりの寄生数は平年並。 (2)7月中旬現在、被害株率及び25株当たりの被害数は平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平均比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月28日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく(-)、亀岡市および京丹後市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で多く(+)、アズキで平年並。 (2)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市と京丹後市で平年比やや少なく(-)、亀岡市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)	

ハダニ類	7月28日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない)(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆及びアズキで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+).	
(注意事項)				

#### (4)小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月23日(5号)	発生量 やや少(並)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月28日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく(-)、亀岡市および京丹後市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で多く(+)、アズキで平年並。 (2)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市と京丹後市で平年比やや少なく(-)、亀岡市で平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+).	
ハダニ類	7月28日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少ない)(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆及びアズキで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+).	
オオタバコガ	8月25日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬の巡回調査で、調査ほ場での幼虫の発生を確認している(+). (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市及び京丹後市では認められず(平年並)、亀岡市で平年比多い(+). (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
(注意事項)				

## (5)果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
黒斑病(ナシ)	3月26日(2号)	発生量 多	(1)越冬量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
	4月21日(3号)	発生量 多(やや多)	(1)冬季に剪定した徒長枝での発生は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月26日(4号)	発生量 多(多)	(1)5月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(+と)予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量 やや多(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
黒星病(ナシ)	4月21日(3号)	発生量 やや多(並)	(1)前年10月の発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は多い(-)と予想されている。	
	5月26日(4号)	発生量 やや多(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(+と)予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並か低く(+、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
べと病 (ブドウ)	5月26日(4号)	発生量 多(多)	(1)5月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(+と)予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く(+、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量 やや少(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 並(多)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
カキクダアザ ミウマ(カキ)	3月26日(2号)	発生量 並	(1)前年10月に被害を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
炭そ病(カキ)	4月21日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年10月の発生は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、果実での発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
落葉病(カキ)	5月26日(4号)	発生量 やや多	(1)前年10月の調査では、調査ほ場内で発生を認めている(平年並) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(+と)予想されている。	
うどんこ病 (カキ)	5月26日(4号)	発生量 多(並)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)前年10月の発生量は平年並 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(+と)予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 やや多(並)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量 並(少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
ハダニ類 (カンキツ、 ナシ、ブドウ)	5月26日(4号)	発生量 ナシ やや少 (並) カンキツ やや少 (やや少)	(1)5月中旬現在、発生量はナシでは発生を認めず(平年並)、カンキツでは平年並 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(-と)予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量 ナシ やや少 (やや少) カンキツ やや少 (少)	(1)6月中旬現在、ナシで発生を認めず(平年比やや少ない(-)、カンキツでも発生を認めなかった(平年比少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量 ナシ 並 (やや多) カンキツ やや多 (やや多)	(1)7月中旬現在、発生量はナシで平年比やや少なく(-)、カンキツで平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側では平年並か多く、太平洋側ではほぼ平年並と予想されている(+)	
	8月25日(7号)	発生量 ナシ やや少 (並) カンキツ やや少 (並)	(1)8月中旬の巡回調査では、ナシで発生を認めず(平年比やや少)(-)、カンキツでも発生を認めていない(平年比少)(-) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	

カメムシ類 (果樹全般)	5月26日(4号)	発生量 やや多(やや少)	(1)チャバネアオカメムシの越冬量は、京都市及び南丹地域で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+) (2)5月中旬現在、ナシでの被害は平年比多い(+) (3)5月第3半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺は京田辺市、亀岡市及び京丹後市では平年並。 (4)5月第3半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (5)5月第3半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺は京田辺市、亀岡市及び京丹後市では認めていない(平年並)。
	6月23日(5号)	発生量 山城 並(少) 丹波 やや多(やや少) 丹後 やや多(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は、ナシで発生を認めていない(平年並)。 (2)チャバネアオカメムシの予察灯(BL)での誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比やや多い(+) (3)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は、京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (4)クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺は、京田辺市及び亀岡市では認めず(平年並)、京丹後市で平年比やや多い(+) (5)ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺は、京田辺市で認めず(平年比やや少ない(-)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で認めなかった(平年並))。
	7月28日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、被害果率はナシで平年並、カキで平年比やや多い(+) (2)7月第4半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (3)7月第4半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (4)7月第4半旬現在、予察灯(BL)へのツヤアオカメムシの誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく(-)、亀岡市および京丹後市で平年並。 (5)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。
	8月25日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は京田辺市で平年比少なく(-)、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (2)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (3)8月第3半旬現在、クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比やや少ない(-) (4)8月第3半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市で平年比やや少なく(-)、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (5)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。
その他 (注意事項)			

### (6)茶樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)		根拠	備考
もち病	3月26日(2号)	発生量	山城 やや多(やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)令和2年10月の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
	4月21日(3号)	発生量	山城 やや多(やや多) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)前年10月の発生量は山城でやや多く(+)、丹波及び丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月26日(4号)	発生量	山城 多(やや多) 丹波 やや多(やや多) 丹後 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後のいずれも発生を認めていない(平年並)。 (2)前年10月の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波、丹後で認めなかった(平年並)。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている。(+)。	
	7月28日(6号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在、山城、丹波、丹後ともに発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
炭疽病	4月21日(3号)	発生量	山城 並(並) 丹波 やや少(やや少) 丹後 やや少(やや少)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波及び丹後では発生を認めていない(平年比少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている。	
	5月26日(4号)	発生量	山城 並(並) 丹波 やや多(やや多) 丹後 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(山城は平年比少ない(-)、丹波、丹後は平年並)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(+と)予想されている。	
	6月23日(5号)	発生量	山城 やや少(やや少) 丹波 少(少) 丹後 多(多)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で発生を認めず(平年比少ない(-))、丹後で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量	山城 やや多(並) 丹波 少(やや少) 丹後 並(並)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや多く(+)、丹波で平年比少なく(-)、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	8月25日(7号)	発生量	山城 並(並) 丹波 少(やや少) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城・丹後で平年並、丹波で少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている。	

カンザワハダニ	2月26日(1号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 並(並) 丹後 多(多)	(1)2月第5半旬現在、発生量は山城で発生を認めておらず平年比少(-)、丹波で発生を認めておらず平年並、丹後では例年比多い(+) (2)産卵は山城、丹波、丹後のいずれの地域でも認めず、産卵率はいずれの地域ともに平年並(例年並) (3)発生ほ場率は山城で平年比低く(-)、丹波で平年並、丹後で例年比高い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多いと予想されている(-)
	3月26日(2号)	発生量	山城 並(並) 丹波 やや多(並) 丹後 やや多(並)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波、丹後で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている
	4月21日(3号)	発生量	山城 やや多(やや多) 丹波 並(並) 丹後 多(多)	(1)4月中旬現在、発生量は山城及び丹後で平年比多く(+)、丹波では発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている
	5月26日(4号)	発生量	山城 並(やや多) 丹波 並(並) 丹後 やや多(多)	(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で発生を認めず(平年並)、丹後では例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(-)と予想されている
	6月23日(5号)	発生量	山城 少(少) 丹波 少(やや少) 丹後 やや少(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城、丹波で平年比少なく(-)、丹後で平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている
	7月28日(6号)	発生量	山城 やや多(多) 丹波 やや少(やや少) 丹後 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で発生を認めず(平年比少ない)、丹後では平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている
	8月25日(7号)	発生量	山城 やや多(並) 丹波 やや多(やや少) 丹後 やや少(やや少)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城・丹波で平年比やや多く(+)、丹波で発生を認めていない(平年比少ない)(-) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている
	9月29日(8号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 やや多(多) 丹後 多(多)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で発生を認めず(平年比少ない)(-)、丹波で平年並、丹後で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
	10月20日(9号)	発生量	山城 やや多 丹波 並 丹後 やや多	(1)10月中旬現在、発生量は山城、丹後でやや多く(+)、丹波で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない
	チャノホソガ	3月26日(2号)	発生量	山城 やや少(並) 丹波 並(並) 丹後 並(並)
4月21日(3号)		発生量	山城 やや少(並) 丹波 やや少(並) 丹後 やや少(やや少)	(1)前年10月の発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波及び丹後では平年並 (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並、綾部市で平年比少なく(-)、京丹後市では例年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温及び降水量は平年並と予想されている
5月26日(4号)		発生量	山城 やや少(少) 丹波 やや少(やや少) 丹後 やや少(やや少) 次世代幼虫ふ化時期: 山城:6月第4~5半旬(早) 丹波:6月第4~5半旬(早) 丹後:6月第4~5半旬(早)	(1)5月中旬現在、第1世代の発生量は山城、丹波で平年並、丹後で発生を認めず(例年並) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市、綾部市で平年比少なく(-)、京丹後市では例年比少ない(-) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市、綾部市で平年比早く、京丹後市では例年比早い
6月23日(5号)		発生量	山城 やや多(多) 丹波 並(並) 丹後 やや少(やや少) 次世代幼虫ふ化期 山城 7月第4半旬~5半旬(やや早) 丹波 7月第5半旬~6半旬(早) 丹後 7月第6半旬~8月1半旬(早)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや多く(+)、丹波で例年並、丹後で例年比やや少ない(-) (2)フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市、綾部市は平年並、京丹後市は例年比少ない(-) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は、宇治市は平年比やや早く、綾部市は平年比早く、京丹後市は例年比早い (4)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている
7月28日(6号)		発生量	山城 並(並) 丹波 並(少) 丹後 並(少) 第3世代幼虫ふ化期 山城 7月第3半旬~4半旬(早) 丹波 7月第5半旬~6半旬(並) 丹後 7月第6半旬~8月1半旬(並)	(1)7月中旬現在、第3世代幼虫の発生量は山城で発生を認めず(平年比やや少ない)(-)、丹波及び丹後で平年並 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市でやや多く(+)、綾部市で平年並、京丹後市では例年比やや少ない(-) (3)第3世代成虫の発生時期は宇治市で平年比早く、綾部市及び京丹後市では平年並
8月25日(7号)		発生量	山城 並(やや多) 丹波 やや多(やや少) 丹後 やや少(少) 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第1半旬~第2半旬(早) 丹波 9月第1半旬~第2半旬(遅) 丹後 9月第1半旬~第2半旬(やや遅)	(1)8月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波では平年比やや多く(+)、丹後では発生を認めていない(平年比やや少ない)(-) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市・京丹後市で平年並、綾部市で平年比やや多い(+) (3)第2世代成虫の発生時期は、宇治市で平年比早く、綾部市では平年比遅く、京丹後市では平年比やや遅い (4)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている
9月29日(8号)		発生量	山城 やや多(多) 丹波 多(多) 丹後 多(多)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比多く(+)、丹後で平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び京丹後市で平年比やや多く(+)、綾部市で平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
10月20日(9号)		発生量	山城 並 丹波 やや多 丹後 やや多	(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市、綾部市で平年比やや多く(+)、京丹後市で例年比多い(+)

チャノコカクモンハマキ	3月26日(2号)	発生量	山城 並(並) 丹波 並(並) 丹後 やや多(やや多)	(1)令和2年10月の発生量は、山城、丹波で平年並、丹後で平年比多い(+)
	4月21日(3号)	発生量	山城 やや多(並) 丹波 やや多(並) 丹後 やや多(並)	(1)4月中旬現在、発生量は山城、丹波、丹後とも発生を認めていない(平年並)。 (2)4月中旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比多く(+)、綾部市で平年比やや多く(+)、京丹後市で例年比多い(+)
	5月26日(4号)	発生量 次世代幼虫ふ化時期 山城:6月第5~6半旬(早) 丹波:6月第5~6半旬(早) 丹後:6月第6~7月第1半旬(やや早)	山城 やや多(やや多) 丹波 並(並) 丹後 多(並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波、丹後のいずれでも発生を認めていない(平年並)。 (2)前年10月の発生は山城、丹波で平年並、丹後で例年比多い(+) (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや多く(+)、綾部市では平年並、京丹後市では例年比やや多い(+) (4)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市、綾部市で平年比早く、京丹後市で例年比やや早い
	6月23日(5号)	発生量 次世代幼虫ふ化期 山城 7月第6半旬~8月第1半旬(早) 丹波 7月第6半旬~8月第1半旬(早) 丹後 8月第1半旬~2半旬(やや早)	山城 並(並) 丹波 並(やや少) 丹後 やや多(並)	(1)6月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年並、丹後で平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市、綾部市は平年並、京丹後市では例年比やや多い(+) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市、綾部市で平年比早く、京丹後市では例年比やや早い (4)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている
	7月28日(6号)	発生量 第3世代幼虫ふ化期 山城 7月第6半旬~8月1半旬(早) 丹波 7月第6半旬~8月1半旬(早) 丹後 8月第3~4半旬(並)	山城 並(並) 丹波 並(少) 丹後 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、第2世代幼虫の発生量は山城、丹波及び丹後で平年並 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年並、綾部市で平年比やや少なく(-)、京丹後市では例年比やや多い(+) (3)第2世代成虫の発生時期は宇治市及び綾部市で平年比早く、京丹後市では例年並
	8月25日(7号)	発生量 第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第6半旬~10月第1半旬(早) 丹波 10月第1半旬~第2半旬(遅) 丹後 9月第5半旬~第6半旬(早)	山城 やや少(やや少) 丹波 やや多(やや少) 丹後 やや多(やや少)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で発生を認めておらず(平年比少ない(-)、丹波で平年並、丹後で発生を認めていない(平年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市・綾部市・京丹後市とも平年比やや多い(+) (3)第2世代成虫の発生時期は宇治市・京丹後市で平年比早く、綾部市で平年比遅い (4)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている
	9月29日(8号)	発生量	山城 やや少(やや少) 丹波 やや多(やや多) 丹後 やや多(やや少)	(1)9月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波、丹後で平年並 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや多く(+)、綾部市及び京丹後市で平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
クワシロカイガラムシ	4月21日(3号)	発生量	山城 並(やや多) 丹波 多(多) 丹後 並(やや多)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波で平年比多く(+)、丹後で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並と予想されている
	5月26日(4号)	発生量	山城 やや多(多) 丹波 やや多(並) 丹後 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で例年並
	6月23日(5号)	発生量	山城 並(やや多) 丹波 多(やや多) 丹後 並(並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城、丹波で平年並、丹波で平年比多い(+)
	8月25日(7号)	発生量	山城 やや少(並) 丹波 並(少) 丹後 並(やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比やや少なく(-)、丹波・丹後で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている
チャノキイロアザミウマ	5月26日(4号)	発生量	山城 やや多(並) 丹波 並(やや多) 丹後 並	(1)5月中旬現在、発生量は山城ではやや多く(+)、丹波で平年並、丹後で例年並 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多い(-)と予想されている
	6月23日(5号)	発生量	山城 並(やや多) 丹波 やや少(並) 丹後 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波、丹後で例年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている
	7月28日(6号)	発生量	山城 並(多) 丹波 並(並) 丹後 やや少(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は山城及び丹波で平年比やや少なく(-)、丹後では発生を認めていない(平年比少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている
	8月25日(7号)	発生量	山城 並(やや多) 丹波 やや少(少) 丹後 やや少(やや少)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波・丹後では平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている
チャノミドリヒメヨコバイ	5月26日(4号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 やや多(並) 丹後 並	(1)5月中旬現在、発生量は山城で発生を認めず(平年比少ない(-)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で発生を認めず(例年並)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多いと予想されている
	6月23日(5号)	発生量	山城 並(やや多) 丹波 やや多(多) 丹後 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている
	7月28日(6号)	発生量	山城 やや少(少) 丹波 並(多) 丹後 並(少)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波及び丹後で平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている
	8月25日(7号)	発生量	山城 多(多) 丹波 やや多(多) 丹後 並(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年比多く(+)、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で平年並 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量はほぼ平年並と予想されている
その他(注意事項)				

(7) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考	
疫病・褐色腐敗病(果菜類)	5月26日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、トマトおよびナスで発生を認めていない。 (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(+)		
	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、ナスで褐色腐敗病の発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。		
	8月25日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、ナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。		
うどんこ病(果菜類)	5月26日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、ナス、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(+)		
	6月23日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、トマトでの発生量は平年比やや多く(+)、キュウリ、ナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。		
	7月28日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、キュウリで発生を認めず(平年比やや少)(-)、ナスで平年並。 (2)向こう1カ月の気温は平年比高く(-)、降水量はほぼ平年並と予想されている。		
	8月25日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリで認めず(平年並)、ナスでは平年比やや多い(+) (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。		
べと病(キュウリ)	5月26日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(+)		
	(ウリ類)	6月23日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1カ月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	(キュウリ)	7月28日(6号)	発生量 やや少(少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1カ月の気温は平年比高く(-)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	(アブラナ科)	9月29日(8号)	発生量 やや少(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(平年並、例年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(-)	
	(アブラナ科)	10月20日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(キャベツ 平年並、カブ 平年比少)(-)。 (2)向こう1カ月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。	
炭疽病(ウリ類)	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。		
	(キュウリ)	7月28日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年比高く(-)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	(キュウリ)	8月25日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。	
褐斑病(キュウリ)	7月28日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)向こう1カ月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。		
	8月25日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。		
斑点細菌病(キュウリ、トウガラシ)	5月26日(4号)	発生量 多(多)	(1)5月中旬現在の発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1カ月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(+)		
	6月23日(5号)	発生量 並(少)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。		
	7月28日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。		
白斑病(アブラナ科野菜)	9月29日(8号)	発生量 並(やや少)	(1)9月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(-)		
	10月20日(9号)	発生量 並(やや少)	(1)10月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1カ月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。		

菌核病 (キャベツ)	3月26日(2号)	発生量 やや多(やや多)	(1)令和2年11月に発生を認めていない(平年並)。 (2)3月中旬の調査では、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。
	4月21日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている。
	9月29日(8号)	発生量 並(少)	(1)本年4月に発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(-)。
	10月20日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)本年4月に発生を認めていない(平年並)。 (2)10月中旬現在、調査株で発生を認めていない(平年並)が、調査外では発生を認めている(+) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。
白さび病(アブラナ科野菜)	10月20日(9号)	発生量 多(多)	(1)10月中旬現在、ダイコンで発生を認めず(平年並)、カブで平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。
黒腐病・黒斑細菌病 (アブラナ科野菜)	9月29日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツで黒腐病の発生を調査外で認め(例年比多)、ダイコンで黒斑細菌病の発生は認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ない(-)と予想されている。
黒腐病 (キャベツ)	10月20日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。
さび病(ネギ)	4月21日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、小株及び大株で発生を認めていない(平年並、例年並)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている。
	5月26日(4号)	発生量 多(多)	(1)5月中旬現在、発生量は小株で平年比多く、大株で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(+)
アブラムシ類 (アブラナ科野菜、野菜類)	3月26日(2号)	発生量 並(やや多)	(1)3月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。
	4月21日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)4月中旬現在、発生量はトマト(施設)で平年比多く、キャベツでは平年比やや少なく、ネギでは発生を認めなかった(平年比少)。 (2)4月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている。
アブラムシ類とモザイク病	5月26日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量はキュウリ、ナス及びネギで平年比やや少なく(-)、キャベツで平年並。 (2)5月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(-)。
	6月23日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類の発生は、トマトでは認めず(平年並)、キュウリでも認めず(平年比やや少ない(-)、ナスでは平年比少ない(-)。 (2)6月中旬現在、キュウリでのモザイク病の発生は認めていない(平年並)。 (3)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比やや少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。
アブラムシ類 (野菜全般)	8月25日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、キュウリ及びナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)8月第3半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年並。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。
ハダニ類 (チャノホコリダニを含む) (単葉類) (野菜全般)	5月26日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、キュウリ及びナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(-)。
	6月23日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、発生量はキュウリ及びナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。
(野菜全般)	7月28日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、キュウリ、ナスともに発生を認めていない(平年比やや少) (-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。
(野菜全般)	8月25日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリ及びナスで平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。

アザミウマ類 (果菜類)	5月26日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで平年比多く(+)、ナスで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(-)。	
	6月23日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、トマトでの寄生花率及び白ぶくれ果率は例年比やや高く(+)、キュウリ及びナスでの発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	7月28日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリ、ナスともに平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	(野菜全般)	8月25日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリでは認めず(平年並)、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。
ハモグリバエ類 (果菜類)	6月23日(5号)	発生量 やや少(並)	(1)6月中旬現在、発生量はトマトで平年比やや少なく(-)、キュウリで認めず(平年並)、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。	
	(果菜類)	7月28日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量はキュウリで認めず(平年比やや少)(-)、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。
	(果菜類等)	8月25日(7号)	発生量 やや少(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリで発生を認めず(平年比やや少)(-)、ナスでも発生を認めていない(平年比少)(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。
	(野菜全般)	9月29日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在の発生量は、ナスで平年比少なく、キュウリ及びカブで認めていない(キュウリ:平年比やや少ない、カブ:平年並)(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
コナガ (アブラナ科野菜)	3月26日(2号)	発生量 多(多)	(1)3月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されている。	
	4月21日(3号)	発生量 やや多(多)	(1)4月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年並、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (3)予察灯60Wへの誘殺数は京田辺市及び亀岡市で誘殺を認めず(平年並)、京丹後市で平年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている。	
	5月26日(4号)	発生量 並	(1)5月中旬現在、キャベツで発生を認めていない(平年比やや少ない)(-)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で例年並、亀岡市で平年比少なく(-)、京丹後市で平年並。 (3)予察灯60Wへの誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(-)。	
	8月25日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は京田辺市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年並。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で例年並、亀岡市で平年比少なく(-)、京丹後市で平年並。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在の発生量は、キャベツで例年並、ダイコン及びカブで発生を認めていない(平年並)。 (2)9月第4半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は京田辺市及び京丹後市で平年並、亀岡市で平年比やや多い(+) (3)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で誘殺を認めず(例年並)、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)	
	10月20日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在、キャベツで発生を認めず(平年比やや少)(-)、ダイコンで平年比やや多く(+)、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)10月第2半旬現在の予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市では平年比やや多い(+) (3)10月第2半旬現在のフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市では平年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。	
	(野菜全般)	7月28日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく(-)、亀岡市および京丹後市で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。
ハスモンヨトウ (野菜全般)	8月25日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、黒大豆での発生量は平年並。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市および亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。	
	9月29日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、野菜での発生量はキュウリ、ナス、キャベツ、ダイコンのいずれも発生を認めていない(平年並(例年並))。 (2)9月中旬現在、豆類での発生量は黒大豆でやや多く(+)、アズキで平年並。 (3)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比やや少なく(-)、亀岡市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)	

タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ]	9月29日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、アズキでのオオタバコガの発生は、平年並。 (2)9月第4半旬現在、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (3)9月第4半旬現在、タバコガのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年並。亀岡市で平年比やや少なく、京丹後市で平年比少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
ハイマダラノメイガ[ダイコンシクイムシ](アブラナ科野菜)	9月29日(8号)	発生量 やや多(多)	(1)9月中旬現在、ダイコンで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
シロオビノメイガ(ホウレンソウ)	8月25日(7号)	発生量 やや多	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市、亀岡市で平年並、京丹後市では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。
	9月29日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月第4半旬現在、予察灯(60W)への誘殺は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
ネギアザミウマ(ネギ)	4月21日(3号)	発生量 やや少(少)	(1)4月中旬現在、発生量は小株で平年並、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温及び降水量は平年並、日照時間は多いと予想されている。
	5月26日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)が、全てのほ場で被害を認めている。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている(-)
ネギアザミウマとえそ条斑病(ネギ)	6月23日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在、ネギアザミウマの発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)6月中旬現在、えそ条斑病の発生量は平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。
ネギアザミウマ(ネギ)	7月28日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在の発生量は小株で平年並、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想されている。
	8月25日(7号)	発生量 並(やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は、小株では平年並、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。
	9月29日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、発生量は小株で平年比やや少なく、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
	10月20日(9号)	発生量 やや多(多)	(1)10月中旬現在の発生量は、小株で平年比やや多く(+)、大株で例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。
ネギハモグリバエ(ネギ)	4月21日(3号)	発生量 やや少(並)	(1)4月中旬現在、発生量は小株で発生を認めず(平年比やや少)、大株で例年並(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている。
	5月26日(4号)	発生量 やや少(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並で、降水量は多く、日照時間は少ないと予想されている。
	6月23日(5号)	発生量 少(やや少)	(1)6月中旬現在の発生量は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並と予想されている。
	7月28日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(小株は平年比やや少、大株は例年比少)(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量はほぼ平年並と予想されている。
	8月25日(7号)	発生量 少(やや少)	(1)8月中旬現在の発生量は、小株で発生を認めず(平年比少)(-)、大株でも発生を認めていない(例年比少)(-)。 (2)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想されている。
	9月29日(8号)	発生量 やや少(やや多)	(1)9月中旬現在、発生量は小株で平年比少なく、大株で例年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想されている(+)
	10月20日(9号)	発生量 やや少(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、小株で平年比少なく、大株で例年比少ない(-)。 (2)10月中旬現在、府内で中発ほ場を複数確認している(+) (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されている。

シロイチモジヨ トウ(ネギ)	7月28日(6号)	発生量 多(やや多)	(1)7月中旬現在の発生量は、平年比やや多い(+) (2)7月第4半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平均 比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並と予想 されている。
	8月25日(7号)	発生量 多(やや多)	(1)8月中旬現在の幼虫発生量は、小株で平年並、大株で発生を認め ている。 (2)8月中旬現在の被害量は、被害株率、被害発生ほ場率とも平年比 多い(+) (3)8月第3半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平均 値多い(+) (4)向こう1か月の気温はほぼ平年並、降水量もほぼ平年並と予想され ている。
	9月29日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在の発生量は、ネギの小株で平年並、ネギの大株で発 生を認めている。 (2)9月第4半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平均 並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年並か少ないと予想 されている(+)
	10月20日(9 号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、ネギの小株でやや多く(+)、大株で発 生を認めている。 (2)10月第2半旬現在、京田辺市のフェロモントラップへの誘殺数は平 均並。 (3)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並か多いと予想されて いる。
その他 (注意事項)			

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温降水量日照時間
第1号	3月	2月26日	2月25日	平年比高い平年並または多い平年並または少ない
第2号	4月	3月26日	3月25日	平年比高い平年並平年並
第3号	5月	4月21日	4月15日	平年並平年並平年比多い
第4号	6月	5月26日	5月20日	平年並平年比多い平年比少ない
第5号	7月	6月23日	6月17日	平年並か低い平年並平年並
第6号	8月	7月28日	7月22日	平年比高い平年並平年並または多い
第7号	9月	8月25日	8月19日	平年並平年並平年並または少ない
第8号	10月	9月29日	9月23日	平年比高い平年並または少ない平年並または多い
第9号	11月	10月20日	10月14日	平年並平年並または多い平年並または少ない

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3. 対象病害虫の発生状況

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	1431ha	葉いもち	平年:並 前年:並	平年:多 前年:やや多	7753ha	ブラスタムでは7月上旬に府内の広い地域で感染好適条件日を記録した。8月中旬の巡回調査では、発生量は府内全域で多かった。全体では平年比多い発生であった。	6月中旬から7月下旬にかけて曇りや雨の日が多く、中干しができないほ場が多く見られた。また、梅雨明け後は8月中旬以降断続的に降雨が続き、日照時間も短かったことからイネが軟弱な生育状態となって発生を助長したと思われる。	長期持続型箱施用剤による予防防除を行っている地域が多い。
		穂いもち	平年:並 前年:並	平年:多 前年:やや多	4620ha	8月に南丹地域で平年比やや多く丹後地域で平年比多い発生となり、府全体では多い発生となった。9月には南丹地域で平年比多く丹後地域で平年比やや多く府内全域では平年比多い発生となった。全体的には平年比多い発生となった。	梅雨明け後は8月中旬以降断続的に降雨が続き、低温傾向が続いた上に日照時間も短かったことから、出穂期前後に感染好適条件となるほ場が多かったと思われる。	出穂期前後の防除を行っている。
		紋枯病	平年:早 前年:早	平年:並 前年:やや少	4111ha	7月から府内全域で発生を認め、山城、南丹及び中丹地域では平年並、丹後地域では平年比やや多い発生となった。府内全体では平年並の発生となった。	梅雨期間に降雨が続いたため中干しができていないほ場があり、7月中旬から8月上旬の期間に高温が連続する期間があった事から、ほ場条件により発生が助長されたと思われる。	育苗箱施用剤により葉いもちと同時防除を行っている。
		白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった。		実施せず。
		稲こじ病	平年:一 前年:一	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった。		実施せず。
		イネミズゾウムシ	平年:やや早 前年:やや早	平年:並 前年:並	10862ha	予察灯への初飛来は京田辺(5月13日)で平年並、亀岡(5月13日)で平年比遅く、京丹後(5月13日)では平年比やや早かった。予察灯への誘殺数(4月第1半旬～5月第2半旬)は、この期間までいずれの地域でも誘殺を認めなかった(京田辺 平年並、亀岡 平年比少、京丹後 平年比やや少)。本田での発生量は府内全体で平年並、発生面積は平年比やや少なかった。		育苗箱施用による防除を行っている地域が多い。
		ツマグロヨコバイ	平年:早 前年:並	平年:やや少 前年:多	3692ha	越冬世代幼虫の発生時期は平年比早く、虫数は平年並であった。本田では、6月に中丹地域で発生を認め、7月には府内全域で発生を認めたが、全体的に平年比やや少ない発生で推移した。	越冬密度は平年並であった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ヒトビユウカ	平年:やや早 前年:やや遅	平年:やや少 前年:並	8982ha	6月から中丹及び丹後で発生を認め、8月には府内全域で発生を確認した。	越冬密度は平年比少なかった。4月の平均気温は平年比低く、5月の平均気温は平年比高く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		セジロユウカ	平年:前年:やや遅	平年:やや少 前年:少	7628ha	予察灯への初飛来は、京田辺(7月9日)で平年比やや早く、亀岡(7月2日)で平年比早く、京丹後(7月8日)で平年比遅かった。本田では7月から府内全域で発生を認め、全体的に平年比やや少ない発生で推移した。	飛来量は平年並であった。7月の平均気温は平年比高かったが、8月中旬から下旬までの平均気温は平年比低く推移した。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		トビロユウカ	平年:前年:遅	平年:並 前年:少	0ha	予察灯への初飛来は京丹後で8月26日、京田辺及び亀岡での誘殺はなかった。本田での発生は未確認。	8月下旬までの予察灯への飛来数は平年並。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ニカメイガ	平年:一 前年:一	平年:並 前年:並	0ha	本田での発生は未確認。	近年発生ほ場が増加傾向にあり、出穂後に農薬散布を行なわない飼料米では発生することがある。	常発地では本田防除を実施。
		イチモンジセセリ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	985ha	6月には発生を認めず、7月には平年並の発生となった。		常発地では本田防除を実施。
		コブノメイガ	平年:並 前年:遅	平年:並 前年:少	577ha	8月に山城地域の一部で発生を認めた。	7月中旬以降に飛来があったと考えられる。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。
斑点米カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	9235ha	本田での発生は、地域により差が大きい。全体的には平年並の発生に推移した。畦畔雑草での発生は、6月は平年比やや少ない発生となり、7月は平年並であったが、8月には平年比少ない発生となった。予察灯(60W)へのアカスジカメムシの誘殺数はほぼ平年並、アカヒゲホソドリカメムシの誘殺数もほぼ平年並であった。優占種は、トゲシラホシカメムシ、シラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカメムシ、アカヒゲホソドリカメムシ、ミナミアオカメムシ及びイネカメムシであった。近年はイネカメムシの発生が目立つ。	カメムシ類増加の要因として、水田内外の雑草管理の不足、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草地)の増加、地域一斉防除の減少等が考えられる。イネカメムシの発生が増加している原因については不明。	出穂期前後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除(出穂期と傾穂期の2回)を行っている。		
麦	247ha	うどんこ病	平年:一 前年:一	平年:一 前年:一	0ha	4月の二条大麦及び小麦の調査で発生を認めず、5月の小麦の調査でも発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	赤かび病と同時防除を実施している。
		赤かび病	平年:一 前年:一	平年:並 前年:やや少	0ha	4月及び5月の、二条大麦及び小麦の調査では発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布は、二条大麦では約穀抽し出期およびその1週間後の2回、小麦では開花期およびその1週間後の2回実施。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
大豆(黒)	302ha	アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:多	227ha	7~9月の調査では、いずれも平年並の発生であった。本年の誘殺数は、7、8月に平年並であったが、9月は平年比やや多かった。	8月の多雨で発生が抑制されたと考えられる。高温、小雨の時期は増殖するが、薬剤防除で抑えられたと考えられる。	播種時の殺虫剤浸漬処理及び定植時粒剤施用。ほ場では、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類との同時防除に対応。
		ハスモンヨトウ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	302ha	7~8月の調査では、いずれも平年並の発生で推移したが、9月に平年比多い発生を認めた(発生ほ場率62.5%)。フェロモントラップでの誘殺数は、平年並から平年比やや少く推移した。	夏季の高温。	開花期以降の薬剤散布(3回)。
		吸蜜性カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	114ha	7月の調査では発生を認めず、8月の調査では、平年比やや少く、9月の調査ではやや多い発生であった。全体的には平年並の発生であった。	夏季の高温・少雨。	開花期以降の薬剤散布(3回)。アブラムシ類、ハスモンヨトウとの同時防除に対応。
カンキツ	46ha	そうか病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや少	31ha	4~6月の調査では、平年比多い発生であった。7~9月は発生を認めず、平年並の発生であった。	昨年も発生を認めており、感染源があったことと多雨により発生したと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		黒点病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	6~9月の調査では、発生を認めなかった。過去10年間、発生を認めていない。	例年発生しておらず、病原菌の密度が低い。	定期的な薬剤散布。
		かいよう病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	4~9月の調査では、発生を認めなかった。過去10年間、発生を認めていない。	例年発生しておらず、病原菌の密度が低い。	定期的な薬剤散布。
		ミカンハダニ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	31ha	4~9月の調査のうち、6月と8月は発生を認めず(平年比少ない)、それ以外は平年並みの発生であった。全体的には平年並の発生となった。	8月の多雨で発生が抑制されたと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	例年:並 前年:並	31ha	5~6月のうち、8月のみ発生を認めず、それ以外の月で例年並の発生を認めた(発生ほ場率33~67%)。	8月の多雨で発生が抑制されたと考えられる。	定期的な薬剤散布。
ナシ	75ha	黒斑病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	75ha	丹後地域の「二十世紀」栽培ほ場で、5~7月に平年比やや多い発生となり、8月は平年並、9月は平年比多い発生、10月は平年比やや少ない発生であった(発生ほ場率:80~100%)。全体的には平年比やや多い発生であった。	8月の多雨で発生が多くなったと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		黒星病	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや多	75ha	丹後、山城地域の「赤ナシ系統」栽培ほ場では、5、6月に平年並の発生(発生ほ場率:20、40%)、7~10月は平年比多い発生(発生ほ場率:40~100%)を認めた。全体的には平年比多い発生となった。	8月の多雨で発生が多くなったと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		ハマキムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	5~8月の巡回調査では、発生を認めなかった(例年並~例年比やや少ない)。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	48ha	7月(発生ほ場率9.1%)及び10月(同63.6%)に発生を認めた。全体的には平年並の発生であった。	薬剤防除で発生が抑えられたと考えられる。	薬剤のローテーション防除。
		カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	25ha	チャバネアオカメムシの越冬量は京都市及び南丹地域は平年並、丹後地域は平年比やや多かった。果樹園でのカメムシ被害見取り調査では、5月に果実被害を認めた(平年比多)。チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、8月下旬以降に京田辺市及び亀岡市で平年比やや多く、京丹後市で平年比多くなった。クサギカメムシの誘殺数は8月下旬以降に京田辺市及び亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多くなった。これら誘殺状況から、9月29日付けで防除所ニュースを発表した。全体的には平年比やや多い発生であった。	8月下旬以降予察灯(BL)への飛来が増加したのは、スギ、ヒノキの穂果が餌として不適となり、餌を求めて飛翔したため、また夜温が平年より高く推移したためと考えられる。	薬剤散布。袋掛け。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	48ha	5月に少発生し、6月以降は発生を認めなかった。発生ほ場率は5月:64%であった。	5月に初期防除が遅れた園で少発生となったが、7月以降は夏季の高温により発生が抑制されたと考えられる。	薬剤散布。
		シンクイムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	6~8月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。	強化袋を用いた袋掛けにより、果実への食害が抑えられている。	薬剤散布。袋掛け。
ブドウ	83ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	83ha	5月に発生を認め(発生ほ場率18%)、7月以降は平年比やや少~平年並の発生であった。全体的に平年並の発生であった。	7月以降高温で発生が抑制された。	薬剤散布。雨除け。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:- 前年:並	0ha	5、6月の巡回調査で発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。雨除け。
カキ	204ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	136ha	5~9月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)が、10月調査では平年比多い発生(発生ほ場率66.7%)であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		カキノヘタムシガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	8~10月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		カイガラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	5~10月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	68ha	7月の調査のみ被害果を認め(発生ほ場率:33%)やや多い発生であった。6、8~10月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。越冬量調査、予察灯の誘殺数の状況は、ナシのカメムシ類の項参照。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	204ha	7月に平年比やや多の発生(発生ほ場率:100%)であったが、9月に平年並、8月に平年比やや少、10月に平年比少の発生であった。全体的には平年並の発生であった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		カキクダアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	5~10月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
チャ	1566ha	炭疽病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	868ha	4月の巡回調査では京都府南部の一部で発生を認めなかった(平年並)が、5月は発生を認めなかった(平年比少)。6月～10月は平年比少ない～やや多い発生であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		もち病	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや多	368ha	4月～8月(6月を除く)の巡回調査では発生を認めず(平年並)。6月は平年比多く、9月、10月は平年比やや多い発生であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	4月～8月、10月の巡回調査では、発生を認めず(平年並)。9月は京都府南部の一部で発生を認めた(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノコカクモンハマキ	平年:早 前年:早	平年:少 前年:やや少	381ha	4月、5月の巡回調査では発生を認めず(平年並)。6月～10月は平年比少ない～並で発生を認めた。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノホソガ	平年:早 前年:並	平年:並 前年:並	649ha	4月、5月の巡回調査では、京都府の一部地域で発生を認めた(平年並)。6月～10月は平年比やや少ない～多いで発生を認めた。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		カンザワハダニ	平年:- 前年:-	平年:少 前年:並	563ha	4月、5月の巡回調査では、京都府中部の一部を除き発生を認めた(平年並～多い)。6月～10月は、平年比少ない～やや多いで発生を認めた。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		チャノミドリヒメヨコバイ	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや多	1566ha	4月の巡回調査では京都府南部の一部で発生を認め(例年比多い)、5月は京都府中部の一部で発生を認めた(平年比やや多い)。6月～10月は、平年比少ない～多いで発生を認めた。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	1473ha	4月の巡回調査で京都府南部の一部で発生を認めた(例年比やや少ない)。5月～10月は、平年比少ない～多いで発生を認めた。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		クワシロカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:多	1034ha	4月～6月の巡回調査では、平年比並～多い発生を認めた。7月～10月では、平年比少ない～やや多いで発生を認めた。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
冬春トマト	26ha	疫病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生を認めた時に薬剤散布。
		葉かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	発生を認めた時に薬剤散布。 抵抗性品種の導入。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:多	5ha	6月に発生を認めた(平年比やや多い)。	5月中下旬の多雨で発病が抑制されたと考えられる。	発生を認めた時に薬剤散布。
		アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	10ha	5月、6月に寄生花及び白ぶくれ果(発生ほ場率:40%)の発生を認め、全体を通しては例年比やや多かった。	6月の晴天による高温で発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		コナジラミ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	5ha	4月及び6月に少発した(発生ほ場率25%)。	5月、6月の晴天による高温で発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	13ha	4月に少発した(発生ほ場率50%)。		定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
		ハスモンヨトウ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	ほ場の見取り調査では、発生を認めなかった。当所のフェロモントラップでの4～6月の誘殺数は、5月下旬に多く推移した。		発生を認めた時に薬剤散布。 防虫ネット(ハウス)。
ナス(夏秋)	178ha	うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:多	178ha	平年比やや多く推移した。発生ほ場率:5月0.0%、6月0.0%、7月14.3%、8月57.1%、9月71.4%、10月85.7%。	8月上中旬の低温により発生が多くなったと考えられる。	薬剤に対する感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:少	153ha	5月、6月はやや少なく、その後は平年並に推移した(発生ほ場率:5月71.4%、6月42.9%、7月0.0%、8月0.0%、9月14.3%、10月14.3%)。		定植時の粒剤施用。 薬剤散布。 ソルゴー障壁の導入。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	178ha	平年比やや多く推移した(発生ほ場率:5月0%、6月14.3%、7月0.0%、8月71.4%、9月42.9%、10月28.6%)。種類はカンザワハダニが中心で、ほ場によってはナミハダニが混発した。	5月、6月、8月、9月の高温少雨で発生が増加したと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。 感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	153ha	平年比やや少なくて推移した(発生ほ場率:5月28.6%、6月42.9%、7月100%、8月100%、9月71.4%、10月71.4%)。	適正な防除により発生が抑制されたと考えられる。	定植時における粒剤施用。 薬剤散布。
		ハスモンヨトウ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	0ha	9月に発生を認めなかった(発生ほ場率:9月0.0%、10月0.0%)。当所のフェロモントラップでの4～10月の誘殺数は、平年比やや少なくて推移した。	8月の多雨で発生が抑制されたと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。
		コナジラミ類	平年:- 前年:-	平年:多 前年:並	178ha	5月は発生を認めず、6月以降多発傾向に推移した(発生ほ場率:5月0%、6月42.9%、7月57.1%、8月71.4%、9月71.4%、10月71.4%)。	夏季の高温で発生が増加したと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
キュウリ (夏秋)	119ha	べと病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	72ha	6月に多発した(発生ほ場率：5月0%、6月66.7%、7月60.0%、8月0%)。	5月中下旬の多雨により6月の発病が助長されたと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		炭そ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	発生を認めなかった(平年並)		発生初期からの薬剤散布。
		うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)		発生初期からの薬剤散布。 抵抗性品種の利用
		褐斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	72ha	7月に多発した(発生ほ場率：5・6・8月0%、7月60.0%)。	7月の多雨により発病が助長されたと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		斑点細菌病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	40ha	5月にやや多発した(発生ほ場率：5月33.3%、6～8月0%)	4月5月の多雨により発病が助長されたと考えられる。	
		モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)	8月中旬までのアブラムシの発生は平年並で、本病も平年並となったと考えられる。	定植時の粒剤施用。 一部ほ場では弱毒ウイルス接種苗を利用。
		灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)		発生初期からの薬剤散布。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	48ha	7月に多発し、全体的には平年比やや多かった(発生ほ場率：5月100.0%、6月0.0%、7月40.0%、8月0%)。	6月中下旬の少雨で発生が増加したと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	48ha	6、8月に多発し、全体的にはやや多発(発生ほ場率：5月0%、6月33.3%、7月0%、8月50.0%)。	高温少雨により発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	71ha	5月に多発し、6月以降はやや少～並発した(発生ほ場率：5・6・7月100.0%、8月0%)。	5月上旬の少雨により発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
ダイコン	259ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：多	173ha	9・10月の発生はやや少なかったが、11月にやや多発した(発生ほ場率：9月25.0%、10月0%、11月66.7%)。	薬剤の効果で発生が抑制されたと考えられる。	は種時の粒剤使用。 発生初期の薬剤防除。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	86ha	9月の調査では発生を認めなかったが、10・11月はやや多発した(発生ほ場率：9月0%、10月25.0%、11月33.3%)。 当所のフェロモントラップでの誘殺数は平年比やや少なく推移した。		発生初期の薬剤防除。
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	130ha	10月の調査で多発し、平年比やや多く推移した(発生ほ場率：9月0%、10月50.0%、11月0%)。 当所のトラップの誘殺数は、フェロモントラップは平年比やや少なく、予察灯は平年並に推移した。		発生初期の薬剤防除。
		ハイマダラメイガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	130ha	10月の調査で発生を認め、平年並に推移した(発生ほ場率9月0%、10月50.0%、11月0%)。		発生初期の薬剤防除。
キャベツ (春)	136ha	菌核病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4、5月の調査では、発生を認めなかった(平年並)		発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4、5月の調査では、発生を認めなかった(平年並)		発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	4、5月の調査では、発生を認めなかった(平年並)		他害虫との同時防除。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	94ha	4月は少なく、5月は平年並の発生であった(発生ほ場率：4月25.0%、5月66.7%)。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	35ha	4月に発生を認めた(発生ほ場率：4月25.0%、5月0.0%)。 当所の春季のトラップ誘殺数は、フェロモントラップで平年比やや少なく、予察灯で平年並に推移した。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	47ha	4、5月に発生を認めた(発生ほ場率：4月25.0%、5月33.3%)		発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
キャベツ (冬)	98ha	菌核病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	16ha	調査では発生を認めなかったが10月に調査外で発生を認めた(平年並)(発生ほ場率：9月0%、10月14.3%、11月0%)。		発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	59ha	平年比やや多い発生であった(発生ほ場率：9月16.7%、10月50.0%、11月60.0%)。		発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	16ha	平年比やや少ない発生であった(発生ほ場率：9月0%、10月16.7%、11月0%)。		他害虫との同時防除。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	59ha	平年比やや少ない発生であった(発生ほ場率：9月0%、10月16.7%、11月0%)。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	16ha	平年比やや少ない発生であった(発生ほ場率：9月16.7%、10月0%、11月0%)。		定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	16ha	平年比やや多い発生であった(発生ほ場率：9月16.7%、10月0%、11月0%)。		発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
ネギ (夏)	62ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	23ha	5月～7月の調査で発生を認めた(発生ほ場率：5月小株40.0%、大株33.3%、6月小株25.0%、大株37.5%、7月小株16.7%、大株0%)。 ※ 小株：葉長40cm未満のネギ、大株：葉長40cm以上のネギ	5月の多雨が発生を助長したと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	10ha	5、9月の大株の調査で発生を認めた(発生ほ場率：5月16.7%、9月16.7%)。		発生初期の薬剤防除。
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	18ha	4、7月の大株の調査で発生を認めた(発生ほ場率：4月25.0%、7月28.6%)。	3、4月の多雨が発生を助長したと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	50ha	5月～8月の調査で発生を認めた(発生ほ場率：5月小株0%、大株33.3%、6月小株75.0%、大株87.5%、7月小株50.0%、大株83.3%、8月小株33.3%、大株37.5%)。	本病を媒介するネギアザミウマの発生がやや少なかった。	媒介虫であるネギアザミウマの防除。春期の伝染源と考えられるタマネギでのネギアザミウマの防除の徹底。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	8ha	小株の6、9月調査で発生を認めた(発生ほ場率：6月12.5%、9月14.3%)。		発生初期の薬剤防除。
		シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	30ha	7月～9月の調査で発生を認めた(発生ほ場率：7月小株16.7%、大株28.6%、8月小株33.3%、大株62.5%、9月小株14.3%、大株33.3%)。 当所のフェロモントラップへの誘殺数は平均並に推移した。	近年の多発傾向が続いており、感受性の低い薬剤の影響、9月以降の高温が発生を助長していると考えられる。	発生初期の薬剤防除。一部地域では、地区単位で交信かく乱剤、黄色LED光源による防除が行われている。
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	17ha	6、9月の調査で発生を認めた(発生ほ場率：6月小株25.0%、大株0%、9月小株14.3%、大株0%)。	効果の高い薬剤が使用されていると考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	62ha	やや少ない発生で推移した(発生ほ場率：4月小株57.1%、大株62.5%、5～7月100.0%、8月小株83.3%、大株100%、9月小株71.4%、大株83.3%)。	効果の高い薬剤が使用されていると考えられる。	発生初期の薬剤防除(産雄性系統が優先している場合は防除効果の高い薬剤を選択)。
ネギ(秋冬)	187ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	0ha	11月に大株で多発した(発生ほ場率：10月、小株0%、大株0%、11月、小株0%、大株16.7%)。		
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10、11月に発生を認めなかった。		
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10、11月に発生を認めなかった。		
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	0ha	10、11月に発生を認めなかった。		
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	0ha	11月に多発した(発生ほ場率：10月小株0%、11月小株20.0%)。		
		シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	53ha	10月にやや多発した(発生ほ場率：10月小株14.3%、大株42.9%、11月小株0%、大株50.0%)。		
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	40ha	少発であった(発生ほ場率：10月小株28.6%、大株14.3%、11月小株20.0%、大株0%)。		
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	174ha	10月にやや多発した(発生ほ場率：10月小株100%、大株85.7%、11月小株40.0%、大株50.0%)。		
ホウレンソウ	334ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	221ha	平年並の発生であった(発生ほ場率：10月20.0%、11月33.3%)。		
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった。		

## Ⅱ 重要病害虫侵入警戒調査等の実施

### (Ⅰ) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府では、チチュウカイミバエ及び火傷病を対象に実施。

#### 1 事業実施地区の概況

調査対象 病 害 虫	市 町 村	主要 寄 生 植 物 の 栽 培 状 況 (ha)							
		カンキツ	ナシ	ブドウ	カキ	ナス	トマト	キュウリ	計
チチュウカ イミバエ	亀岡市					5	9	4	18
	宮津市	8				6	6	6	26
	京丹後市		71	22		15	24	13	145
火傷病	京丹後市		71						71

#### 2 実施状況及び結果

項 目	調 査 概 要	調 査 結 果
チチュウカ イミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査ナシ園3か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

### (Ⅱ) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメにおいて、国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)によるウメ輪紋病の発生が確認された。

本ウイルスはアブラムシ類が媒介し、サクラ属のウメ、モモ、スモモ等の果樹が感染、発病する。発病樹は葉や花卉、外果皮に斑紋が現れるとともに、早期落果により収穫量が減少する。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するため、全国調査が実施された。

平成21年以降も毎年、全国的な調査が行われており、本府においてもウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

#### 1 全国調査

- 1) 調査対象植物      ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域      令和3年5月26日：福知山市、綾部市、舞鶴市  
令和3年5月27日：城陽市
- 3) 調査及び検定体制      調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所

- 4) 調査方法 ①調査園及び周辺園を見取り調査。  
②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。
- 5) 調査結果 ①発病を認めなかった。  
②LAMP法による検定で、全て陰性であった。

種 類	調査地域数	調査園数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウ メ	9	9	225	0
モ モ	1	1	25	0
合 計	10	10	250	0

### (Ⅲ) キウイフルーツかいよう病発生状況調査

平成26年5月に、国内の複数のキウイフルーツ生産県において、かいよう症状を呈した発病樹から国内で発生報告がなかったキウイフルーツかいよう病菌の新系統（Psa3）が確認された。本系統の発病樹は、花蕾の褐変、腐敗や枝幹の枯死等の収穫量の減少に直結する被害をもたらし、国内のキウイフルーツ産業への影響が危惧されている。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するために緊急全国調査が実施され、本府においても調査を行った。

#### 1 全国調査

- 1) 調査対象植物 キウイフルーツ
- 2) 調査日時・地域 令和3年5月26日：宮津市 2園  
平成3年5月28日：亀岡市 1園
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府
- 4) 調査方法 調査園を見取り調査。
- 5) 調査結果 発病を認めなかった。

### Ⅲ 調査・試験の結果

単年度試験研究成績 (2022年3月作成)

近畿中国四国農業>病害虫> >虫害>IV-1-e

---

課 題 名 : 新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

(1) バイオタイプBの発生実態の解明

ア 季節的発生推移

担当部署名 : 京都農技セ・農林セ・環境部

担 当 者 名 : 中島優介・岩川秀行・浅井信一・山村 和

協 力 分 担 : 生資C、農研機構野菜花き研究部門、同東北農業研究センター

予算(期間) : 消費・安全対策交付金 (令和2~3年度)

---

#### 1. 目的

ネギハモグリバエバイオタイプBに対する防除体系を構築するため、バイオタイプBの京都府内における発生実態を明らかにすることを目的に、現地ほ場での季節的発生推移を複数年(2020年~2021年)にわたって現地調査し、明らかにした。

#### 2. 方法

- (1) 調査地点 : 京都市伏見区竹田および淀、八幡市岩田、現地ネギ栽培ほ場
- (2) 調査期間 : 2020年4月(竹田については7月)~2021年12月までの期間中1~2週間間隔
- (3) 調査株数 : 25株/ほ場、全葉調査。
- (4) 調査項目 : ネギハモグリバエの被害程度(発生予察巡回調査基準による)、バイオタイプ
- (5) 調査方法 : 各ネギほ場でネギをランダムに25株選択し、ネギハモグリバエによる被害程度を調査した。調査株にネギハモグリバエの生存幼虫がいれば、1株あたり1葉を持ち帰り、アイスクリームカップ(250ml)に入れ、25°C15L9Dの長日条件の実験室内で飼育して羽化させて、mtCOI領域の塩基配列の違いによりバイオタイプを判別した。

#### 3. 結果の概要

- (1) 京都市伏見区淀では、2020年には5月下旬、6月上旬及び9月上中旬に被害を認め、被害株率は4~16%となり、2021年には4月中旬及び10月上中旬に被害を認め、被害株率は4~8%であった。  
八幡市岩田では、2020年には5月下旬及び9月中旬に被害を認め、被害株率は4~8%となり、2021年には10月下旬に4%の被害株率であった。  
京都市伏見区竹田では、2020年には7月から9月の間、被害株率が80%以上に推移した。2021年には6月から7月は被害株率が4~24%で推移し、7月から9月の間の被害株率は最大で100%となった(以上、図1)。
- (2) 京都市伏見区竹田においては5月と8月および10月にバイオタイプB(以下B)がバイオタイプA(以下A)よりも多く採集された。4月から7月および10月にAの発生を確認し、4月、5月下旬、6月及び7月においてはAのみの発生を確認した(以上、図2)。京都市伏見区淀では5月に2回Aのみの発生、八幡市岩田では5月に1回Bのみの発生を確認した(データ省略)。
- (3) 以上のことから、京都市伏見区淀の2020年及び2021年、八幡市岩田の2020年、京都市伏見区竹田の2021年において4~6月の春頃、及び9月~10月の秋頃に被害株率が上昇する傾向がみられた。

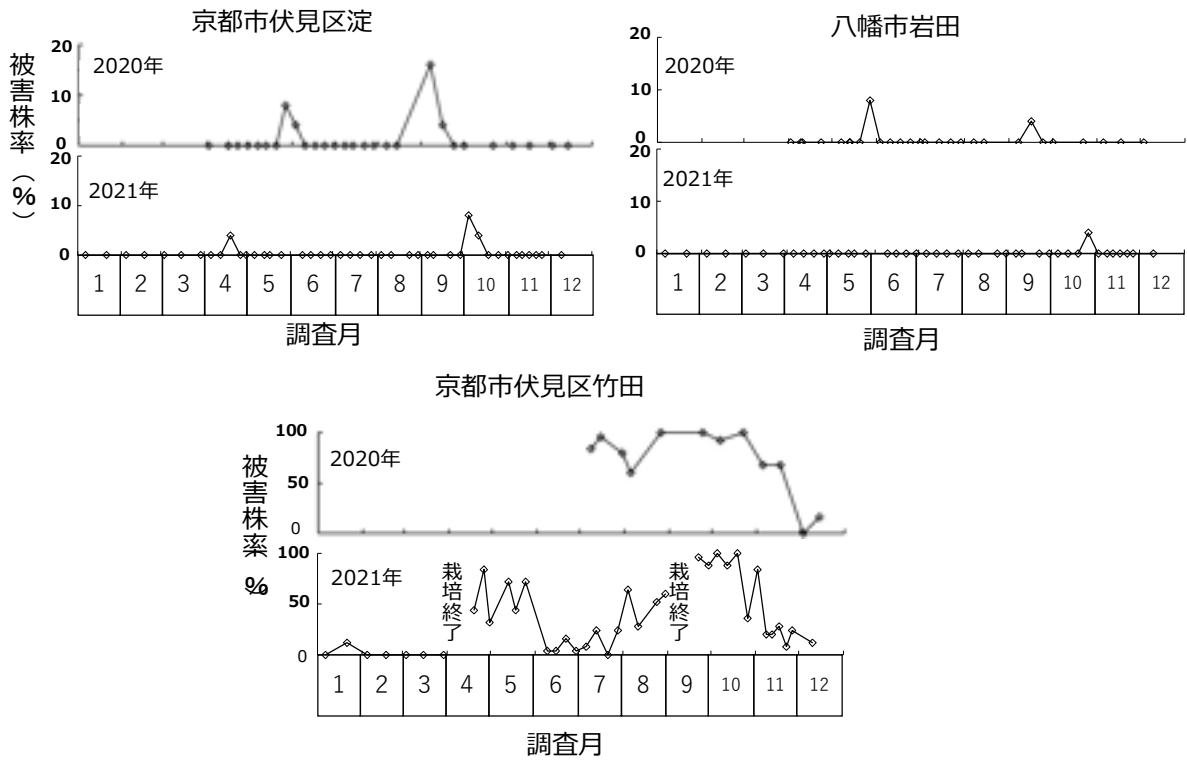


図1 京都府のネギにおけるネギハモグリバエ被害株率の季節的推移

※1 調査地点は八幡市岩田、京都市伏見区淀及び竹田の3地点

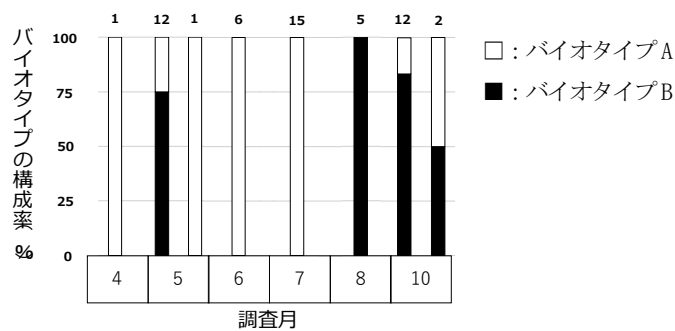


図2 ネギハモグリバエのバイオタイプの構成率

※1 2020年に京都市伏見区竹田で採集

※2 グラフ上部の数字は判別した虫体サンプル数を示す

#### 4. 結果の要約

ネギハモグリバエの被害株率は、京都市伏見区淀の2020年及び2021年、八幡市岩田の2020年、京都市伏見区竹田の2021年において、4～6月の春頃、及び9月～10月の秋頃に被害株率が上昇する傾向がみられた。京都市伏見区竹田では2020年の5月と8月および10月にバイオタイプBの発生を確認した。

[キーワード] ネギハモグリバエ、バイオタイプ、被害株率、季節的発生推移、発生生態

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

可能な範囲で、薬剤散布歴等の聞き取りを行い、季節的発生推移との関係を調査する。

#### 6. 結果の発表、活用等（予定を含む）

(1) 令和3年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 病害虫部会 問題別研究会  
中島優介・浦入千宗・上杉龍士・徳丸晋虫

---

課 題 名：新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

(1) バイオタイプBの発生実態の解明

イ 地理的分布

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担 当 者 名：中島優介・岩川秀行・浅井信一・山村 和

協 力 分 担：生資C、農研機構野菜花き研究部門、同東北農業研究センター

予算(期間)：消費・安全対策交付金 (令和2~3年度)

---

1. 目的

ネギハモグリバエバイオタイプBに対する防除体系を構築するため、バイオタイプBの京都府内における発生実態を明らかにすることを目的に、各バイオタイプの地理的分布について、2020年~2021年に調査を行うことにより明らかにした。

2. 方法

- (1) 調査場所：府内全域の現地ネギほ場
- (2) 調査ほ場数：丹後、丹波および山城地域でそれぞれ5~10ほ場程度
- (3) 調査期間：2020年5~11月まで随時採集
- (4) 調査項目：羽化成虫個体の遺伝子解析
- (5) 調査方法：各ネギほ場でネギハモグリバエの生存幼虫がいれば、葉を1~10葉持ち帰り、アイスクリームカップ(250ml)に入れ、25°C15L9Dの長日条件の実験室内で飼育して羽化させて、mtCOI領域の塩基配列の違いによりバイオタイプを判別した。

3. 結果の概要

- (1) バイオタイプA (以下A) の発生は南丹市、亀岡市及び京都市及びの13地点(確認地点率：30%)で確認された(図1)。
- (2) バイオタイプB (以下B) の発生が確認されたほ場は34地点(81%)となり、Bのみを確認したほ場は29地点(69%)であった(図1)。
- (3) AおよびBが同時に発生していたほ場は5地点(12%)であった(図1)。
- (4) Bは京都府北部から南部の広い範囲で発生が確認された。
- (5) 以上のことから、京都府ではBの発生が優占的であり、Aの発生は局所的であることが分かった。

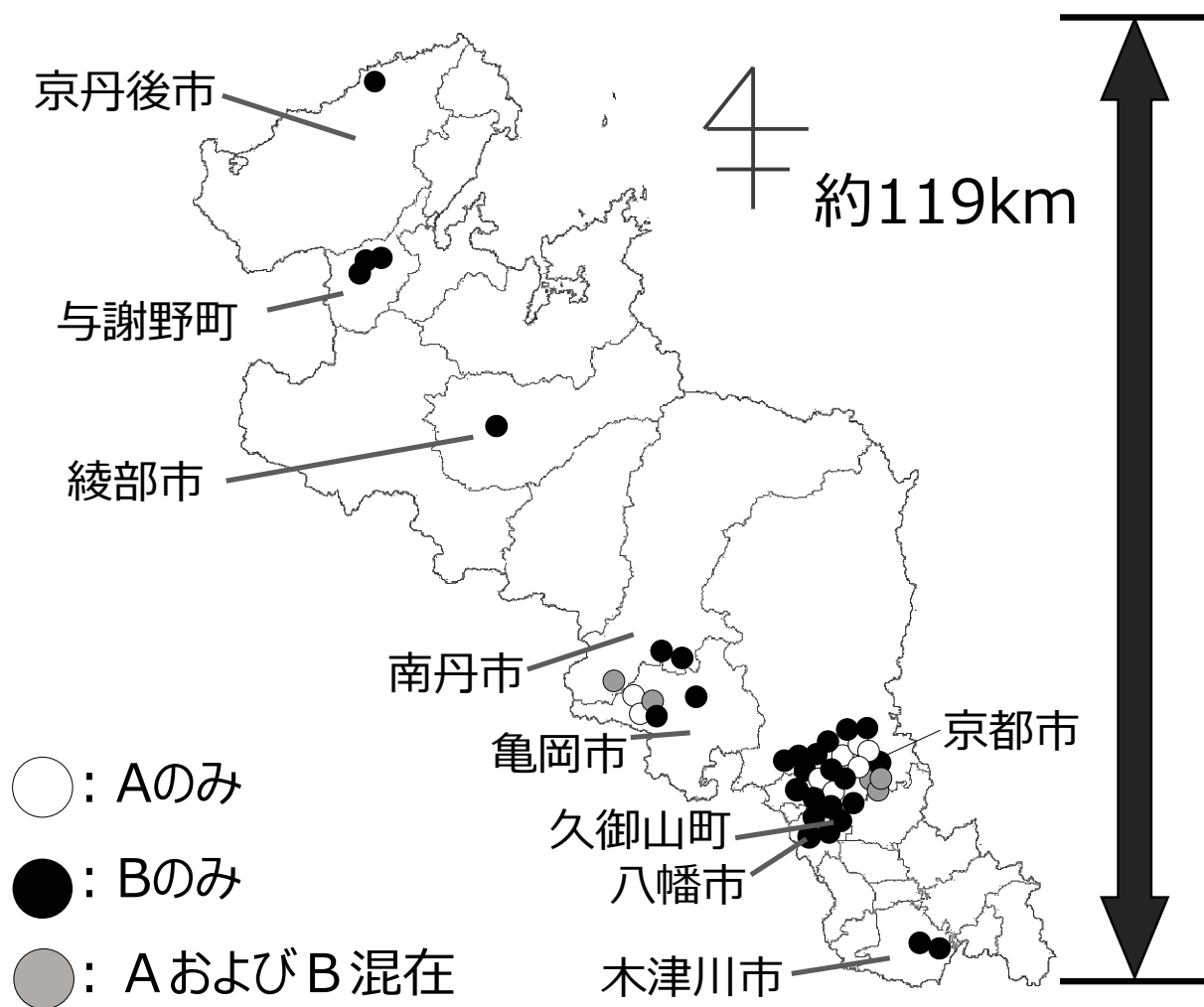


図3 京都府におけるネギハモグリバエバイオタイプAおよびBの地理的分布（市区町村別）  
（2020年採集）

#### 4. 結果の要約

ネギハモグリバエの被害株率は、調査地点ごとの差はみられたが、4～6月および9月～10月頃に被害株率が上昇する傾向がみられた。Bは京都府内のほぼ全域で発生が確認された。京都府ではバイオタイプAの発生は局所的であり、バイオタイプBの発生が優占的であることが分かった。

〔キーワード〕 ネギハモグリバエ、バイオタイプA、バイオタイプB、被害株、地理的分布、発生生態

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

羽化させた成虫サンプルのうち2021年採集の未判別分について、mtCOI領域の塩基配列からバイオタイプを判別する。

#### 6. 結果の発表、活用等（予定を含む）

（1）令和3年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 病虫害部会 問題別研究会  
中島優介・浦入千宗・上杉龍士・徳丸晋虫

---

課 題 名 : 新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

(2) バイオタイプBの生物学的特性の解明

ア 発育零点及び有効積算温度

担当部署名 : 京都農技セ・農林セ・環境部

担 当 者 名 : 中島優介・岩川秀行・浅井信一・山村 和

協 力 分 担 : 生資C、農研機構野菜花き研究部門、同東北農業研究センター、富山県、茨城県など

予算(期間) : 消費・安全対策交付金 (令和2~3年度)

---

1. 目的

ネギハモグリバエバイオタイプBに対する防除体系を構築するため、バイオタイプBの生物学的特性(発育、増殖能力、成虫の寿命など)について、室内実験によりバイオタイプA(徳丸, 2016)との違いを明らかにした。

2. 方法

(1) 供試虫 : 2018年7月19日に京都府久御山町坊之池のネギほ場で採集し、22.5℃長日条件(15L9D)下で累代飼育したネギハモグリバエバイオタイプBの系統を用いた。

(2) 試験方法

ネギ株(葉長:20cm、葉数:2~3枚)を1本植えたアイスクリームカップ(直径10cm×高さ4.5cm)を2~3個入れたプラスチック製飼育ケージ(20cm×20cm×30cm)にネギハモグリバエ成虫を10~20匹放飼し、所定の温度(15、18、20、25、30及び35℃)、日長条件(15L9D)に設定した人工気象器で24時間産卵させた。その後、取り出したネギ株はアイスクリームカップに植えたまま、同温度日長条件下で飼育した。終齢幼虫が葉から脱出する直前に葉をアイスクリームカップの地際部から切り取り、約50mlのパーミキュライトを入れたアイスクリームカップ(直径10cm×高さ8cm:250ml)に入れて飼育し、産卵から羽化までの日数を調べた。

3. 結果の概要

- (1) ネギハモグリバエバイオタイプBの産卵から羽化までの発育所要日数は、温度が高くなるほど短くなり、35℃条件下では、孵化しなかった。
- (2) 18~30℃までの産卵から羽化までの発育所要日数はバイオタイプA(徳丸, 2016)と比べて短くなり、同一温度区における両バイオタイプ間には有意な差が認められた(表1)。
- (3) バイオタイプBの温度と発育速度の回帰式を求めたところ、 $y=0.003x-0.0299$  ( $R^2=0.9978$ )となり(図1)、発育零点は10.0℃、有効積算温度は333.3日度となった。
- (4) 以上のことから、バイオタイプBはバイオタイプAと比較して、高い温度の条件において生育に有利となる生物学的特性を持つ可能性が示された。

表1 ネギハモグリバエ両バイオタイプの卵から成虫までの発育所要日数 (15L9D)

	温度					
	15	18	20	25	30	35
バイオタイプB	68.3±1.2	41.8±1.8 a	32.1±0.1 a	22.8±0.8 a	16.6±1.1 a	ふ化せず
バイオタイプA (徳丸, 2016)	68.3±5.5	46.0±1.2 b	35.7±2.0 b	23.3±1.2 b	19.4±0.9 b	—

平均値±標準偏差

※同一温度の異なる文字間で有意差あり(Mann—Whitney の U 検 定,  $P < 0.01$ )。

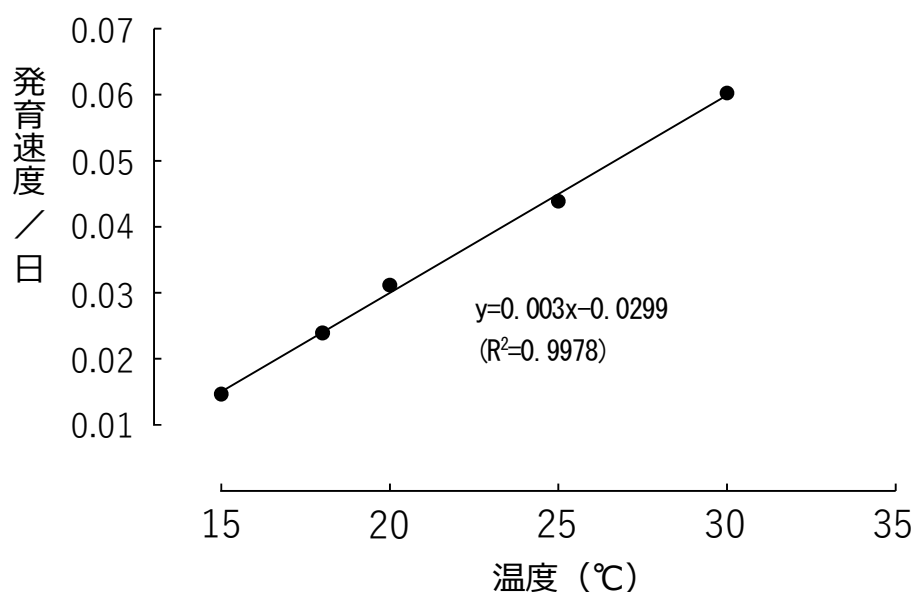


図1 ネギハモグリバエバイオタイプBの温度と発育速度の関係

#### 4. 結果の要約

ネギハモグリバエバイオタイプBの産卵から羽化までの発育所要日数は、温度が高くなるほど短くなり、35℃条件下では孵化しなかった。また、バイオタイプBの発育零点は 10.0℃、有効積算温度は 333.3 日度となった。発育所要日数について、同一温度区における両バイオタイプ間には有意な差が認められた。

[キーワード] ネギハモグリバエ、バイオタイプA、バイオタイプB、発育所要日数、発育零点、有効積算温度

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

次年度以降は、次世代成虫数及び寿命、周辺雑草での寄生と発育について調べる。

#### 6. 結果の発表、活用等 (予定を含む)

- (1) 令和3年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 問題別研究会 病虫害部会 徳丸晋虫・中島優介
- (2) 第66回日本応用動物昆虫学会大会 口頭発表 徳丸晋虫・中島優介

課 題 名： 新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

(3) バイオタイプBの防除技術の確立

ア 薬剤殺虫効果 (幼虫)

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担 当 者 名：中島優介・岩川秀行・浅井信一・山村 和

協 力 分 担：生資セ、農研機構野菜花き研究部門、同東北農業研究センター

予算(期間)：消費・安全対策交付金 (令和2~3年度)

---

### 1. 目的

ネギハモグリバエバイオタイプBに対する防除体系を構築するため、バイオタイプBの幼虫に対する薬剤殺虫効果を明らかにした。

### 2. 方法

(1) 供試虫：2020年6月10日に京都府与謝郡与謝野町(ハウス)及び2020年10月11日に京都府久御山町の葉ネギ栽培ほ場でそれぞれ採集し、22.5℃長日条件(15L9D)下で累代飼育したバイオタイプBの2齢幼虫を用いた。

(2) 供試薬剤

有機リン系(1B)、合成ピレスロイド系(3A)、ネオニコチノイド系(4A)、ネライストキン系(14)、昆虫成長制御剤(17)、スピノシン系(5)など、IRACコードの異なる合成殺虫剤の中から選定した12薬剤。

(3) 試験方法

ア 薬剤殺虫効果 (幼虫)

ネギ株(葉長：20cm、葉数：2~3枚)を1本植えたアイスクリームカップ(直径10cm×高さ4.5cm)を2~3個入れたプラスチック製飼育ケージ(20cm×20cm×30cm)にネギハモグリバエ成虫を10~20匹放飼し、25℃長日条件(15L9D)下に設定した人工気象器内で24時間産卵させた。その後、取り出したネギは産卵条件と同じ温度日長条件下に置いて、4日後の2齢幼虫に薬剤処理した。薬剤は全て常用濃度とし、展着剤(新グラミン3,000倍液)を加用し、2齢幼虫が寄生したネギの葉部を10秒間葉片浸漬処理した。処理後は、同温度日長条件下で飼育し、処理2日後に実体顕微鏡下でネギの葉部をピンセットで裂いて、葉内の生存幼虫数及び死亡幼虫数を記録した。死亡率は、無処理(水道水)の値を対照としてAbbott(1925)の方法により補正した。

### 3. 結果の概要

(1) バイオタイプBの2齢幼虫に対する補正死虫率が2個体群とも70%以上を示した殺虫剤は、シペルメトリン乳剤、チオシクロラム水和剤およびシアントラニプロール水和剤であった。

(2) 以上のことから、ネギハモグリバエバイオタイプBの幼虫に対する薬剤殺虫効果は、薬剤の種類及び個体群間で異なることが考えられた。

表1 ネギハモグリバエバイオタイプBの2齢幼虫を各種薬剤で処理した時の48時間後補正死虫率

IRAC コード	薬剤名	処理濃度 (倍)	採集地点	
			与謝野町 (2020)	久御山町 (2020)
1B	ダイアジノン乳剤	1000	27.9	0.0
3A	シペルメトリン乳剤	2000	88.8	94.9
4A	クロチアニジン水溶剤	2000	75.9	35.2
4A	ニテンピラム水溶剤	1000	22.6	6.5
5	スピノサド水和剤	2500	52.6	16.9
5	スピネトラム水和剤	2500	9.9	38.8
6	エマメクチン 安息香酸塩乳剤	2000	20.9	34.8
6	アバメクチン乳剤	500	72.0	38.8
14	チオシクラム水和剤	1500	97.9	80.8
17	シロマジン液剤	1000	25.0	26.9
28	シアントラニリプロール 水和剤	2000	86.5	72.1
30	フルキサメタミド乳剤	2000	50.3	21.2

#### 4. 結果の要約

ネギハモグリバエバイオタイプBの幼虫に対する補正死虫率が2個体群とも70%以上を示した殺虫剤は、シペルメトリン乳剤、チオシクラム水和剤およびシアントラニリプロール水和剤であった。

[キーワード] ネギハモグリバエ、薬剤殺虫効果、幼虫、バイオタイプA、バイオタイプB、IRAC

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

土着天敵相（寄生蜂）について明らかにするとともに、そのデータを元にバイオタイプ別の防除体系を構築する。

#### 6. 結果の発表、活用等（予定を含む）

- (1) 令和3年度農林センター試験研究成績報告会 ポスター発表
- (2) 第66回日本応用動物昆虫学会大会 口頭発表 中島優介・徳丸晋虫
- (3) 関西病虫害研究会第104回大会（和歌山大会） 口頭発表 中島優介・徳丸晋虫

課 題 名： 新規発生害虫ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

(3) バイオタイプBの防除技術の確立

イ 薬剤殺虫効果 (成虫)

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担 当 者 名：中島優介・岩川秀行・浅井信一・山村 和

協 力 分 担：生資セ、農研機構野菜花き研究部門、同東北農業研究センター

予算(期間)：消費・安全対策交付金 (令和2~3年度)

---

### 1. 目的

ネギハモグリバエバイオタイプBに対する防除体系を構築するため、バイオタイプBの成虫に対する薬剤殺虫効果を明らかにした。

### 2. 方法

(1) 供試虫：2020年6月10日に京都府与謝郡与謝野町(ハウス)及び2020年10月11日に京都府久御山町の葉ネギ栽培ほ場でそれぞれ採集し、22.5℃長日条件(15L9D)下で累代飼育したバイオタイプBの成虫を用いた。

(2) 供試薬剤

有機リン系(1B)、合成ピレスロイド系(3A)、ネオニコチノイド系(4A)、ネライストキシン系(14)、昆虫成長制御剤(17)、スピノシン系(5)など、IRACコードの異なる合成殺虫剤の中から選定した12薬剤。

(3) 試験方法

イ 薬剤殺虫効果 (成虫)

25℃長日条件(15L9D)で、ネギ苗をアイスクリームカップ(直径10cm×高さ4.5cm)で栽培したネギ株(葉長:20cm、葉数:2~3枚)を用いて、ネギの葉部を10秒間葉片浸漬処理した。薬剤は全て常用濃度とし、展着剤(新グラミン3,000倍液)を加用した。風乾後、ネギをプラスチック製飼育ケージ(20cm×20cm×30cm)に入れた。ケージ内には羽化三日後の雄および雌成虫を2匹ずつ放飼し、48時間後に死亡虫数と葉面上の摂食痕数を数えた。さらに、薬剤処理7日後に潜孔がみられるかを観察した。死亡率は、無処理(展着剤のみ)の値を対照としてAbbott(1925)の方法により補正した。

### 3. 結果の概要

(1) バイオタイプBの成虫に対する補正死虫率が2個体群とも70%以上を示した剤は、シペルメトリン乳剤のみであった(表1)。

(2) 以上のことから、ネギハモグリバエバイオタイプBの成虫に対する薬剤殺虫効果は、薬剤の種類及び個体群間で異なることが考えられた。

表1 ネギハモグリバエバイオタイプBの成虫に各種薬剤で処理した葉を与えた時の48時間後における補正死虫率(%)

IRAC コード	薬剤名	処理濃度 (倍)	採集地点	
			与謝野町 (2020)	久御山町 (2020)
1B	ダイアジノン乳剤	1000	58.3	33.3
3A	シペルメトリン乳剤	2000	75.0	75.0
4A	クロチアニジン水溶剤	2000	25.0	33.3
4A	ニテンピラム水溶剤	1000	11.1	41.7
5	スピノサド水和剤	2500	50.0	50.0
5	スピネトラム水和剤	2500	41.7	66.7
6	エマメクチン 安息香酸塩乳剤	2000	16.7	33.3
6	アバメクチン乳剤	500	36.1	16.7
14	チオシクラム水和剤	1500	50.0	66.7
17	シロマジン液剤	1000	33.3	16.7
28	シアントラニリプロール 水和剤	2000	0.0	33.3
30	フルキサメタミド乳剤	2000	50.0	75.0

#### 4. 結果の要約

ネギハモグリバエバイオタイプBの成虫に対する補正死虫率が2個体群とも70%以上を示した剤は、シペルメトリン乳剤であった。

[キーワード] ネギハモグリバエ、薬剤殺虫効果、成虫、バイオタイプA、バイオタイプB、IRAC

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

土着天敵相(寄生蜂)について明らかにするとともに、そのデータを元にバイオタイプ別の防除体系を構築する。

#### 6. 結果の発表、活用等(予定を含む)

- (1) 令和3年度農林センター試験研究成績報告会 ポスター発表
- (2) 第66回日本応用動物昆虫学会大会 口頭発表 中島優介・徳丸晋虫
- (3) 関西病虫害研究会第104回大会(和歌山大会) 口頭発表 中島優介・徳丸晋虫

実施課題名：農作物の病害虫に関する現地対策調査

(1) ネギアザミウマの殺虫剤感受性検定

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：浅井信一、岩川秀行、山村 和、中島優介

協力分担：

予算(期間)：消費・安全対策交付金(2021年度)

## 1. 目的

ネギでは、ネギアザミウマが多発すると外観品質が著しく低下する。しかし、生産現場では効果の高い殺虫剤が少なく、防除に苦慮している現状である。そこで、各種殺虫剤の感受性検定を行い、有効な殺虫剤を明らかにする。

## 2. 方法

(1) 供試虫：2021年9月から11月、府内の5地域(表1)からネギに寄生するネギアザミウマ雌成虫を採集し、ソラマメ催芽種子法(柴尾, 2013)により採集地別に22.5°C長日条件(15L9D)下で累代飼育した5個体群の2~3世代目の雌成虫を用いた。なお、採集した雌成虫は、採集地毎に一頭飼育法(Aizawa et al., 2016)により生殖系統を判別した。

(2) 供試薬剤：表1のとおり

(3) 試験方法

「薬剤抵抗性農業害虫管理のためのガイドライン案」：P193-195(農研機構編、柴尾2019)に準じ、葉片浸漬法により検定を行った。殺虫剤はIRACコード12種類の15剤を供試し、処理濃度は常用濃度とした(表1)。展着剤としてポリオキシエチレン=ノニルフェニルエーテル15.0%ポリナフチルメタンスルホン酸ナトリウム4.0%ポリオキシエチレン脂肪酸エステル5.0%製剤3,000倍液を加用した。

検定手順：長方形(1cm×2cm)に切り取ったインゲンマメの初生葉を各供試殺虫剤液に約10秒間浸漬処理し、風乾後にスチロール棒瓶(φ2.5cm×高5cm)に湿度調節用の濾紙片とともに入れ、ネギアザミウマの雌成虫を10数匹放飼し、2重のパラフィルムで蓋をした。瓶は22.5°C、15L9D条件の人工気象器下に静置し、24および48時間後(IRACコード28の殺虫剤は72時間後も調査)の生存虫を数え、死虫率を求め、展着剤のみ処理の値を対照としてAbbott(1925)の方法により補正した。反復は3とした。殺虫剤の殺虫効果は、処理48時間後(IRACコード28の殺虫剤は72時間後)の補正死虫率で判断した。

## 3. 結果の概要

(1) 生殖系統は、京丹後市採取の個体群では産雌性のみで、他の4個体群では産雄性和産雌性が混在していた(表1)。

(2) 殺虫剤別の殺虫効果は、最も効果が高かったのはフルキサメタミド乳剤で、全ての個体群で補正死虫率90%以上であった。次いでスピノサド水和剤及びスピネトラム水和剤で、4つの個体群において90%以上であった。次いでシペルメトリン乳剤とフロメトキン水和剤で、3つの個体群において90%以上であった。一方、ジノテフラン水溶剤とピリダリル水和剤は全ての個体群で50%未満と殺虫効果が低かった(表1)。

(3) 個体群別の殺虫効果は、京都市伏見区では補正死虫率90%以上の殺虫剤は1剤のみで、京都市南区及び亀岡市では6剤あり、個体群によって異なった(表1)。

(4) 生殖系統の違いによる殺虫効果への影響については、産雌性の京丹後市と産雄性和産雌性が混在する他の4個体群間で、明確な差を認めなかった(表1)。

(5) 以上のことから、ネギアザミウマへの殺虫剤の浸漬処理による殺虫効果は、殺虫剤及び個体群によって異なり、生殖系統による違いは判然としなかった。

表1 ネギアザミウマ雌成虫に各殺虫剤を浸漬処理したインゲンマメ葉片を与えた時の補正死虫率

IRAC コード	殺虫剤名	処理 濃度 (倍)	採集 地 生殖 系統	京都市	京都市	八幡市	亀岡市	京丹後
				伏見区	南区	♂♀	♂♀	♀♀
1A	メソミル水和剤	1,000		68.1	64.3	89.7	91.1	84.8
1B	MEP乳剤	1,000		60.0	79.3	78.5	83.7	88.9
3A	シペルメトリン乳剤	2,000		83.8	82.7	93.3	97.4	100.0
4A	イミダクロプリド水和剤	2,000		73.0	60.8	56.4	77.2	67.6
4A	ジノテフラン水溶剤	2,000		42.2	30.7	23.8	47.9	49.5
5	スピノサド水和剤	2,500		86.7	97.4	100.0	100.0	96.7
5	スピネトラム水和剤	2,500		88.7	97.0	100.0	100.0	100.0
6	アバメクチン乳剤	1,000		78.2	91.8	89.8	47.0	67.3
13	クロルフェナピル水和剤	2,000		41.3	47.1	34.5	23.5	58.1
14	チオシクラム水和剤	1,500		63.1	69.9	87.9	86.7	66.7
28	シアントラニプロール水和剤 (72時間後)	2,000		61.9	73.3	60.9	49.9	62.1
				82.0	90.2	78.1	74.9	84.5
28	テトラニプロール水和剤 (72時間後)	2,500		22.7	54.8	39.0	33.7	49.0
				51.5	80.4	56.2	55.8	58.8
30	フルキサメタミド乳剤	2,000		100.0	100.0	100.0	100.0	94.9
UN	ピリダリル水和剤	1,000		33.4	18.0	37.9	47.3	45.4
未定	フロメトキン水和剤	1,000		87.1	90.0	86.8	100.0	93.3

注) ♂♀:産雄性と産雌性生殖系統が混在、♀♀:産雌性生殖系統のみ

数値は処理48時間後の補正死虫率(%)。IRACコード28の薬剤は72時間後の補正死虫率も示す。

#### 4. 結果の要約

ネギアザミウマへの殺虫剤の浸漬処理による殺虫効果は、殺虫剤及び個体群によって異なり、生殖系統による違いは判然としなかった。効果の高い殺虫剤はフルキサメタミド乳剤、次いでスピノサド水和剤及びスピネトラム水和剤、次いでシペルメトリン乳剤及びフロメトキン水和剤であった。

[キーワード] ネギアザミウマ、殺虫剤、感受性、個体群、生殖系統

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

#### 6. 結果の発表、活用等

令和3年度農林センター試験研究報告会でポスター発表

令和3年度農作物病害虫セミナーで動画配信により発表

実施課題名：農作物の病害虫に関する現地対策調査

(2) ミカンキイロアザミウマの殺虫剤感受性検定

担当部署名：京都農技セ・農林セ・環境部

担当者名：浅井信一、岩川秀行、山村 和、中島優介

協力分担：

予算(期間)：消費・安全対策交付金(2021年度)

### 1. 目的

ミカンキイロアザミウマは寄主範囲が広く、トマト白ぶくれ症、ナスやトウガラシの果実障害、イチゴの着色不良等、多くの野菜で被害をもたらす。しかし、生産現場では効果の高い殺虫剤が少なく、防除に苦慮している現状がある。そこで各種殺虫剤の感受性検定を行い、有効な殺虫剤を明らかにする。

### 2. 方法

(1) 供試虫：2021年10月に、京都市西京区及び久御山町のナス栽培ほ場からミカンキイロアザミウマ雌成虫を採集し、ソラマメ催芽種子法(柴尾, 2013)により採集地別に22.5℃または25℃の長日条件(15L9D)下で累代飼育した2個体群の2、3世代目の雌成虫を用いた。

(2) 供試薬剤：表1のとおり

(3) 試験方法

「薬剤抵抗性農業害虫管理のためのガイドライン案」：P193-195(農研機構編、柴尾2019)に準じ、葉片浸漬法により検定を行った。殺虫剤はIRACコード12種類の15剤を供試し、処理濃度は常用濃度とした(表1)。展着剤としてポリオキシエチレン=ノニルフェニルエーテル15.0%ポリナフチルメタンスルホン酸ナトリウム4.0%ポリオキシエチレン脂肪酸エステル5.0%製剤3,000倍液を加用した。

検定手順：長方形(1cm×2cm)に切り取ったインゲンマメの初生葉を各供試殺虫剤液に約10秒間浸漬処理し、風乾後にスチロール棒瓶(φ2.5cm×高5cm)に湿度調節用の濾紙片とともに入れ、ネギアザミウマの雌成虫を10数匹放飼し、2重のパラフィルムで蓋をした。瓶は25℃、15L9D条件の人工気象器下に静置し、24および48時間後(IRACコード28の殺虫剤は72時間後も調査)の生存虫を数え、死虫率を求め、展着剤のみ処理の値を対照としてAbbott(1925)の方法により補正した。反復は3とした。殺虫剤の殺虫効果は、処理48時間後(IRACコード28の殺虫剤は72時間後)の補正死虫率で判断した。

### 3. 結果の概要

(1) 殺虫剤別の殺虫効果は、最も高かったのはフロメトキン水和剤及びフルキサメタミド乳剤で、両個体群で補正死虫率90%以上であった。次いでチオシクラム水和剤であった。一方、メソミル水和剤、シペルメトリン乳剤、イミダクロプリド水和剤、ジノテフラン水溶剤及びテトラニプロール水和剤は、両個体群とも50%未満と殺虫効果が低かった(表1)。

(2) 個体群別の殺虫効果は、京都市西京区では補正死虫率90%以上の殺虫剤は5剤あったが、久御山町では2剤のみであった。また、大半の殺虫剤で久御山町の補正死虫率が京都市西京区よりも低く、個体群によって効果は異なった(表1)。

(3) 以上のことから、ミカンキイロアザミウマへの殺虫剤の浸漬処理による殺虫効果は、殺虫剤及び個体群によって異なった。

表1 ミカンキイロアザミウマ雌成虫に各殺虫剤を浸漬処理したインゲンマメ葉片を与えた時の補正死虫率

IRAC コード	殺虫剤名	処理濃度 (倍)	採集地	京都市 西京区	久御山町
1A	メソミル水和剤	1,000		31.3	11.1
1B	MEP乳剤	1,000		71.1	57.9
3A	シペルメトリン乳剤	2,000		36.9	35.5
4A	イミダクロプリド水和剤	2,000		21.1	17.8
4A	ジノテフラン水溶剤	2,000		10.2	8.9
5	スピノサド水和剤	2,500		91.7	56.7
5	スピネトラム水和剤	2,500		93.9	58.2
6	アバメクチン乳剤	1,000		89.4	62.4
13	クロルフェナピル水和剤	2,000		59.9	50.0
14	チオシクラム水和剤	1,500		90.9	85.3
28	シアントラニリプロール水和剤 (72時間後)	2,000		43.5	28.2
				64.8	58.2
28	テトラニリプロール水和剤 (72時間後)	2,500		32.2	24.2
				46.8	47.2
30	フルキサメタミド乳剤	2,000		90.9	94.4
UN	ピリダリル水和剤	1,000		77.8	74.2
未定	フロメキン水和剤	1,000		100.0	93.3

注) 数値は処理48時間後の補正死虫率(%)。IRACコード28の薬剤は72時間後の補正死虫率も示す。

#### 4. 結果の要約

ミカンキイロアザミウマへの殺虫剤の浸漬処理による殺虫効果は、殺虫剤及び個体群によって異なつた。効果の高い殺虫剤はフロメキン水和剤及びフルキサメタミド乳剤、次いでチオシクラム水和剤であった。一方、効果の低い殺虫剤はメソミル水和剤、シペルメトリン乳剤。イミダクロプリド水和剤、ジノテフラン水溶剤及びテトラニリプロール水和剤であった。

[キーワード] ミカンキイロアザミウマ、殺虫剤、感受性、個体群

#### 5. 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

#### 6. 結果の発表、活用等

令和3年度農作物病害虫セミナーで動画配信により発表

#### IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| 1 国が行う緊急防除（法第17条）への協力        | 本年度該当なし |
| 2 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 | 本年度該当なし |
| 3 府が行う防除（法第29条）の指導等          | 本年度該当なし |

#### V 情報提供サービスの実施

##### (I) 情報提供の概要

##### 1 病害虫防除所ホームページ

- 1) 設置場所及びサービス開始時期
  - (1) 設置場所：京都府のホームページ  
(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)
  - (2) サービス開始：平成10年4月
- 2) 情報の概要及び更新時期
  - (1) 内 容：① 病害虫発生予察コーナー  
② 病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）  
③ 巡回調査結果  
④ 水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果  
⑤ 防除所ってナニ？  
⑥ 病害虫ワクワクツアー  
⑦ 家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）
  - (2) 更新時期：毎月月下旬及び必要に応じて随時更新

## (Ⅱ) 情報の内容と利用状況

### 1 病害虫防除所ホームページ (アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページの防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

#### ①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

#### ②病害虫発生状況 (予察灯及びフェロモントラップ誘殺数)

- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置している予察灯 (60W 及び BL) による誘殺数 (グラフ) を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置しているフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新
- ・宇治市、綾部市、京丹後市に設置している茶樹害虫のフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新

#### ③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ダイコン、カブの調査結果をPDFファイルで掲載

#### ④水稻いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果

- ・JPP-NET (日本植物防疫協会が運営する農作物の病害虫防除情報サービス) 内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

#### ⑤防除所ってなに？

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

#### ⑥病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

#### ⑦家庭菜園で見られる病害虫 (Web 病害虫辞典)

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

#### ①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

#### ②「各種データ (巡回調査結果、フェロモン誘殺数等)」のコンテンツでは、病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)、巡回調査結果、水稻いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果の各データとリンク

#### ③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第1号	令和3年2月26日
	病害虫発生予報第2号	令和3年3月26日
	病害虫発生予報第3号	令和3年4月21日
	病害虫発生予報第4号	令和3年5月26日
	病害虫発生予報第5号	令和3年6月23日
	病害虫発生予報第6号	令和3年7月28日
	病害虫発生予報第7号	令和3年8月25日
	病害虫発生予報第8号	令和3年9月29日
	病害虫発生予報第9号	令和3年10月20日
注意報	発生予察注意報第1号：(ネギ、タマネギ：べと病)	令和3年4月15日
	発生予察注意報第2号：(水稻：穂いもち)	令和3年8月25日
	発生予察注意報第3号：(ネギ、豆類、野菜類：シロイチモジヨトウ)	令和3年8月25日
特殊報	発生予察特殊報第1号：トマト：黄化病	令和3年8月6日
防除所 ニュース	防除所ニュース第1号(ネギ、タマネギ：べと病)	令和3年3月9日
	防除所ニュース第2号(ナシ(品種：二十世紀)：黒斑病)	令和3年4月2日
	防除所ニュース第3号(水稻：スクミリンゴガイ)	令和3年4月2日
	防除所ニュース第4号(シロイチモジヨトウ)	令和3年7月28日
	防除所ニュース第5号(水稻：いもち病(穂いもち))	令和3年7月28日
	防除所ニュース第6号(果樹：カメムシ類)	令和3年9月29日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載月日
4月の巡回調査結果(茶、ネギ)	令和3年4月21日
5月の巡回調査結果(水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ)	令和3年5月26日
6月の巡回調査結果(水稻、茶、ナシ、ナス、ネギ)	令和3年6月23日
7月の巡回調査結果(水稻、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	令和3年7月28日
8月の巡回調査結果(水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	令和3年8月25日
9月の巡回調査結果(水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	令和3年9月29日
10月の巡回調査結果(黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ)	令和3年10月20日

【その他】

種 類	更新月(更新回数)
チャノコカクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ(宇治市、綾部市、京丹後市)	令和3年4月～10月 (7回)
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ(宇治市、綾部市、京丹後市)	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	令和3年5月～10月 (6回)
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
アオクサカメムシ 予察灯(60W)誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
イチモンジカメムシ 予察灯(60W、BL)誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
ホソヘリカメムシ フェロモントラップ誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
チャバネアオカメムシ 予察灯(BL)誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
クサギアオカメムシ 予察灯(BL)誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
ツヤアオカメムシ 予察灯(BL)誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
コナガ 予察灯(60W)誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
タバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
カブラヤガ フェロモントラップ誘殺グラフ(亀岡市)	
シロオビノメイガ 予察灯(60W)誘殺グラフ(京田辺市、亀岡市、京丹後市)	
水稻いもち病発生予察システム(BLASTAM)の結果	令和3年6月～7月 (2回)

## VI 病害虫調査協力員の活動状況

### ( I ) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を23名設置した。

### ( II ) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用するとともに、指導資料に活用いただくため協力員にフィードバックした。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月10日	① 水稲の生育状況 ② 育苗時の病害虫発生状況 ③ 葉いもちについて ④ その他作物の目立つ病害虫	17
7月9日	① 水稲の生育状況 ② 葉いもちについて ③ 斑点米カメムシ類について ④ その他作物の目立つ病害虫	15
8月10日	① 水稲の生育状況 ② いもち病、紋枯病について ③ 斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生 ⑤ その他作物の目立つ病害虫	12
9月10日	① 水稲の生育状況 ② 水稲の倒伏について ③ 穂いもちの発生状況 ④ トビイロウンカの発生状況 ⑤ 水稲で目立ったその他病害虫 ⑥ 豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑦ その他作物の目立つ病害虫	12
11月9日	① 水稲の生育状況（中晩稲） ② 水稲全体の作柄（収量、一等米比率） ③ その他作物の目立つ病害虫	16

### ( III ) 協力員研修の概要

植物防疫セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 令和4年3月1日～25日（YouTubeによる動画配信）
- (2) 内 容 農作物病害虫セミナーのページ参照

## Ⅶ 会議、打合せ・研修の実施等

### 1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
病害虫AIプロ 府内現地実証試験検討会	5月31日	リモート会議
京都府環境にやさしい農業担当者会議	6月 3日	農林センター
全国病害虫防除所長会議	9月13日	リモート会議
病害虫AIプロ事業ナスグループ中間検討会	10月 4日	リモート会議
植物防疫に関する地方ブロック意見交換会	11月 6日	リモート会議
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月29日	近畿農政局
病害虫AIプロ事業小課題5～10合同年度末検討会	12月 7日	リモート会議
病害虫AIプロ事業ナスグループ年度末検討会	12月10日	つくば市（リモートとのハイブリッド開催）
京都府植物防疫担当者会議	2月 4日	リモート会議
病害虫AIプロ事業全体年度末検討会	2月 7日	リモート会議
近畿ブロック病害虫防除所長会議	2月18日	リモート会議
病害虫発生予察アプリ説明会	3月14日	リモート会議

### 2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日	開 催 場 所
農業大学校1年生講義	5月28日 6月 1日 8月 3日 9月 2日 11月24日 12月15日 1月14日	農業大学校
関西病虫害研究会	6月10日	リモート開催
若手普及職員技術研修	6月25日	農林センター
営農指導員認定研修会	11月	動画配信
京都スマート農業セミナーin亀岡	1月14日	農林センター
農業管理指導士養成研修会	1月21日	キャンパスプラザ京都

京都府農林センター試験研究成績報告会	2月 2日	農林センター
農作物病害虫セミナー	3月1～25日	YouTubeによる 動画配信
近畿中国四国病害虫推進部会問題別研究会	3月7～9日	リモート開催
京都先端科学大学との研究交流会	3月10日	京都先端科学大学
第66回日本応用動物昆虫学会大会	3月20～22日	リモート開催

### 3 職員の研修、視察

月 日	研 修 名	主 催	開催場所
2月25日	病害虫防除所職員等中央研修	農林水産省	Web

## Ⅸ 普及センター等との連携の推進

### 1 農作物病害虫セミナーの開催

次年度作に向けて特に注意が必要な病害虫について、注意喚起を図るとともに防除対策技術に関する情報を伝えるため、農家及び植物防疫に関連する関係機関を対象に「農作物病害虫セミナー」を配信形式で開催した。

- ① 開催日 令和4年3月1日（火）～令和4年3月25日（金）（視聴期間）  
（申込期間：令和4年2月1日（火）～令和4年3月23日（水））
- ② 申込者 56名、視聴数 延べ332回
- ③ 内容 以下の4課題を動画によるスライド口頭発表形式として配信
  - ア 水稻の重要病害「いもち病」の防除対策
  - イ 野菜等で問題となるアザミウマ類の見分け方
  - ウ 写真でわかるナスの病害虫
  - エ ネギハモグリバエ2バイオタイプによるネギ被害の差異策

### 2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。令和3年度の書き込み件数は下表のとおりである。

月	農業改良普及センター							試験研究 機関	計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後		
4月	5	0	0	4	0	0	2	2	13
5月	5	1	0	4	0	5	1	6	22
6月	1	1	3	8	0	2	0	7	22
7月	4	4	0	15	0	3	2	10	38
8月	6	4	4	14	1	4	2	3	38
9月	7	3	0	7	0	4	0	8	29
10月	0	6	0	1	3	0	0	8	18
11月	0	0	0	5	0	0	0	0	5
12～3月	4	3	0	2	0	0	0	0	9
計	32	22	7	60	4	18	7	44	194

**参考資料令和3(2021)年 半旬別気象表**

ここに掲載している気象観測データは、京都府農林水産技術センター農林センター(亀岡市)が敷地内に設置した気象観測機器で観測しているもので、研究教育利用のためのデータです。  
(観測データは、気象業務法に定められている気象観測の対象外の観測となりますので、ご注意ください。)

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1991～2020年の平均値
	平均気温 ……1993～2020年の平均値
	日照時間 ……2005～2020年の平均値 (2015～2018は欠測)

**京都府農林センター(亀岡市余部町)**

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	8.2	9.0	-2.9	-0.8	1.8	3.3	0.0	5.0	22.2	19.1	0%	116%	-0.8	-2.1
	2	5.7	8.7	-4.9	-0.7	0.1	3.2	0.0	7.9	32.9	18.0	0%	183%	-3.0	-4.2
	3	10.3	8.3	-2.7	-1.1	2.1	3.0	1.0	8.9	18.2	19.8	11%	92%	2.0	-1.6
	4	8.2	8.6	-2.1	-1.1	2.8	3.3	4.0	7.3	20.7	20.6	55%	100%	-0.4	-1.0
	5	10.9	7.5	2.6	-1.1	6.4	2.8	29.5	9.9	15.4	15.7	298%	98%	3.4	3.7
	6	11.1	8.2	0.7	-1.5	5.4	2.7	11.5	11.3	27.0	23.5	102%	115%	2.9	2.2
	平均・計	9.1	8.4	-1.5	-1.1	3.2	3.0	46.0	50.3	136.4	116.7	91%	117%	0.7	-0.4
2	1	11.5	8.1	-2.2	-1.6	4.3	2.6	11.5	6.2	22.6	22.5	185%	100%	3.4	-0.6
	2	11.0	8.5	-0.3	-1.4	4.7	3.0	0.0	8.6	23.5	19.2	0%	122%	2.5	1.1
	3	16.8	9.3	2.6	-0.8	9.3	3.6	36.0	13.1	25.2	17.7	275%	142%	7.5	3.4
	4	9.1	9.0	-1.2	-0.8	3.5	3.7	0.5	12.9	19.7	20.9	4%	94%	0.1	-0.4
	5	15.1	10.5	-0.3	-0.5	7.5	4.9	0.0	11.2	37.9	25.7	0%	147%	4.6	0.2
	6	10.0	11.3	0.2	0.6	5.4	5.3	3.5	11.9	12.5	15.3	29%	82%	-1.3	-0.4
	平均・計	12.3	9.3	-0.2	-0.8	5.8	3.7	51.5	63.9	141.4	121.2	81%	117%	3.0	0.6
3	1	19.5	11.3	1.1	0.7	8.9	5.7	43.0	17.3	21.3	21.5	249%	99%	8.2	0.4
	2	14.0	11.7	2.4	1.2	7.6	6.1	0.5	15.2	21.8	23.1	3%	94%	2.3	1.2
	3	15.7	12.4	2.7	0.6	8.6	6.2	27.5	15.5	28.3	28.8	177%	98%	3.3	2.1
	4	18.5	14.2	2.6	2.0	10.1	7.9	0.0	15.4	35.2	27.2	0%	129%	4.3	0.6
	5	16.6	13.8	3.8	2.2	9.9	7.7	23.5	17.8	26.3	28.2	132%	93%	2.8	1.6
	6	20.5	15.4	7.3	2.8	13.0	8.9	8.0	16.1	38.9	33.8	50%	115%	5.1	4.5
	平均・計	17.6	13.2	3.4	1.6	9.8	7.1	102.5	97.2	171.8	162.5	105%	106%	4.4	1.8
4	1	20.1	16.8	7.8	3.6	13.9	9.9	15.5	14.8	25.8	32.5	105%	79%	3.3	4.2
	2	18.4	18.2	3.6	5.3	10.3	11.4	4.5	21.0	44.5	36.2	21%	123%	0.2	-1.7
	3	20.3	18.5	4.6	5.7	12.8	11.9	4.5	18.1	28.8	29.3	25%	98%	1.8	-1.1
	4	18.4	20.5	6.2	6.8	12.2	13.7	43.5	17.5	25.0	30.9	249%	81%	-2.1	-0.6
	5	24.4	20.4	7.4	8.0	15.5	14.3	0.0	17.6	42.2	30.4	0%	139%	4.0	-0.6
	6	19.3	22.1	8.1	8.2	13.9	15.0	83.5	13.2	27.1	38.1	633%	71%	-2.8	-0.1
	平均・計	20.2	19.4	6.3	6.3	13.1	12.7	151.5	102.1	193.4	197.3	148%	98%	0.8	0.0
5	1	20.9	23.4	8.9	10.5	14.8	17.1	19.0	13.1	26.8	36.4	145%	74%	-2.5	-1.6
	2	24.0	23.7	10.2	11.1	16.9	17.2	1.5	20.9	24.8	32.0	7%	78%	0.3	-0.9
	3	25.1	23.5	13.7	11.1	18.9	17.4	10.0	33.0	19.3	37.4	30%	52%	1.6	2.6
	4	23.1	24.5	17.9	12.5	20.5	18.2	87.5	23.9	0.1	31.0	366%	0%	-1.4	5.4
	5	24.9	25.8	15.4	13.3	19.3	19.2	86.5	20.2	16.8	33.9	428%	50%	-0.9	2.1
	6	24.8	25.8	13.5	14.3	19.0	19.8	41.0	26.3	36.7	33.4	156%	110%	-1.0	-0.8
	平均・計	23.8	24.5	13.3	12.2	18.3	18.2	245.5	137.4	124.5	204.1	179%	61%	-0.7	1.1
6	1	26.4	26.7	15.7	14.8	21.0	20.5	37.5	12.0	18.6	28.2	313%	66%	-0.3	0.9
	2	31.3	26.7	16.6	16.3	23.4	21.1	0.0	21.3	45.3	26.8	0%	169%	4.6	0.3
	3	28.4	26.9	19.9	17.4	23.4	21.7	16.0	22.9	12.1	25.7	70%	47%	1.5	2.5
	4	25.4	27.6	18.5	18.0	21.6	22.5	24.5	40.4	12.6	23.1	61%	55%	-2.2	0.5
	5	30.3	27.5	17.5	19.0	22.9	22.9	0.0	34.6	26.8	22.3	0%	120%	2.8	-1.5
	6	28.8	28.8	19.5	20.4	23.5	24.2	10.5	44.2	9.7	20.4	24%	48%	0.0	-0.9
	平均・計	28.4	27.4	18.0	17.7	22.6	22.2	88.5	175.4	125.1	146.4	50%	85%	1.0	0.3

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1981～2010年の平均値
	平均気温 ……1993～2010年の平均値
	日照時間 ……2005～2010年の平均値

京都府農林センター(亀岡市余部町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	28.7	29.2	23.2	20.9	25.6	24.7	105.5	44.3	1.8	16.2	238%	11%	-0.5	2.3
	2	29.1	30.1	23.4	21.4	25.8	25.3	133.5	32.9	0.6	20.3	406%	3%	-1.0	2.0
	3	31.3	30.5	21.3	22.1	24.8	25.9	8.0	38.7	13.4	19.2	21%	70%	0.8	-0.8
	4	33.7	31.2	22.1	21.8	27.1	26.0	8.5	45.6	36.4	27.5	19%	132%	2.5	0.3
	5	35.2	32.4	21.9	22.5	28.3	26.9	0.0	16.4	55.4	29.5	0%	188%	2.8	-0.6
	6	34.1	32.7	22.5	23.0	27.4	27.1	0.0	23.4	33.1	36.0	0%	92%	1.4	-0.5
	平均・計	<b>32.1</b>	<b>31.1</b>	<b>22.4</b>	<b>22.0</b>	<b>26.5</b>	<b>26.0</b>	<b>255.5</b>	<b>201.3</b>	<b>140.7</b>	<b>148.7</b>	<b>127%</b>	<b>95%</b>	<b>1.0</b>	<b>0.4</b>
8	1	34.7	33.6	23.1	23.2	28.1	27.9	38.5	16.2	32.4	39.4	238%	82%	1.1	-0.1
	2	33.2	33.3	23.2	22.9	27.3	27.5	27.5	26.6	20.3	37.5	103%	54%	-0.1	0.3
	3	27.3	32.8	21.5	22.8	24.1	27.2	226.5	26.5	5.1	33.2	855%	15%	-5.5	-1.3
	4	27.8	32.6	21.4	22.3	23.8	27.2	113.5	23.4	5.2	41.0	485%	13%	-4.8	-0.9
	5	31.1	32.1	23.3	21.9	26.7	26.3	9.0	24.0	9.5	32.7	38%	29%	-1.0	1.4
	6	33.7	31.7	23.2	21.4	27.7	25.8	0.0	32.7	43.6	36.1	0%	121%	2.0	1.8
	平均・計	<b>31.4</b>	<b>32.7</b>	<b>22.6</b>	<b>22.4</b>	<b>26.3</b>	<b>26.9</b>	<b>415.0</b>	<b>149.4</b>	<b>116.1</b>	<b>219.9</b>	<b>278%</b>	<b>53%</b>	<b>-1.3</b>	<b>0.2</b>
9	1	27.6	30.9	20.7	20.7	23.7	25.0	45.0	24.8	8.0	27.2	181%	29%	-3.3	0.0
	2	29.1	29.7	19.2	20.0	23.5	24.2	74.5	35.9	27.1	32.8	208%	83%	-0.6	-0.8
	3	27.0	29.1	19.5	19.0	22.6	23.5	10.0	31.1	10.7	32.8	32%	33%	-2.1	0.5
	4	28.3	28.1	20.1	18.1	23.5	22.6	31.5	34.2	17.5	30.3	92%	58%	0.2	2.0
	5	30.0	26.5	18.8	16.8	23.7	21.2	0.0	32.3	34.0	31.1	0%	109%	3.5	2.0
	6	27.4	25.6	18.1	15.5	22.4	20.1	14.0	32.7	21.6	29.6	43%	73%	1.8	2.6
	平均・計	<b>28.2</b>	<b>28.3</b>	<b>19.4</b>	<b>18.4</b>	<b>23.2</b>	<b>22.8</b>	<b>175.0</b>	<b>191.0</b>	<b>118.9</b>	<b>183.9</b>	<b>92%</b>	<b>65%</b>	<b>-0.1</b>	<b>1.0</b>
10	1	29.7	25.1	16.0	14.9	21.8	19.7	0.0	22.6	43.0	24.5	0%	176%	4.6	1.1
	2	29.8	24.1	16.9	13.5	22.5	18.5	0.0	28.1	30.6	28.4	0%	108%	5.7	3.4
	3	27.0	23.4	16.9	12.8	21.4	17.7	0.5	19.0	24.4	27.1	3%	90%	3.6	4.1
	4	20.5	21.9	10.8	10.7	15.1	15.8	18.5	27.8	26.7	30.0	67%	89%	-1.4	0.1
	5	17.6	21.5	6.4	10.2	11.7	15.3	34.5	25.1	21.7	22.1	137%	98%	-3.9	-3.8
	6	21.2	20.0	8.7	8.6	13.5	13.7	1.0	16.0	33.6	30.6	6%	110%	1.2	0.1
	平均・計	<b>24.2</b>	<b>22.6</b>	<b>12.5</b>	<b>11.7</b>	<b>17.5</b>	<b>16.7</b>	<b>54.5</b>	<b>138.5</b>	<b>180.0</b>	<b>162.6</b>	<b>39%</b>	<b>111%</b>	<b>1.6</b>	<b>0.8</b>
11	1	21.1	19.1	7.3	7.1	12.9	12.3	0.0	12.5	30.6	25.9	0%	118%	2.0	0.2
	2	19.7	18.8	7.4	7.3	13.1	12.3	17.0	9.5	20.4	24.6	179%	83%	0.9	0.1
	3	17.3	17.0	3.9	6.4	9.4	11.2	0.5	16.3	26.5	22.8	3%	116%	0.3	-2.5
	4	19.3	15.9	4.5	4.6	9.8	9.6	0.0	13.6	30.9	23.4	0%	132%	3.4	-0.1
	5	15.5	14.9	4.8	3.3	9.8	8.3	29.0	7.8	19.2	19.8	372%	97%	0.6	1.5
	6	15.0	14.1	0.8	3.4	6.6	8.3	22.5	12.3	27.6	19.5	183%	142%	0.9	-2.6
	平均・計	<b>18.0</b>	<b>16.6</b>	<b>4.8</b>	<b>5.4</b>	<b>10.3</b>	<b>10.3</b>	<b>69.0</b>	<b>72.0</b>	<b>155.2</b>	<b>136.0</b>	<b>96%</b>	<b>114%</b>	<b>1.4</b>	<b>-0.6</b>
12	1	12.0	13.4	1.0	2.4	5.9	7.2	15.0	11.6	21.2	20.5	129%	103%	-1.4	-1.4
	2	14.5	11.8	3.9	1.0	8.7	5.4	21.0	8.1	16.4	21.8	259%	75%	2.7	2.9
	3	14.1	10.9	2.0	0.8	6.7	5.2	0.0	8.8	19.2	16.2	0%	119%	3.2	1.2
	4	11.4	10.1	0.2	0.1	5.4	4.4	22.0	6.0	19.8	21.1	367%	94%	1.3	0.1
	5	12.3	10.3	0.2	0.1	5.3	4.4	0.5	9.3	18.0	19.0	5%	95%	2.0	0.1
	6	7.0	9.1	-1.7	-0.4	2.1	3.6	3.0	13.1	20.1	23.1	23%	87%	-2.1	-1.3
	平均・計	<b>11.7</b>	<b>10.9</b>	<b>0.8</b>	<b>0.6</b>	<b>5.6</b>	<b>5.0</b>	<b>61.5</b>	<b>56.9</b>	<b>114.7</b>	<b>121.6</b>	<b>108%</b>	<b>94%</b>	<b>0.8</b>	<b>0.2</b>
年平均・計		<b>21.2</b>	<b>19.9</b>	<b>10.3</b>	<b>9.5</b>	<b>15.2</b>	<b>14.5</b>	<b>1526.0</b>	<b>1393.1</b>	<b>1661.8</b>	<b>1785.1</b>	<b>110%</b>	<b>93%</b>	<b>1.3</b>	<b>0.8</b>

※7月7日、8日の最高気温は欠測



参考資料  
令和3(2021)年半年別気象表

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1991～2020年の平均値
	平均気温 ……1991～2020年の平均値
	日照時間 ……1991～2020年の平均値

京都府農林センター(京丹後市弥栄町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	6.0	8.3	-1.1	0.6	2.5	4.5	46.0	29.8	5.9	8.8	154%	67%	-2.3	-1.7
	2	3.2	8.2	-3.9	0.3	-0.4	4.3	19.5	38.4	6.1	7.7	51%	79%	-5.0	-4.2
	3	8.3	7.3	-3.2	0.0	2.6	3.6	2.5	43.2	13.6	6.9	6%	197%	1.0	-3.2
	4	7.4	7.9	-0.9	-0.1	3.3	3.9	41.5	31.9	10.6	9.4	130%	113%	-0.5	-0.8
	5	11.0	7.0	2.1	-0.5	6.5	3.2	21.0	34.4	12.4	7.5	61%	165%	4.0	2.6
	6	9.0	7.3	0.5	-0.6	4.8	3.4	45.5	45.6	12.0	12.0	100%	100%	1.7	1.1
	平均・計	7.5	7.6	-1.0	-0.1	3.3	3.8	176.0	223.3	60.6	52.3	79%	116%	-0.1	-0.9
2	1	9.0	7.2	-0.8	-0.9	4.1	3.1	24.0	25.2	11.3	10.6	95%	107%	1.8	0.1
	2	9.7	7.6	0.5	-1.1	5.1	3.3	19.5	22.4	15.9	12.2	87%	130%	2.1	1.6
	3	16.1	8.5	2.9	0.1	9.5	4.3	48.0	26.4	29.1	11.6	182%	251%	7.6	2.8
	4	14.3	8.1	-0.2	-0.4	7.0	3.9	45.5	26.2	14.8	13.3	174%	111%	6.2	0.2
	5	14.6	9.2	0.2	0.0	7.4	4.6	3.0	20.8	34.4	17.3	14%	199%	5.4	0.2
	6	10.3	10.4	-1.0	0.3	4.6	5.4	2.5	14.8	12.1	11.6	17%	104%	-0.1	-1.3
	平均・計	12.3	8.5	0.2	-0.3	6.2	4.1	142.5	135.9	117.6	76.6	105%	154%	3.8	0.5
3	1	14.8	10.2	3.8	0.5	9.3	5.4	63.5	20.9	19.1	17.3	304%	110%	4.6	3.3
	2	10.4	10.8	1.8	1.2	6.1	6.0	0.0	23.0	10.8	15.4	0%	70%	-0.4	0.6
	3	14.2	11.5	2.6	0.6	8.4	6.1	38.5	17.7	24.3	21.9	218%	111%	2.7	2.0
	4	14.9	13.4	0.5	2.0	7.7	7.7	2.5	19.5	29.2	21.3	13%	137%	1.5	-1.5
	5	16.5	12.7	3.2	2.0	9.8	7.4	25.5	22.5	27.0	20.6	113%	131%	3.8	1.2
	6	18.7	14.4	5.2	2.8	12.0	8.6	12.5	20.8	38.5	28.1	60%	137%	4.3	2.4
	平均・計	15.0	12.2	2.9	1.5	9.0	6.9	142.5	124.5	148.9	124.6	114%	120%	2.8	1.4
4	1	19.1	15.5	7.2	3.4	13.1	9.5	20.0	17.0	36.3	27.4	118%	132%	3.6	3.8
	2	15.3	16.8	1.8	4.9	8.5	10.8	0.0	18.1	37.7	25.4	0%	148%	-1.5	-3.1
	3	18.3	16.9	3.3	5.0	10.8	10.9	8.0	20.4	31.1	26.3	39%	118%	1.4	-1.7
	4	18.1	19.1	5.9	6.0	12.0	12.6	42.0	16.0	33.8	29.1	263%	116%	-1.0	-0.1
	5	20.9	19.3	5.5	7.4	13.2	13.3	0.0	19.6	44.3	26.6	0%	167%	1.6	-1.9
	6	18.9	20.7	6.8	7.2	12.8	14.0	42.5	12.9	26.9	31.5	329%	85%	-1.8	-0.4
	平均・計	18.4	18.1	5.1	5.7	11.8	11.9	112.5	103.9	210.1	166.3	108%	126%	0.3	-0.6
5	1	20.2	21.8	8.1	9.3	14.2	15.5	21.5	14.7	25.5	30.5	146%	84%	-1.6	-1.2
	2	21.2	22.3	9.1	10.2	15.2	16.3	6.0	22.5	30.3	28.3	27%	107%	-1.1	-1.1
	3	24.8	21.9	12.5	10.3	18.6	16.1	2.5	30.3	32.8	27.4	8%	120%	2.9	2.2
	4	22.8	23.0	15.4	11.7	19.1	17.4	93.5	19.1	2.5	28.3	490%	9%	-0.2	3.7
	5	23.8	24.1	13.9	12.4	18.8	18.2	30.5	15.9	16.3	30.6	192%	53%	-0.3	1.5
	6	22.7	24.1	12.0	13.1	17.3	18.6	32.5	24.0	43.8	30.6	135%	143%	-1.4	-1.1
	平均・計	22.6	22.9	11.8	11.2	17.2	17.1	186.5	126.6	151.2	175.7	147%	86%	-0.3	0.6
6	1	25.8	25.0	14.1	13.6	19.9	19.3	34.5	11.4	25.0	28.1	303%	89%	0.8	0.5
	2	28.4	25.1	14.8	15.3	21.6	20.2	0.0	13.6	40.6	21.7	0%	187%	3.3	-0.5
	3	27.2	25.5	19.6	16.4	23.4	20.9	23.0	27.1	16.5	20.6	85%	80%	1.7	3.2
	4	23.8	26.1	17.6	17.0	20.7	21.5	40.5	24.9	5.8	20.3	163%	29%	-2.3	0.6
	5	27.0	26.3	15.5	17.8	21.3	22.0	1.0	32.8	31.1	16.3	3%	191%	0.7	-2.3
	6	27.4	27.5	17.5	19.3	22.5	23.4	1.0	37.5	12.7	14.8	3%	86%	-0.1	-1.8
	平均・計	26.6	26.0	16.5	16.6	21.6	21.3	100.0	147.3	131.7	121.8	68%	108%	0.6	-0.1

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1991～2020年の平均値
	平均気温 ……1991～2020年の平均値
	日照時間 ……1991～2020年の平均値

京都府農林センター(京丹後市弥栄町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	28.8	28.0	22.0	20.2	25.4	24.1	32.0	38.5	6.2	16.6	83%	37%	0.8	1.8
	2	28.3	28.9	22.5	20.5	25.4	24.7	142.5	39.2	2.5	19.7	364%	13%	-0.6	2.0
	3	30.0	29.3	21.3	21.3	25.7	25.3	10.0	34.3	18.1	17.9	29%	101%	0.7	0.0
	4	33.2	29.8	21.2	21.0	27.2	25.4	0.0	34.4	48.4	25.2	0%	192%	3.4	0.2
	5	33.9	31.1	21.5	21.8	27.7	26.4	0.0	13.8	54.9	29.8	0%	184%	2.8	-0.3
	6	30.9	31.2	22.1	22.5	26.5	26.8	0.0	21.1	40.2	33.7	0%	119%	-0.3	-0.4
	平均・計	<b>30.9</b>	<b>29.8</b>	<b>21.8</b>	<b>21.3</b>	<b>26.3</b>	<b>25.5</b>	<b>184.5</b>	<b>181.2</b>	<b>170.3</b>	<b>142.8</b>	<b>102%</b>	<b>119%</b>	<b>1.1</b>	<b>0.5</b>
8	1	33.1	32.2	22.4	22.6	27.8	27.4	81.0	16.5	43.3	37.7	491%	115%	0.9	-0.2
	2	31.7	32.1	22.5	22.6	27.1	27.4	26.0	24.8	28.7	33.7	105%	85%	-0.4	-0.1
	3	26.4	31.4	20.3	22.4	23.4	26.9	244.0	22.5	6.6	29.5	1084%	22%	-5.0	-2.1
	4	27.1	31.5	21.5	22.0	24.3	26.7	26.0	21.2	2.9	31.7	123%	9%	-4.4	-0.5
	5	30.6	31.0	22.9	21.5	26.8	26.2	10.5	25.2	10.6	28.6	42%	37%	-0.4	1.4
	6	31.1	30.2	21.9	20.7	26.5	25.4	3.0	29.3	35.2	33.2	10%	106%	0.9	1.2
	平均・計	<b>30.1</b>	<b>31.4</b>	<b>21.9</b>	<b>21.9</b>	<b>26.0</b>	<b>26.6</b>	<b>390.5</b>	<b>139.6</b>	<b>127.3</b>	<b>194.5</b>	<b>280%</b>	<b>65%</b>	<b>-1.3</b>	<b>0.0</b>
9	1	26.5	29.3	20.3	20.1	23.4	24.7	59.0	38.1	10.0	27.3	155%	37%	-2.8	0.2
	2	27.5	28.1	18.1	19.4	22.8	23.7	35.5	39.7	26.0	22.9	89%	114%	-0.6	-1.3
	3	26.1	27.8	17.4	18.5	21.8	23.1	3.0	35.7	14.9	23.5	8%	63%	-1.7	-1.1
	4	27.1	26.8	18.9	17.6	23.0	22.2	10.5	36.5	22.6	22.7	29%	100%	0.3	1.3
	5	27.4	25.4	18.0	16.2	22.7	20.8	7.0	39.3	32.4	19.6	18%	165%	2.0	1.8
	6	27.6	24.6	17.7	15.0	22.7	19.8	2.5	37.8	22.8	21.2	7%	108%	3.0	2.7
	平均・計	<b>27.1</b>	<b>26.9</b>	<b>18.4</b>	<b>17.7</b>	<b>22.7</b>	<b>22.3</b>	<b>117.5</b>	<b>227.0</b>	<b>128.7</b>	<b>137.2</b>	<b>52%</b>	<b>94%</b>	<b>0.2</b>	<b>0.7</b>
10	1	28.1	24.0	14.8	14.3	21.5	19.2	2.0	25.6	39.6	20.2	8%	196%	4.1	0.5
	2	28.2	23.2	15.9	13.1	22.0	18.1	3.0	27.3	35.7	21.2	11%	168%	5.0	2.8
	3	24.4	22.4	16.3	12.1	20.3	17.3	3.5	25.3	20.9	21.1	14%	99%	2.0	4.2
	4	19.4	21.3	9.4	10.2	14.4	15.7	91.0	31.4	17.3	24.4	290%	71%	-1.9	-0.8
	5	17.5	20.6	7.3	9.9	12.4	15.2	19.0	30.1	16.2	20.7	63%	78%	-3.1	-2.6
	6	20.6	19.3	10.1	8.6	15.3	14.0	1.0	25.5	25.6	23.9	4%	107%	1.3	1.5
	平均・計	<b>22.9</b>	<b>21.7</b>	<b>12.2</b>	<b>11.3</b>	<b>17.6</b>	<b>16.5</b>	<b>119.5</b>	<b>165.2</b>	<b>155.3</b>	<b>131.6</b>	<b>72%</b>	<b>118%</b>	<b>1.2</b>	<b>0.9</b>
11	1	19.8	18.6	7.8	7.3	13.8	13.0	7.5	26.0	31.9	20.4	29%	156%	1.2	0.5
	2	19.4	18.3	5.6	7.6	12.5	13.0	29.0	16.8	25.2	19.0	173%	133%	1.1	-2.0
	3	17.4	16.7	2.8	6.7	10.1	11.7	0.5	29.9	22.6	15.1	2%	150%	0.7	-3.9
	4	18.1	15.2	4.5	5.7	11.3	10.4	8.0	30.9	29.9	14.4	26%	208%	2.9	-1.2
	5	14.3	14.7	4.8	4.1	9.6	9.4	67.0	27.2	7.6	15.1	246%	50%	-0.4	0.7
	6	14.1	13.9	1.9	4.6	8.0	9.2	29.5	34.4	20.7	11.4	86%	182%	0.2	-2.7
	平均・計	<b>17.1</b>	<b>16.2</b>	<b>4.5</b>	<b>6.0</b>	<b>10.8</b>	<b>11.1</b>	<b>141.5</b>	<b>165.3</b>	<b>137.9</b>	<b>95.4</b>	<b>86%</b>	<b>145%</b>	<b>0.9</b>	<b>-1.5</b>
12	1	11.0	13.1	1.3	3.4	6.2	8.2	38.0	36.1	8.4	12.6	105%	67%	-2.1	-2.1
	2	14.3	11.5	5.1	2.5	9.7	7.0	16.0	40.6	12.4	11.4	39%	109%	2.8	2.6
	3	13.8	10.4	2.6	2.0	8.2	6.2	14.5	47.2	14.4	9.3	31%	155%	3.4	0.6
	4	10.2	9.9	1.2	1.4	5.7	5.6	76.0	34.3	4.9	10.8	222%	45%	0.3	-0.2
	5	12.2	10.1	2.2	1.2	7.2	5.6	23.0	38.5	19.1	10.2	60%	187%	2.1	1.0
	6	5.7	8.9	-0.2	0.7	2.8	4.8	90.0	48.2	4.7	10.6	187%	44%	-3.2	-0.9
	平均・計	<b>11.0</b>	<b>10.6</b>	<b>2.0</b>	<b>1.8</b>	<b>6.5</b>	<b>6.2</b>	<b>257.5</b>	<b>244.9</b>	<b>63.9</b>	<b>64.9</b>	<b>105%</b>	<b>98%</b>	<b>0.4</b>	<b>0.2</b>
年平均・計		<b>0.0</b>	<b>19.3</b>	<b>0.0</b>	<b>9.6</b>	<b>0.0</b>	<b>14.4</b>	<b>0.0</b>	<b>1984.5</b>	<b>0.0</b>	<b>1483.6</b>	<b>0%</b>	<b>0%</b>	<b>-19.3</b>	<b>-9.6</b>

